baby lock

4本糸オーバーロック	チェーンステッチ
3本糸オーバーロック	カバーステッチ
2本糸オーバーロック	トリプルカバーステッチ
ウェーブロック	インターロック

縫希星
Hōkiboshi

ご使用のてびき

Instruction Manual

お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
●ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
●保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、
この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。

はじめに

お使いになる前に以降の「安全にご使用いただくために」をよくお読みのうえ、このご使用のてびきをご覧になり、各機能の正しい使い方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。
また、読み終わったあとは保証書とともに、お使いになられる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

安全にご使用いただくために

ご使用のてびきおよび本製品で使われている表示や絵文字は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。その表示や意味は次のとおりです。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告　人が死亡または重症に結びつく恐れがある内容です。	⚠注意　軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

⃠ してはいけない「禁止」内容です。	❗ 実行しなければならない「指示」内容です。

ご使用していただくに当たっては、安全のために以下のことをお守りください。
このミシンは、日本国内向け・家庭用です。外国では使用できません。

⚠警告

一般家庭用電源 AC100V 電源以外では使用しない
やけど・感電・けがの恐れがあります。

以下のようなときは、必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く
そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがの原因になります。
- ミシンのそばを離れるとき
- ミシンを使用した後
- 運転中停電した時
- 接触不良・断線などで正常に動作しないとき
- 雷が鳴りはじめたとき

⚠注意

コントローラーの上に物を乗せない
ショート・感電・故障の恐れがあります。

子どもだけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがの恐れがあります。

以下の場所での使用および保管は避ける
やけど・感電・けがの恐れがあります。
- 強力なスポットライトや熱器具のそば、直射日光の当たる場所
- スプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所
- 湿気の多い押入れ等の中

※ミシンの使用温度は 0℃～ 40℃です。

延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしない
やけど・感電・けがの恐れがあります。

曲がった針は絶対に使用しない
針折れの原因となり、けがの恐れがあります。

縫製中に布地を無理に引っ張ったり、押したりしない
針折れの原因となり、けがの恐れがあります。

針やメスの下に指など入れない
けがの恐れがあります。

操作中は針から目を離さないようにし、針・ルーパー・メス・はずみ車などすべての動いている部品に手を近づけない
けがの恐れがあります。

ミシンおよびコントローラーに水や薬品などかからないようにする
ショート・感電・故障の恐れがあります。

以下のときは、必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く
けがの恐れがあります。
- 針、押え金、メスを交換するとき
- 針糸をセットするとき
- ジェットエアを使用しないでルーパー糸セットするとき

ミシン本体やコントローラー、電源コードの分解・改造などはしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
発煙・発火・感電の原因になります。

電源プラグやコントローラーを抜くときは電源スイッチを切ってからプラグを持く
コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因になります。

ミシン本体の換気穴をふさがない
発煙・発火・感電の原因になります。
- 換気口は壁から 30㎝以上離して使用し換気口やコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにする

ミシン本体の換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まない
高圧部に触れて感電の恐れがあります。

以下のときはミシンの使用を中止し、販売店にて点検・修理・調整をする
そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがの原因になります。
- 正常に動作しないとき
- 落下などにより破損したとき
- ミシンが濡れたとき
- 異常なにおいや音がするとき
- 電源コードやプラグが劣化したとき

ミシンには、ご使用の手引きに記載されている正規部品をする
他の部品を使用すると、けが･故障の原因となります。

ミシン本体は、必ず取っ手を持って持ち運ぶ
他の部分を持つと、けが・故障の原因となります。

ミシン本体の重さが約 12kg あるため、ミシン本体を持ち運びする際は急激・または不用意な動作をしない
腰や膝を痛める原因となります。

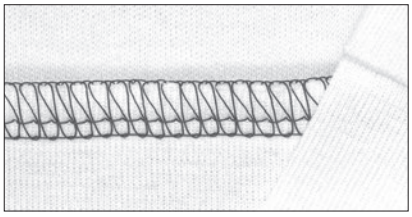
操作時は、ミシン本体のカバー類（メスカバーやサイドカバーなど）は全て閉じる
けが・故障の原因となります。

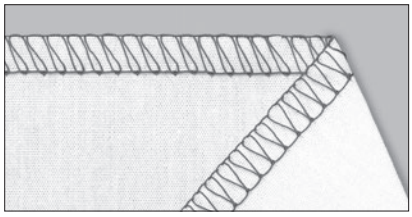
ミシン本体の掃除に、ベンジン、シンナーなどの薬品を使用しない
変色・故障の原因となります。

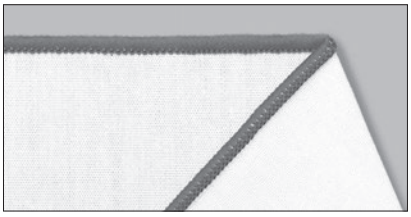
ミシンは半年に一回、理想的には 3 ヶ月に一度は動かす
動かさないままでいると故障の原因となります。

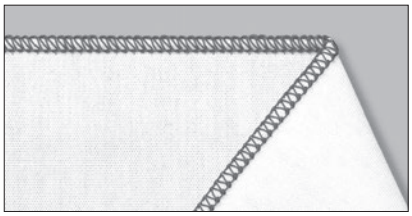
このミシンでできる縫い目一覧

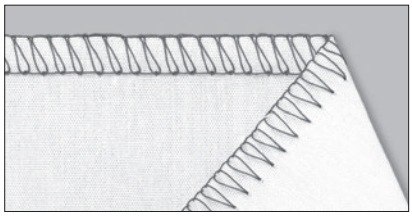
オーバーロックの縫い目


4 本糸オーバーロック

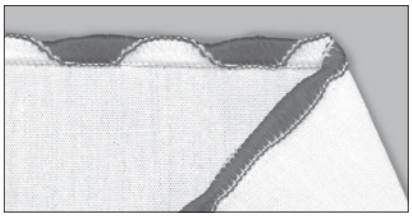

3 本糸オーバーロック

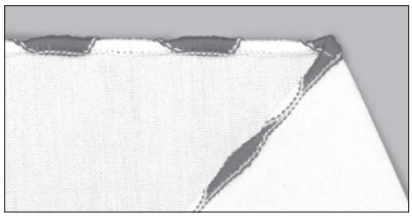

変形巻きロック（一般的な巻きロック）


標準巻きロック

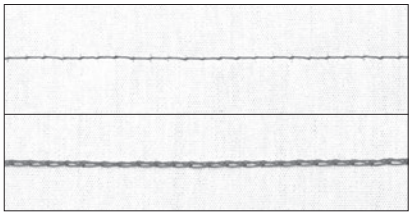

2 本糸オーバーロック

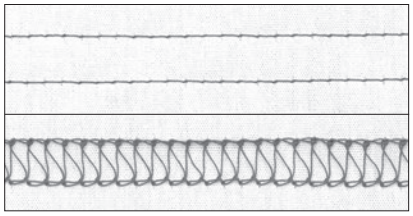
ウェーブロックの縫い目

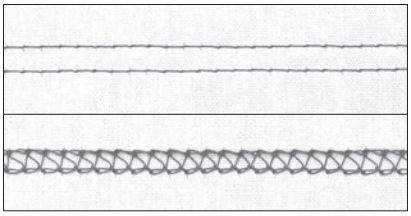

ウェーブロック

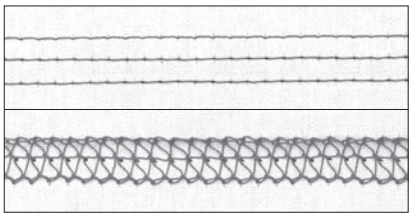

巻きウェーブロック

カバーステッチの縫い目


チェーンステッチ

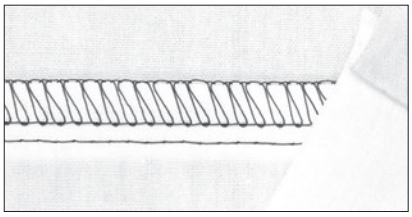

カバーステッチ（6mm）

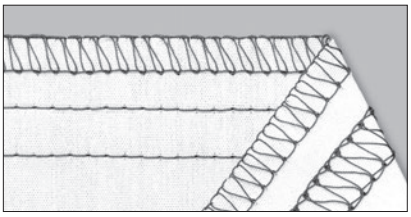

カバーステッチ（3mm）

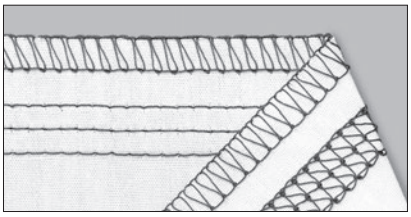

トリプルカバーステッチ

コンビネーションステッチの縫い目

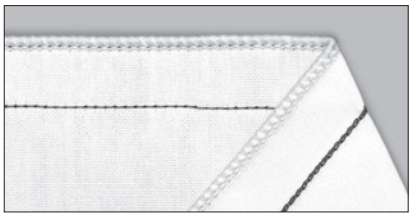
■３本糸ロック＋カバーステッチ

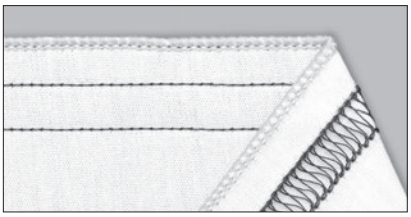

３本糸ロック+チェーンステッチ
（インターロック）

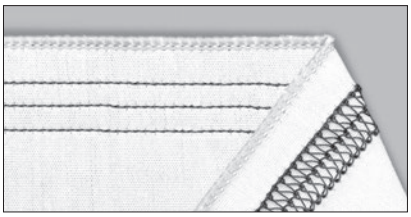

３本糸ロック+カバーステッチ


３本糸ロック+トリプルカバーステッチ

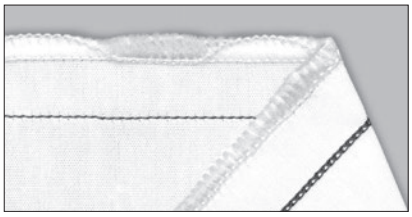
■巻きロック＋カバーステッチ

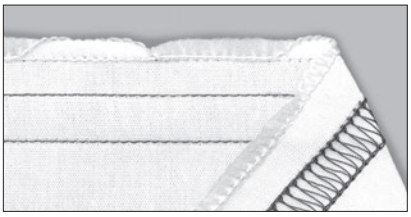

巻きロック+チェーンステッチ

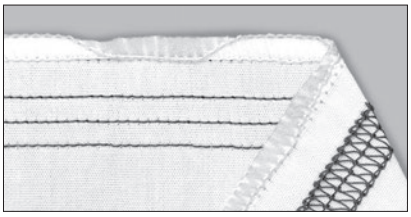

巻きロック+カバーステッチ


巻きロック+トリプルカバーステッチ

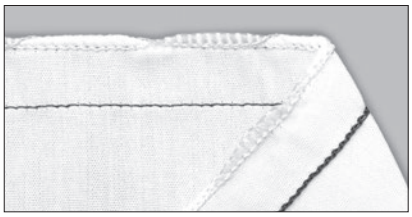
■ウェーブロック＋カバーステッチ

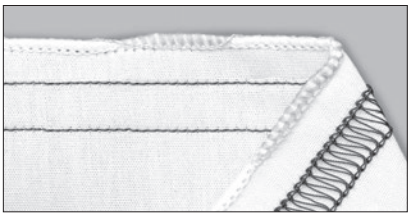

ウェーブロック+チェーンステッチ

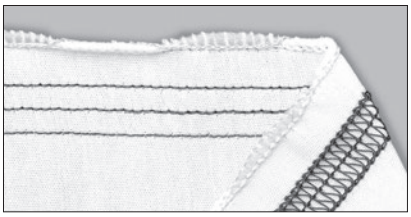

ウェーブロック+カバーステッチ


ウェーブロック+トリプルカバーステッチ

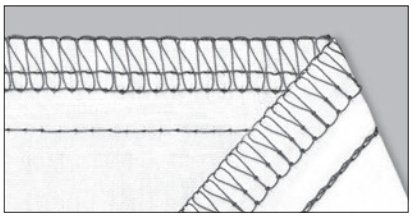
■巻きウェーブロック＋カバーステッチ

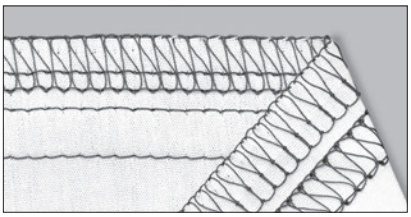

巻きウェーブロック+チェーンステッチ

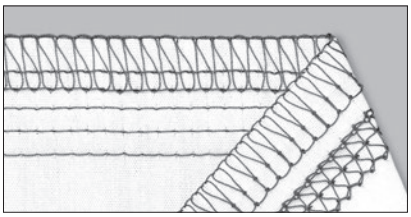

巻きウェーブロック+カバーステッチ


巻きウェーブロック+トリプルカバーステッチ

■４本糸ロック＋カバーステッチ


４本糸ロック+チェーンステッチ


４本糸ロック+カバーステッチ


４本糸ロック+トリプルカバーステッチ

もくじ

はじめに

安全にご使用いただくために……2
このミシンでできる縫い目一覧……4
オーバーロックの縫い目……4
ウェーブロックの縫い目……4
カバーステッチの縫い目……4
コンビネーションステッチの縫い目……5
もくじ……6

各部の名称と使い方

ミシン本体……8
付属品……9
増設糸立台のセット……10
フットコントローラーのセット……10
アンテナのセット……11
膝上げレバー……11
スピードコントロールツマミ……11
針について……12
押え上げレバー……13
標準押え……13
チェーン／カバー用押え（付属品）……13
押え金の交換……14
押え圧力……14
メスの固定……15
セーフティストップ機構（安全装置）……15
かがり幅（縫い目の幅）の調節……16
送り目（縫い目長さ）の調節……16
差動送り……17
縫い目切換ダイヤル……18
オーバー／ウェーブ切換レバー……18
糸切り……18
糸調子微調整ツマミ……19
交換ルーパー……19
カバー（チェーン）／ロック切換レバー……20
カバー（チェーン）ルーパー／カバー（チェーン）針糸調子ダイヤル……20
チェーン／カバー用テーブルの取り付け方……21
メスカバーの取り付け方……21

糸かけ

糸について……22
ベビーネットの使い方……22
駒受けの使い方……22
糸かけ全体図……23
ジェットエアスルーの使い方（ルーパー糸通し）……24
下ルーパー糸……25
上ルーパー糸……26

カバー（チェーン）ルーパー糸……27
ロック針糸……28
カバー（チェーン）針糸……29
糸通し穴に入りづらい糸の通し方……30
糸通し穴を通さない糸の通し方（太い糸のかけ方）……34

縫ってみましょう

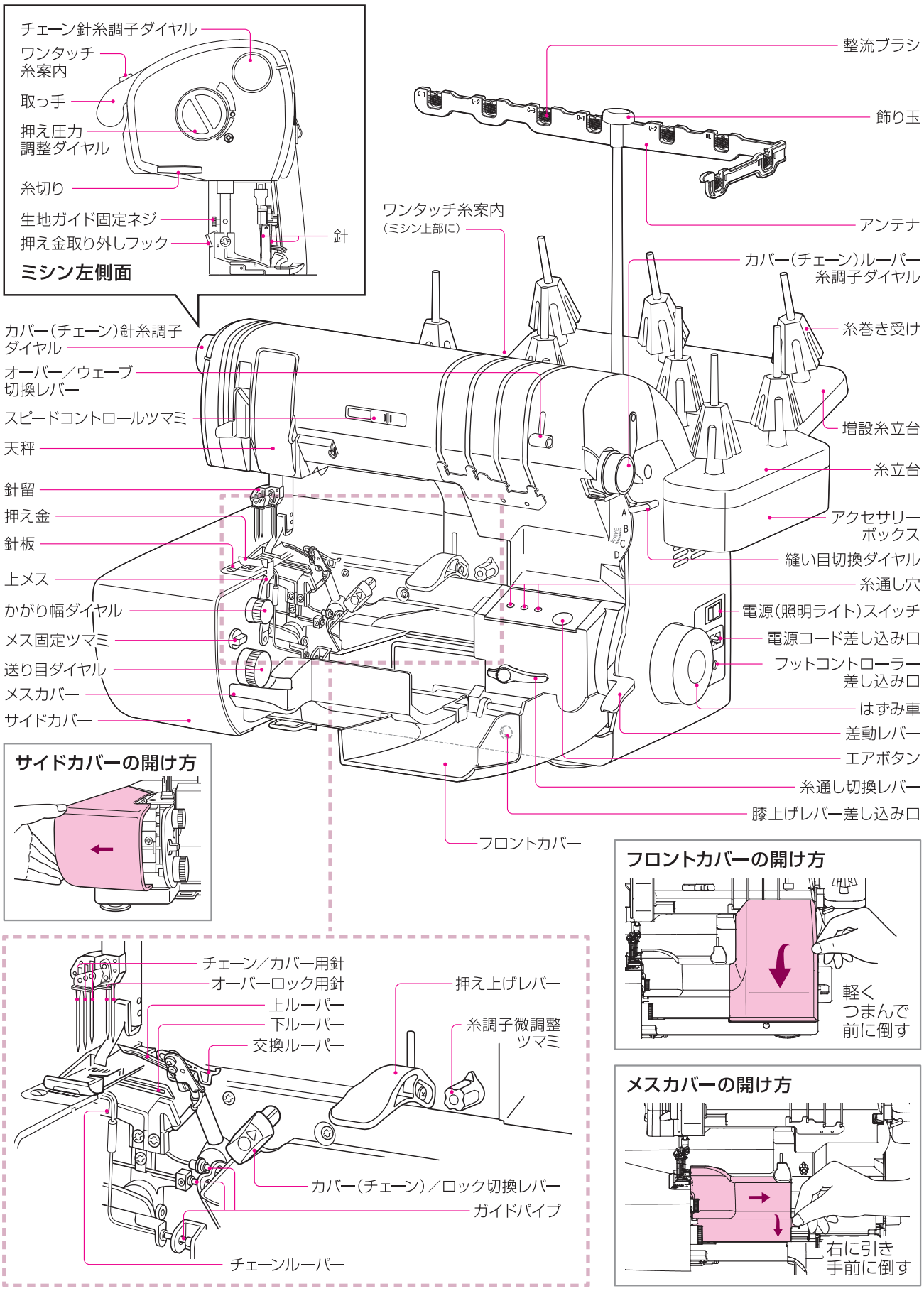
試し縫い……35
オーバーロック／ウェーブロックの試し縫い……35
チェーン／カバー／トリプルカバーステッチの試し縫い……37
コンビネーションステッチ（インターロック含む）の試し縫い……38
オーバーロック……40
オーバーロックへの切換え……40
2本針4本糸ロック……41
1本針3本糸ロック……42
標準巻きロック……43
変形巻きロック（一般的な巻きロック）……44
1本針2本糸ロック……45
ウェーブロック……47
ウェーブロックへの切換え……47
ウェーブロック……48
巻きウェーブロック……49
カバー（チェーン）ステッチ……50
カバー（チェーン）ステッチへの切換え……50
チェーンステッチ……51
カバーステッチ（6mm）……52
カバーステッチ（3mm）……53
トリプルカバーステッチ……54
コンビネーションステッチ……55
コンビネーションステッチへの切換え……55
3本糸ロック+カバー（チェーン）ステッチ……56
巻きロック+カバー（チェーン）ステッチ……58
ウェーブロック+カバー（チェーン）ステッチ……60
巻きウェーブロック+カバー（チェーン）ステッチ……62
4本糸ロック+カバー（チェーン）ステッチ……64
縫いテクニック……66
オーバーロックのテクニック……66
差動を使ったオーバーロックのテクニック……69
ウェーブロックのテクニック……72
カバーステッチのテクニック……73
差動を使ったカバーステッチのテクニック……76
縫い目のほどき方……76

困ったとき／必要なとき

メンテナンス……78
メスの交換……78
掃除と注油について……78
トラブルシューティング……79
修理を依頼される前に……79
別売アタッチメント……80

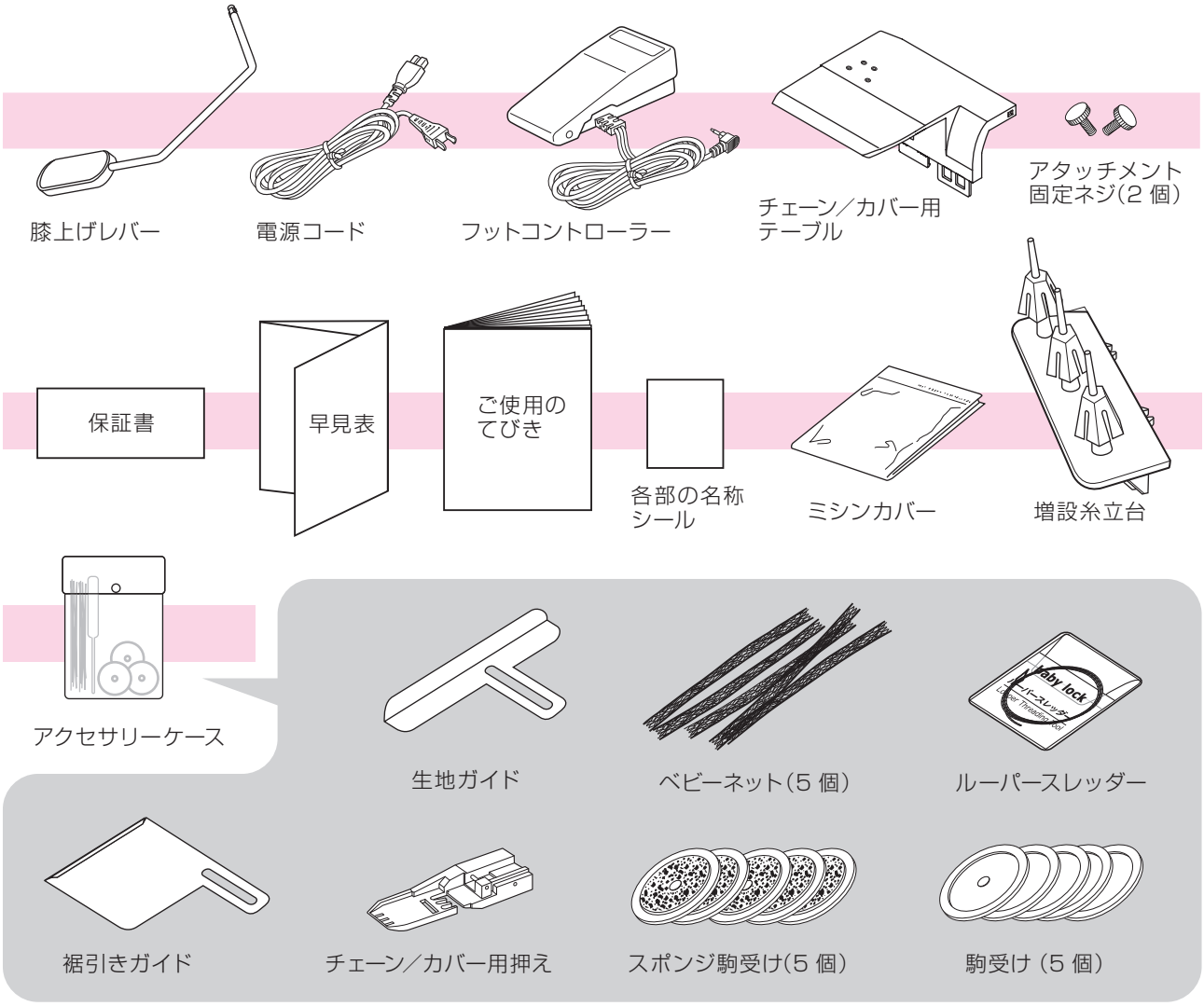
各部の名称と使い方

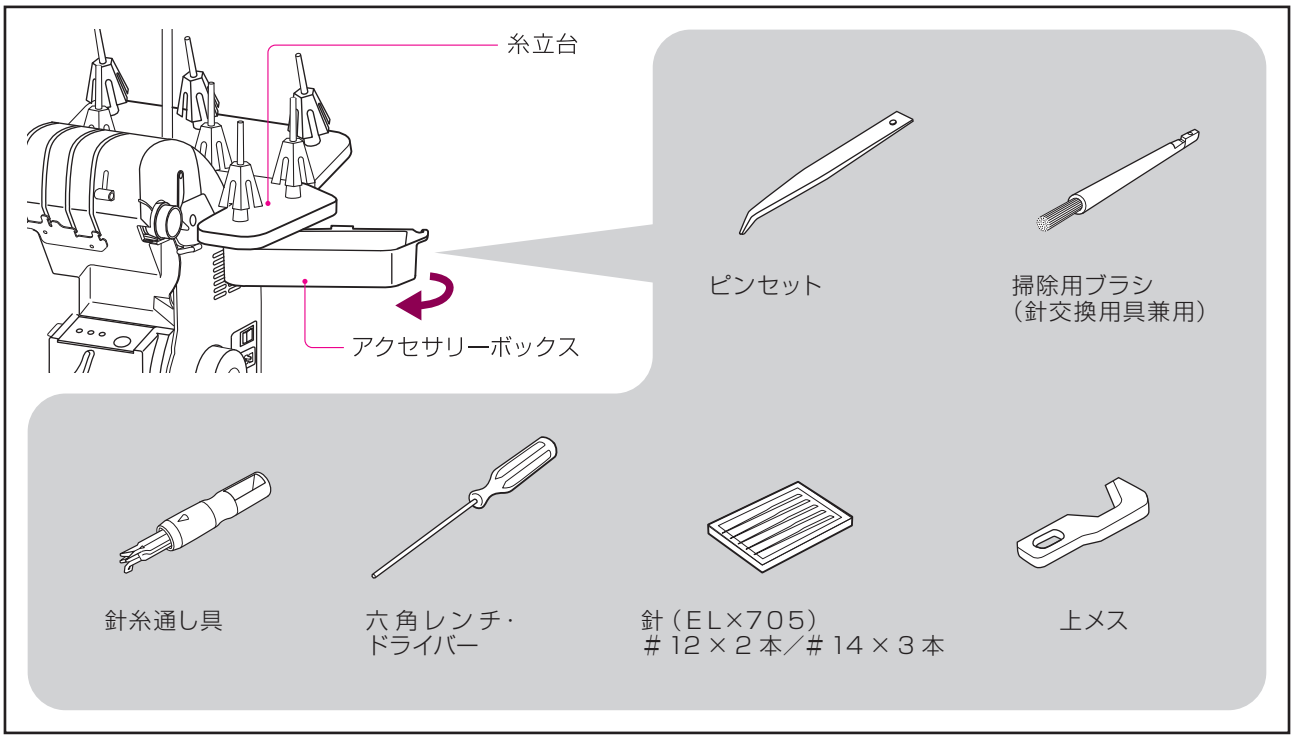
ミシン本体



付属品

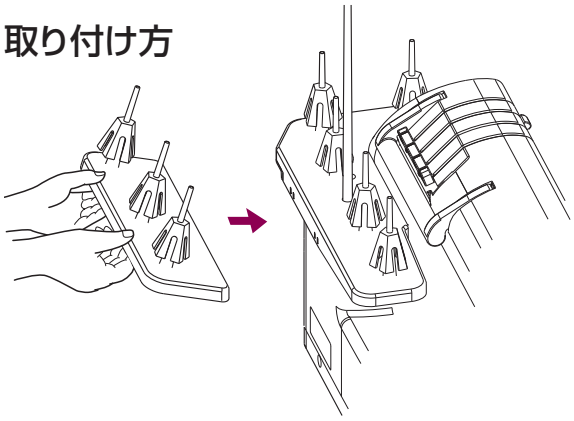
下記のものが入っていることを必ずご確認ください。



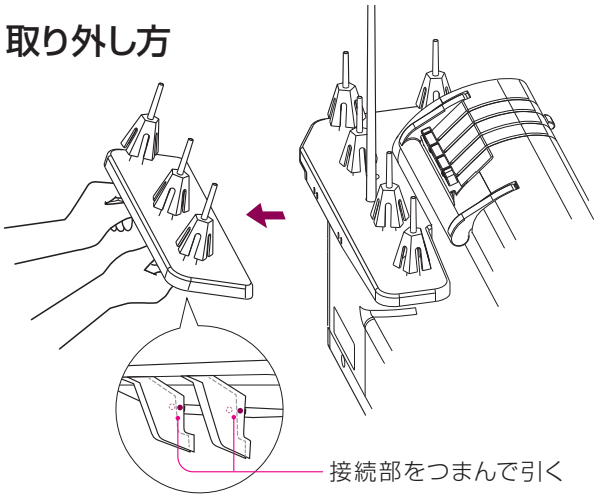


増設糸立台のセット

取り付け方

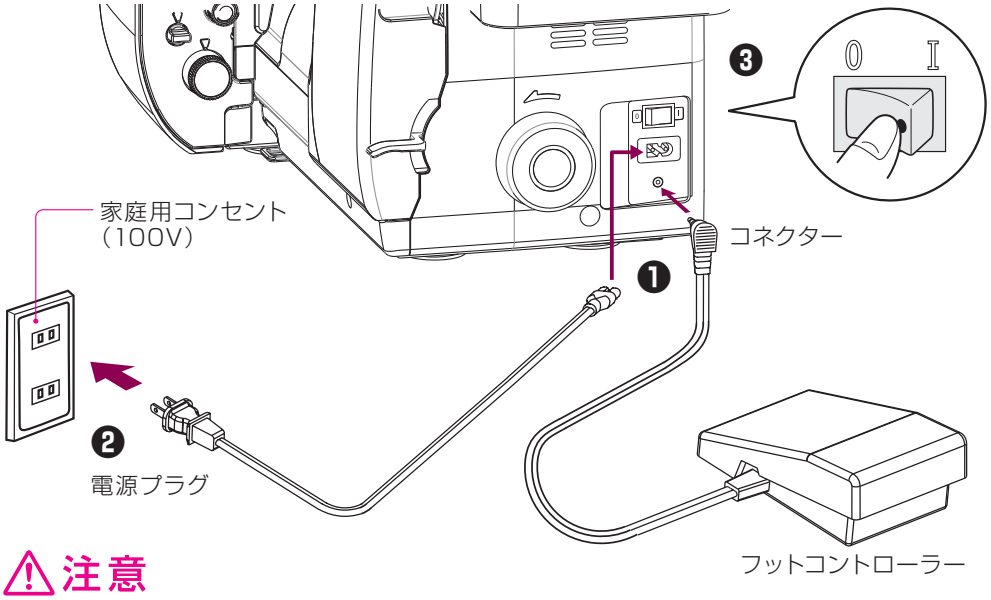


取り外し方

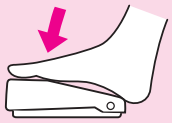


フットコントローラーのセット

❶フットコントローラーと電源コードのコネクターをミシン本体に差し込む。
❷電源プラグを家庭のコンセントに差し込む。
❸電源スイッチを［ I ］にすると通電状態となり、照明ライトがつく。



スピードの調節

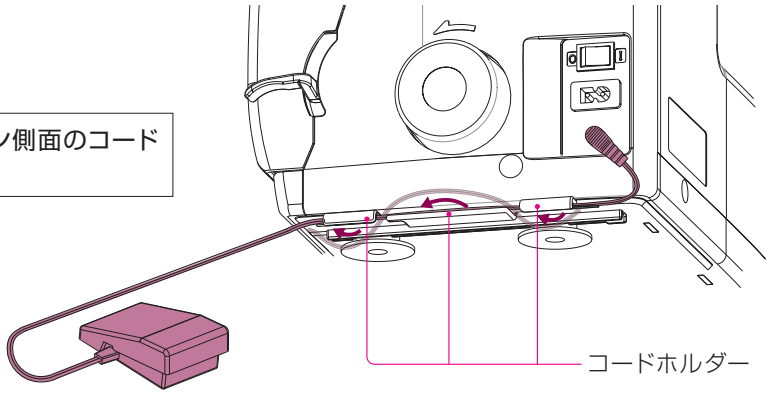


ミシンの縫い速度はフットコントローラーを強く踏むと早く、弱く踏むと遅くなります。

⚠注意

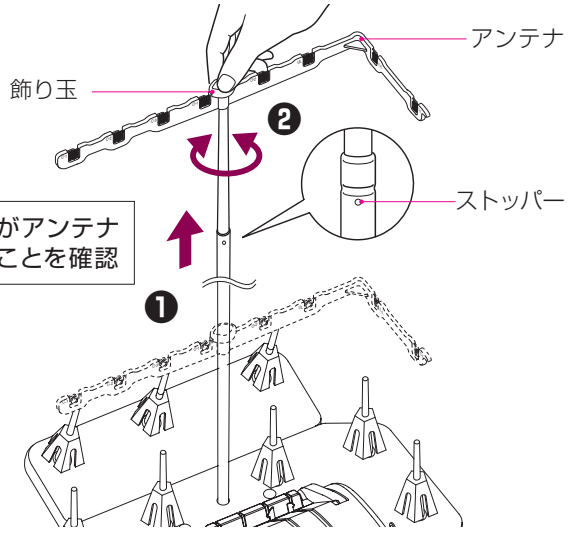
火事の原因になります。
◆プラグをコンセントに長時間差し込んだままにしない。
◆コントローラーの上に物を乗せない。

コードははずみ車に当たらないように、ミシン側面のコードホルダーに収納してください。



アンテナのセット

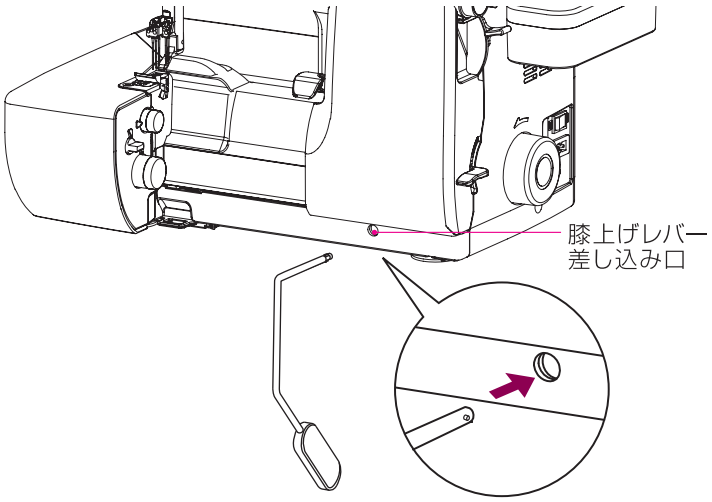
❶飾り玉を持って真上へいっぱいに引き伸ばす。
❷アンテナを左右に振ってストッパーを固定する。



すでに糸がかかっている場合は、糸がアンテナやそのほかの部分に絡まっていないことを確認

膝上げレバー

膝上げレバーを使えば、押え金の上下が膝を使ってかんたんにできます。
両手があくので飾り縫いの時などに便利。



取り付け方

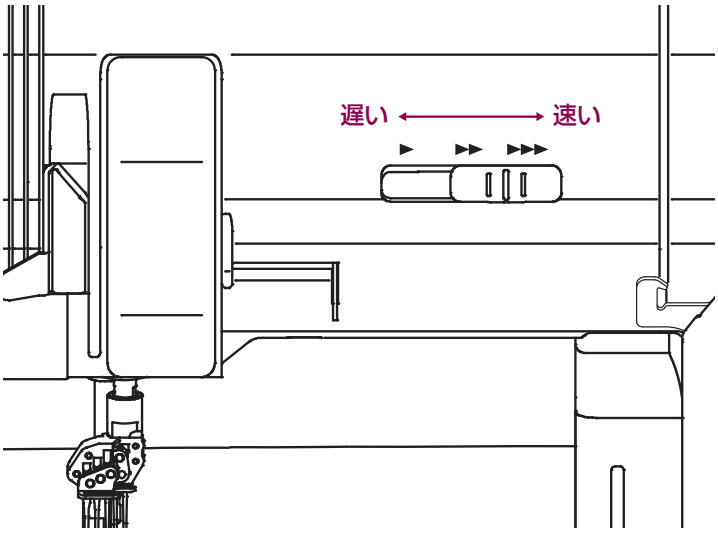
膝上げレバーを図のように膝上げレバー差し込み口に差し込む。

取りはずし方

片方の手でミシンを押さえながら、膝上げレバーをまっすぐ引き抜く。

スピードコントロールツマミ

スピードコントロールツマミは、フットコントローラーをいっぱいに踏み込んだ時の最大スピードを速くさせたり遅くさせたりすることができます。



速くすると便利なとき

たくさん巻きロックをするときなど

遅くすると便利なとき

カーブを縫う時など

針について

針は消耗品です。針先が曲がったり、磨耗していると糸切れや目飛びの原因になります。早めに交換してください。

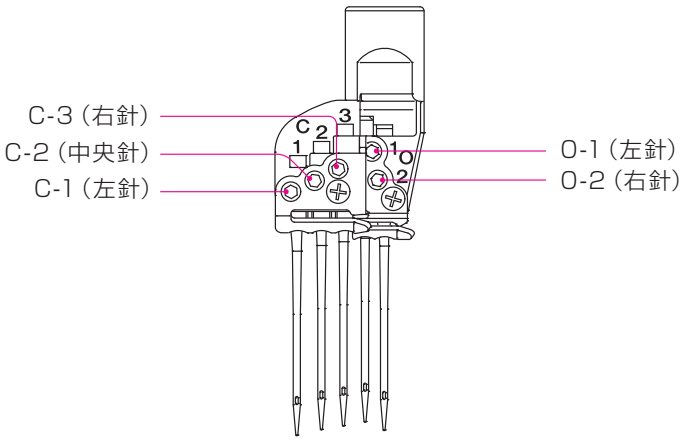
このミシンの針は必ずEL×705＃14または＃12をご使用ください。この針以外は使用できません。

推奨する針の太さ…薄地～中厚地：＃12　中厚地～厚地：＃14
※針は数字が大きくなるほど太くなります。※ウェーブロックで縫うときは針を＃14の太さにしてください。

⚠注意

ケガをする恐れがあります。

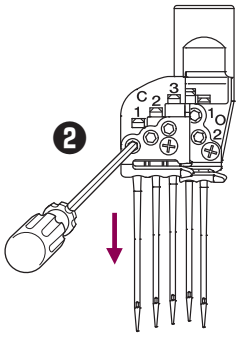
◆針の交換をする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。



取りはずし方

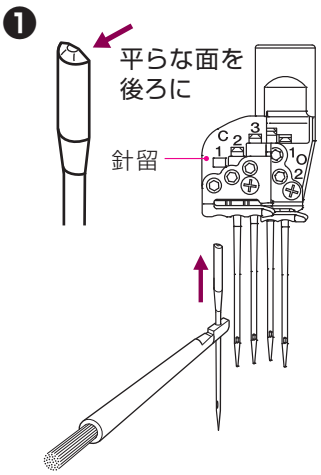
❶はずみ車を回して、針を一番上まで上げる。
❷付属の六角ドライバーで針止めネジをゆるめ、針をはずす。

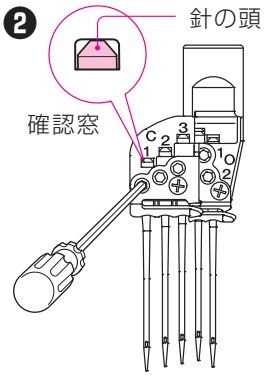
注）針を取りはずした後、止めネジはゆるめたままにしてください（止めネジははずれない構造になっています）。針が無いまま強く締めすぎると、針が入らなくなる恐れがあります。
注）使わない糸は取り除いてください。かけたままだと縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

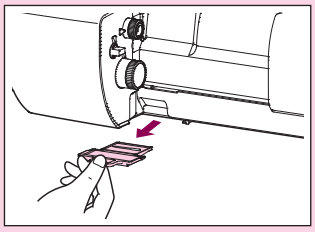


取り付け方

❶新しい針を付属の掃除用ブラシに差し込み「針頭部の平らな面」が後ろ向きになるようにして、針留の穴の奥まで差し込む。
❷確認窓で針が一番奥まで差し込まれていることを確認してから、針止めネジをしめる。



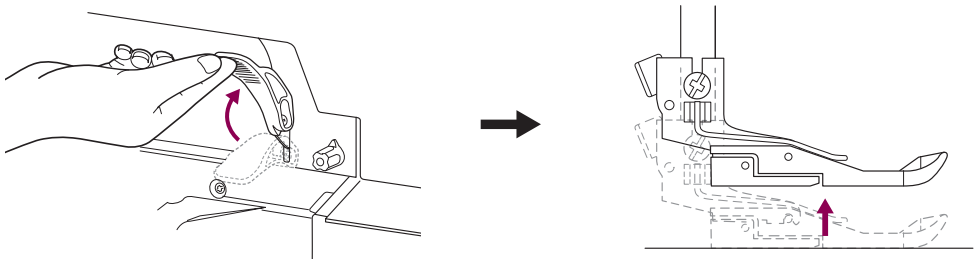


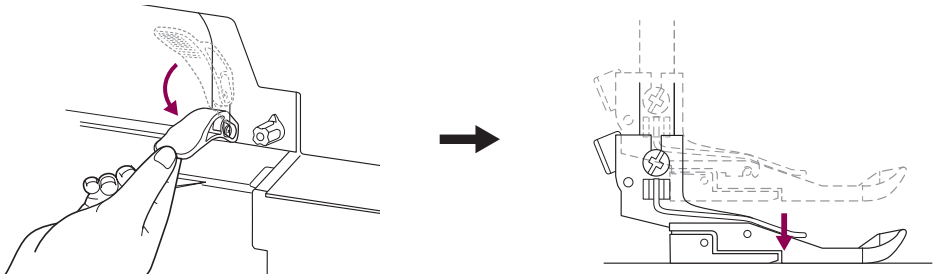


ワンポイント
針をメスカバーの奥に落としてしまった場合は、ミシン底部にある取り出し口から取り出してください。

押え上げレバー

押え上げレバーを上げると押え金が上がり、下げると押え金が下がります。

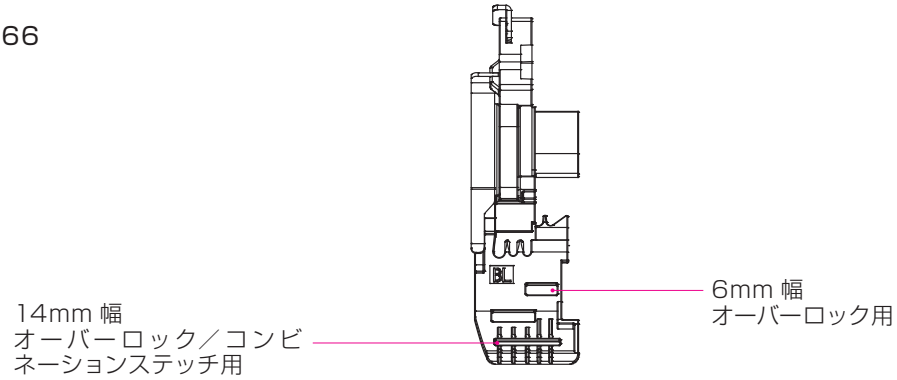




標準押え

「標準押え」は、最初からミシンについている押え金です。伸び止めテープ(ウーリースピンテープ)や各種テープを入れながら縫うことができます。

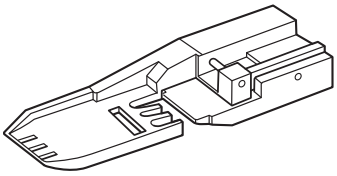
テープの入れ方…P66



チェーン／カバー用押え（付属品）

「チェーン／カバー用押え」は、チェーンステッチやカバーステッチを縫う際に使います。

カバーステッチの縫い方…P50



押え金の交換

標準押えからチェーン／カバー用押えに交換する場合や、別売アタッチメントに交換する際は下記のように交換してください。

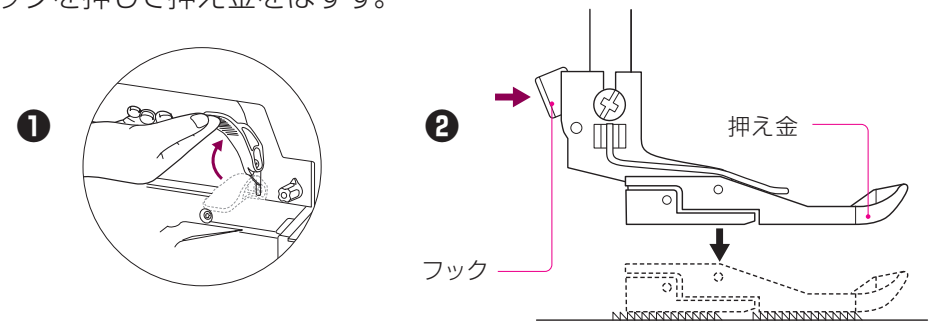
⚠注意

ケガをする恐れがあります。

◆押え金を交換する場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

取りはずし方

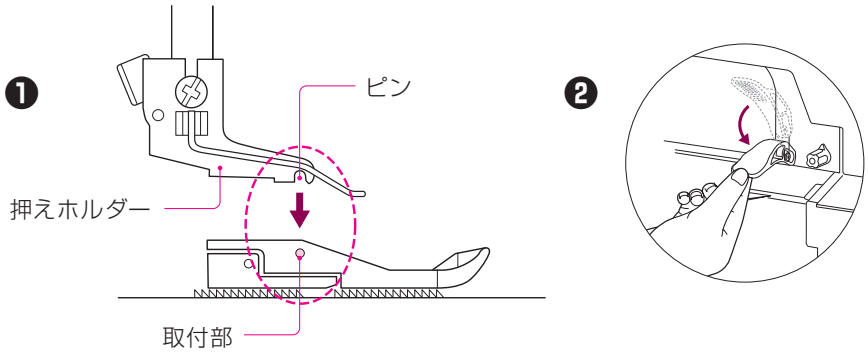
❶押え上げレバーで押え金を上げる。
❷フックを押して押え金をはずす。



取り付け方

❶押えホルダーの取付部の真下に、押え金のピンがくるように置く。
❷押え上げレバーをゆっくり下げる。

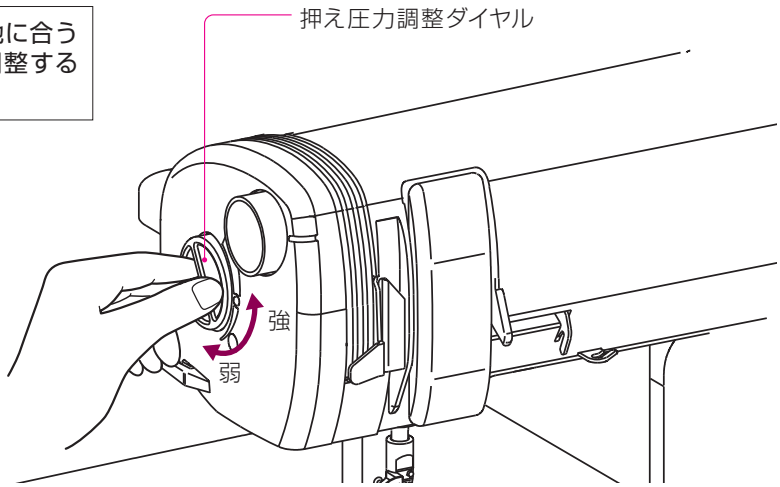
押え金が入りにくい場合は、押え上げレバーを下げたままフックを押してください。



押え圧力

滑りやすい生地や厚い生地を何枚も重ねて縫う場合など、押え圧力を調整したほうが縫いやすい場合があります。

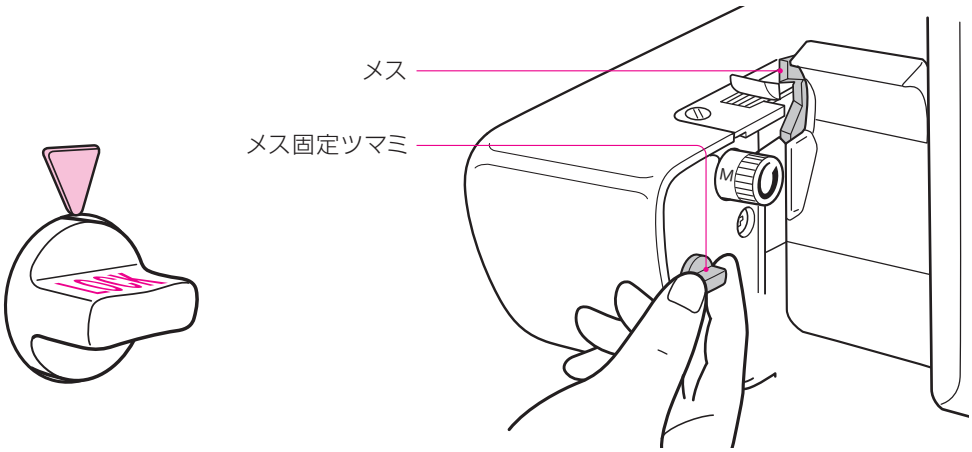
このミシンは、工場出荷時にほとんどの生地に合うように調整されていますので普段はあまり調整する必要はありません。



メスの固定

ピンタックや飾りステッチなどメスで布地を切らないで縫う場合や、チェーン／カバーステッチで縫う場合には、メス固定ツマミを【LOCK】側にしてください。メスが固定されて動かなくなります。

メスを使用するときはツマミを反対側に戻してください。



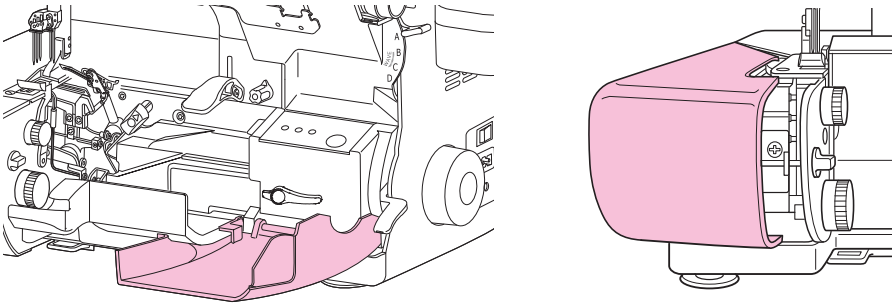
セーフティストップ機構（安全装置）

このミシンには、誤作動を防止するために「セーフティストップ機構（安全装置）」が装備されており、以下の時はミシンが動かないようになっています。

◆フロントカバー・サイドカバーが開いているとき

各カバーが閉まっていることを確認してからお使いください。

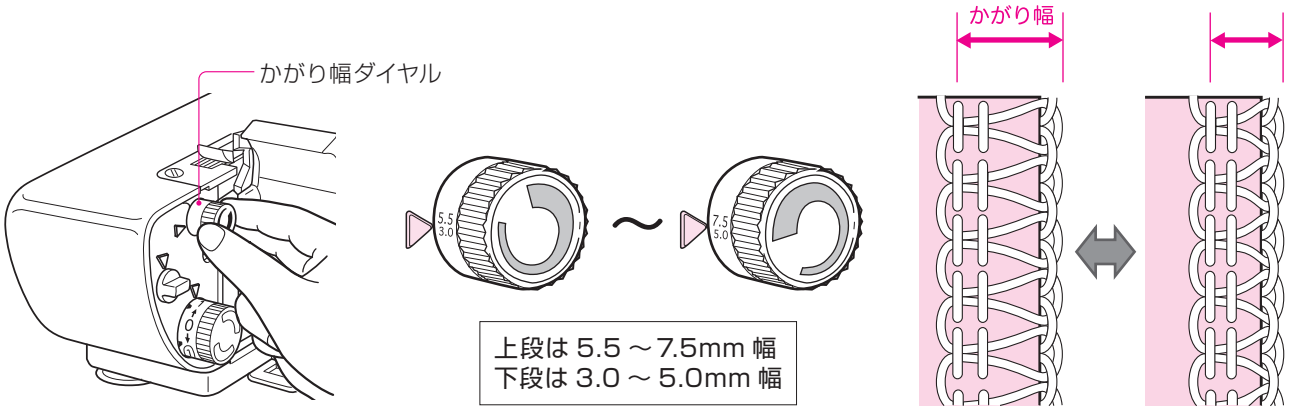
フロントカバー・サイドカバーが開いている時



かがり幅（縫い目の幅）の調節

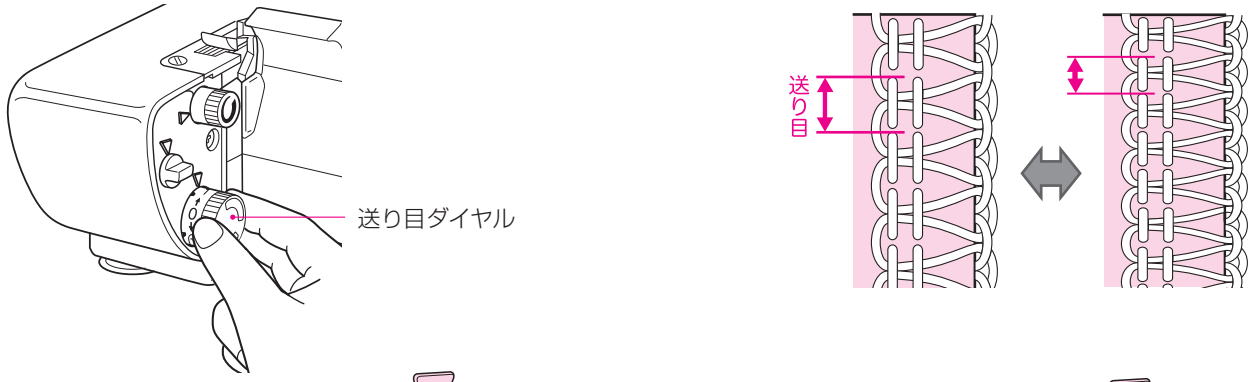
※オーバーロック／ウェーブロック／インターロック・コンビネーションステッチのみ

４本糸ロックおよび左針を使用した時の３本糸・２本糸ロックは**上段の大きい数値**で合わせます。
右針を使用した時の３本糸・２本糸ロックは**下段の小さい数値**で合わせます。



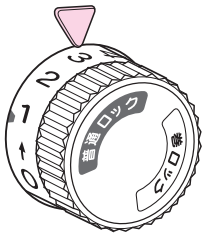
送り目（縫い目長さ）の調節

0.75 ～4mmの範囲で調節します。



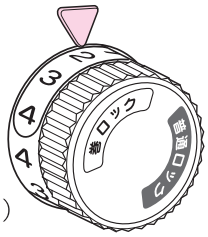
普通ロック側

- 普通ロック（オーバー／ウェーブロック）
- チェーンステッチ
- カバーステッチ
- トリプルカバーステッチ
- 3･4本ロックのコンビネーションステッチ（インターロック含む）



巻ロック側

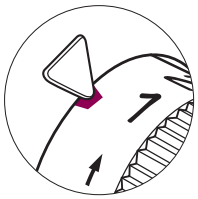
- 巻きロック（オーバー／ウェーブロック）
- 巻きロック･巻きウェーブロックのコンビネーションステッチ（インターロック含む）



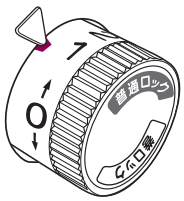
ワンポイント

この▮位置は0.75mmを示します。

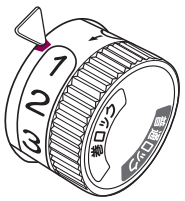
巻きロックやウェーブロックなどで使うと目が詰まって美しい仕上がりになります。



普通ロック側



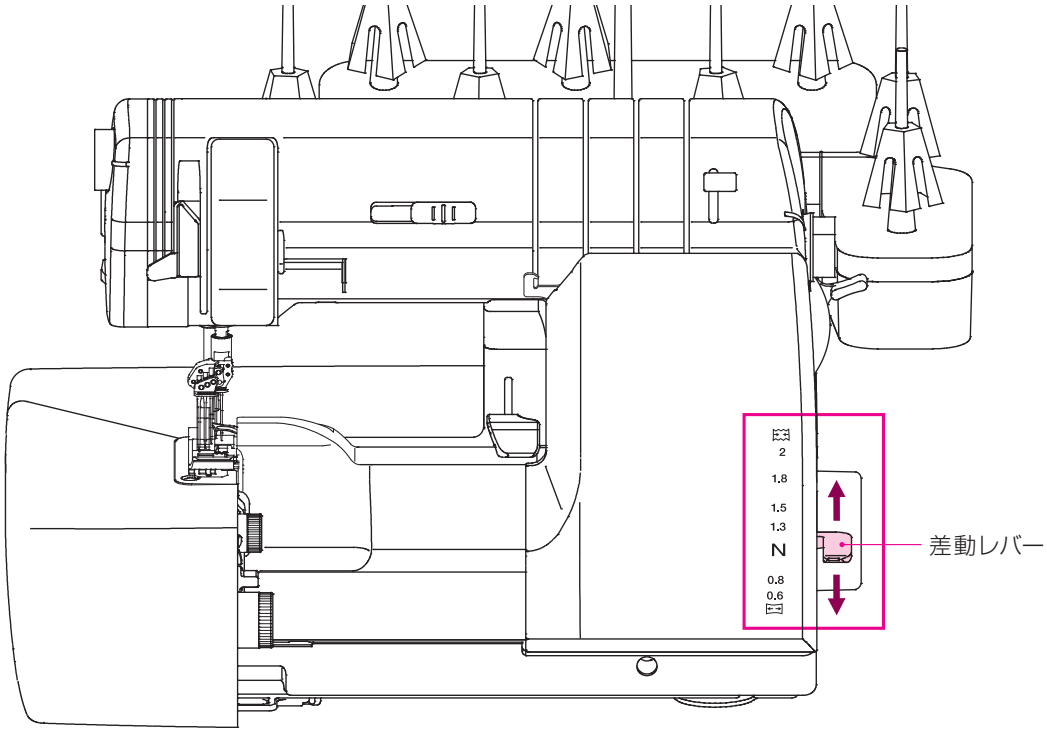
巻ロック側

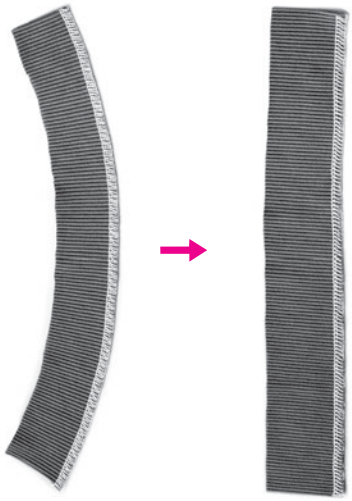


差動送り

伸びやすいニットやジャージー、トリコットなどの生地や、逆に裏地のような縮みやすい生地を縫う場合は「差動レバー」を使うと、平らにきれいに仕上げることができます。さらにギャザーを寄せたり、フレアースカートのヘムのいせ込みの際に使用すると、とても便利です。

差動を使ったテクニック…P69・76

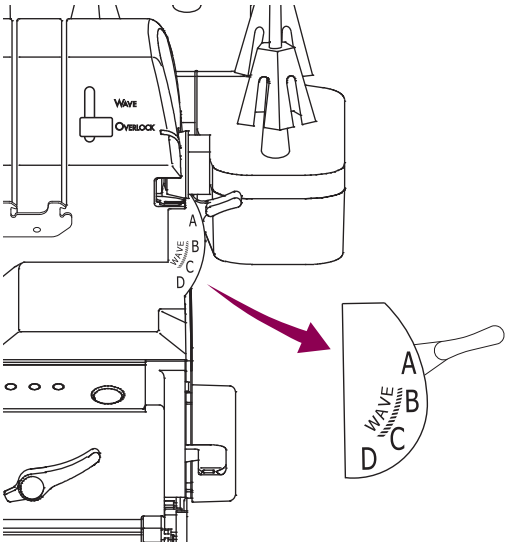


	伸びやすい生地		縮みやすい生地
生地	ニット地、ジャージ、メリヤス、その他バイヤス部分等	織 布	ジョーゼット、サテン、リネン、ローン等
差動レバー	N → 1.3～2	N	N → 0.8～0.6
差動送り使用前後の縫い目比較			

縫い目切換ダイヤル

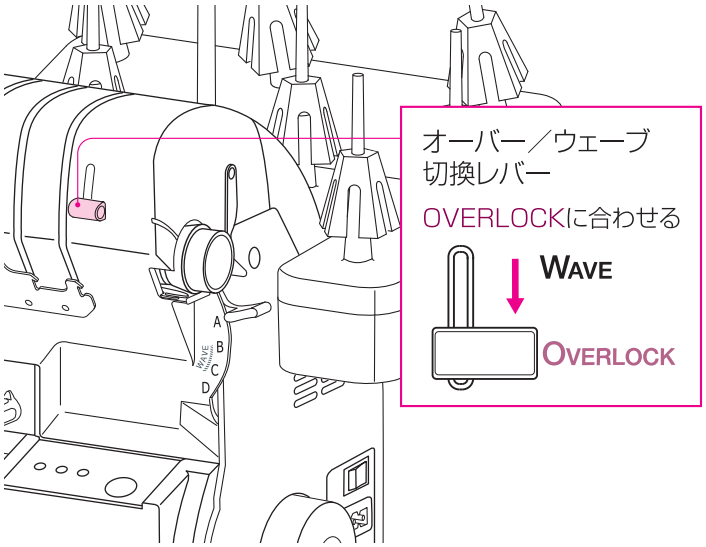
縫い目切換ダイヤルを使ってオーバーロックの縫い目を変更します。

A：2 本針 4 本糸
B：1 本針 3 本糸／ウェーブロック
C：標準巻きロック／巻きウェーブロック
D：変形巻きロック（一般的な巻きロック）



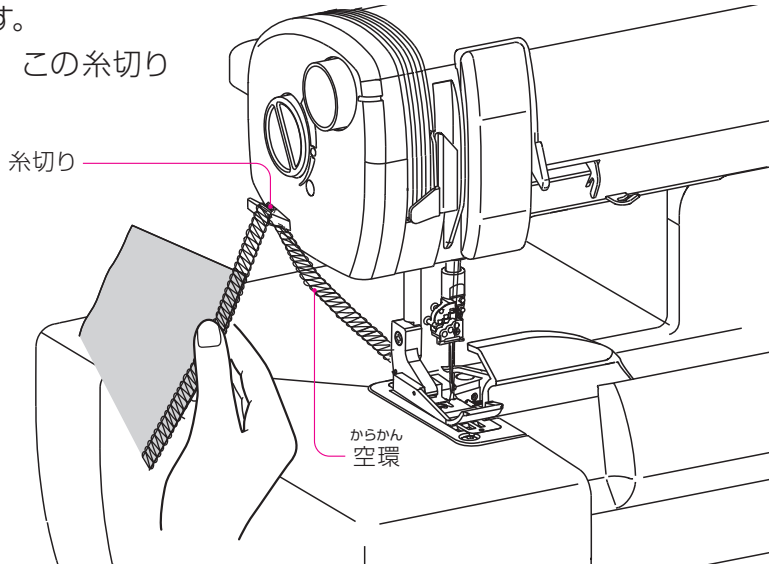
オーバー／ウェーブ切換レバー

オーバーロックとウェーブロックを切換える時に使用します。



糸切り

ミシンの左側面に糸切りがついています。
縫い終わりに空環を 10 数 cm 出して、この糸切りで切ると便利です。

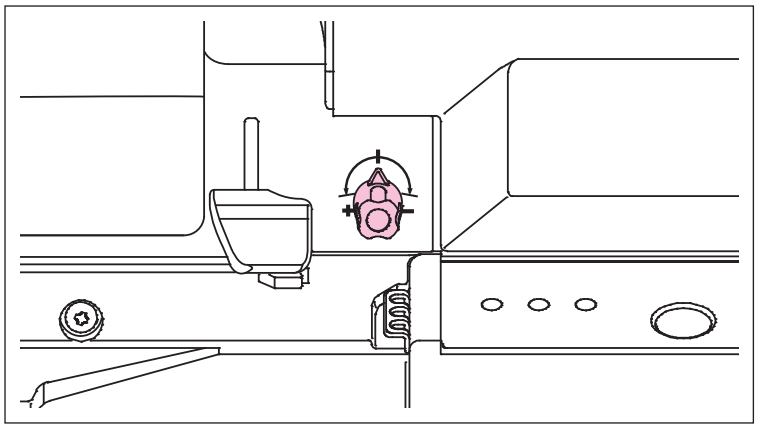


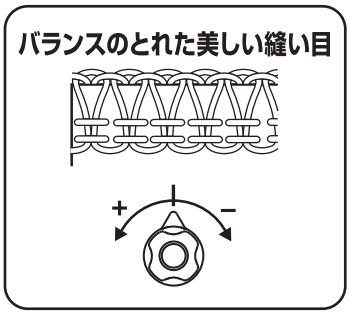
糸調子微調整ツマミ

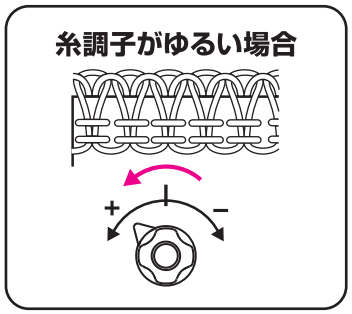
このミシンはオーバーロックとウェーブロックに関しては糸調子を自動で調整しますが、生地や糸によっては、糸調子微調整ツマミを回して縫い目を整えた方が良い場合があります。

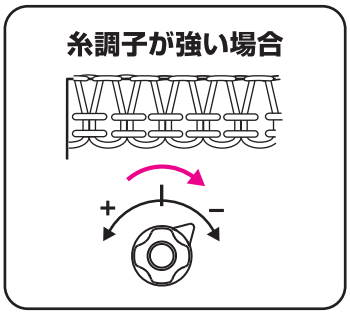
ワンポイント
特に巻きロックで送り目を 0.75 に設定した時、糸調子がゆるむ場合があります。（生地や糸にもよります）その場合は糸調子微調整ネジを「+」方向に締めて、美しい縫い目に調整してください。

※カバーステッチの糸調子については P20 を参照



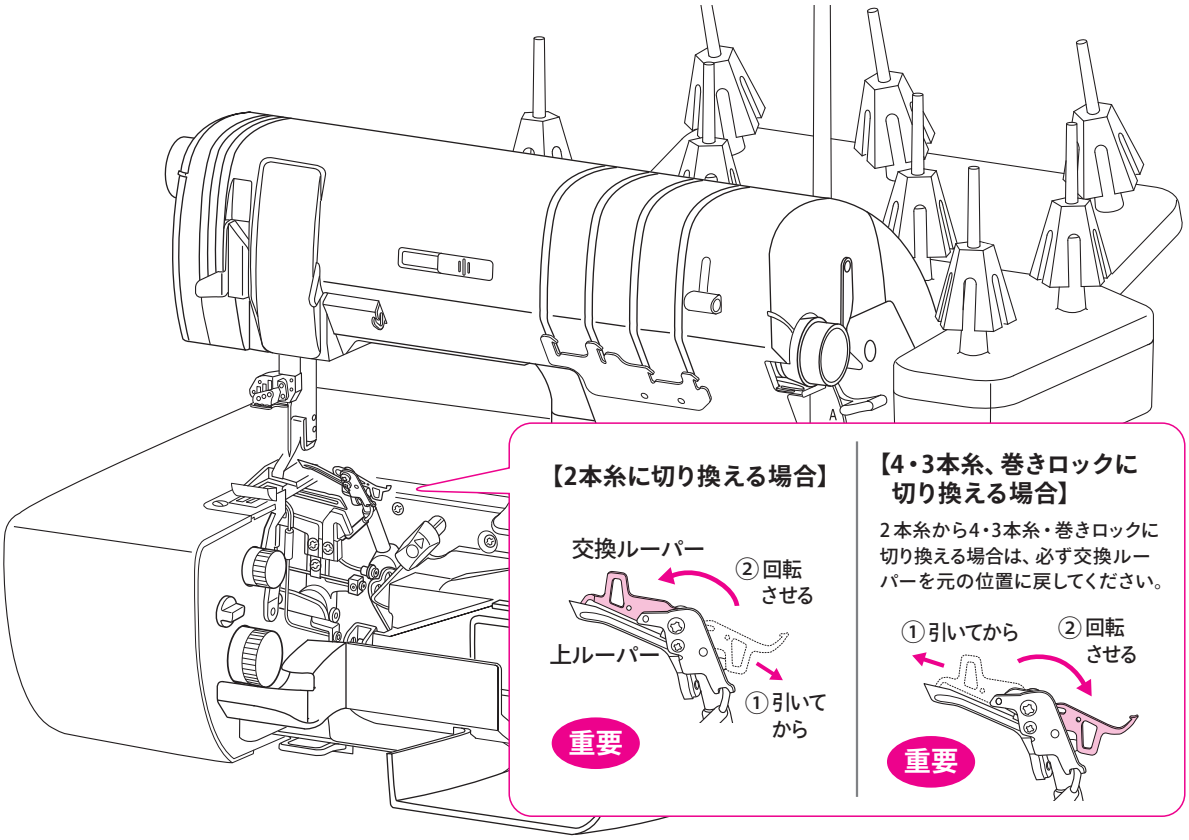






交換ルーパー

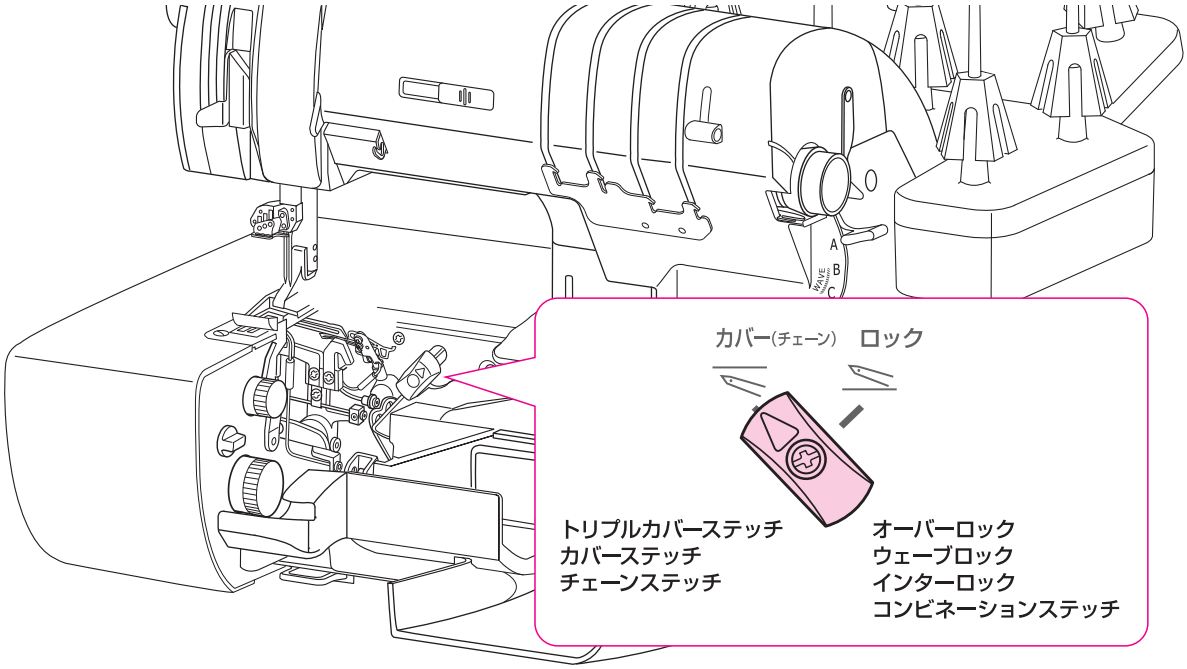
1 本針 2 本糸オーバーロックで縫う際に使用します。



カバー（チェーン）／ロック切換レバー

カバーステッチなど、カバーテーブル（右ページ参照）を取り付けて縫う場合は、上ルーパーがテーブルにぶつからないように「カバー（チェーン）」側にします。

オーバーロック／ウェーブロック／インターロック・コンビネーションステッチを縫う場合は上ルーパーを使用するので「ロック」側にします。

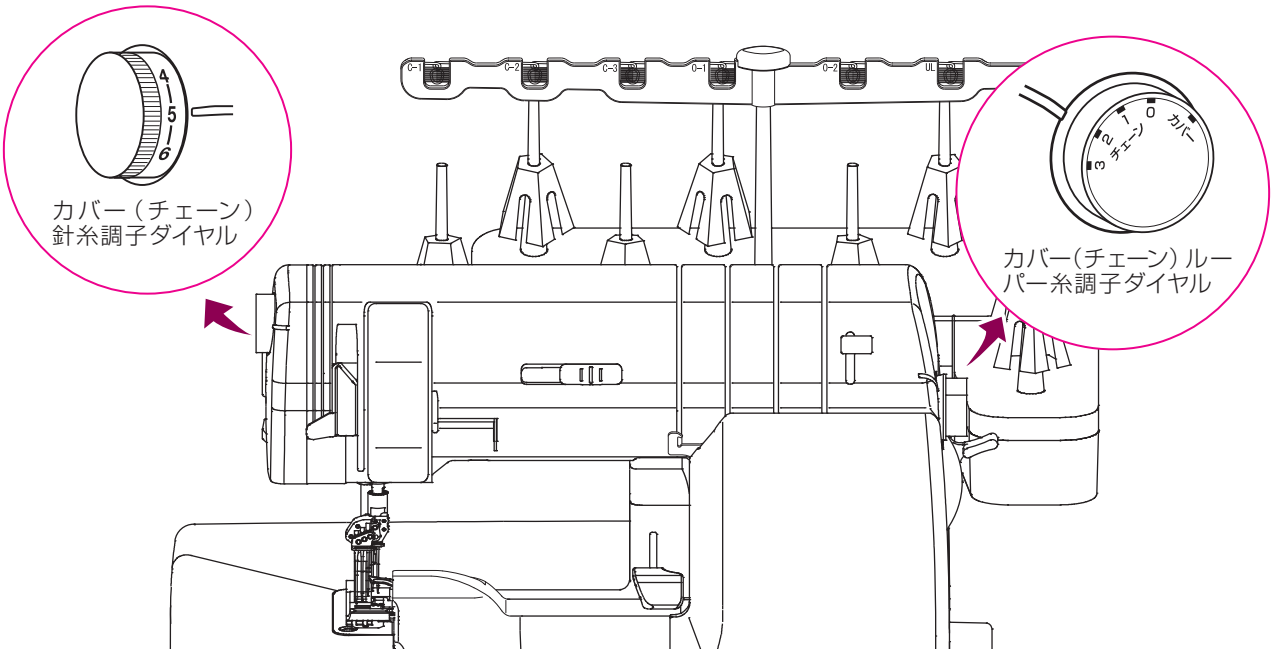


カバー（チェーン）ルーパー／カバー（チェーン）針糸調子ダイヤル

カバーステッチで縫う場合に糸調子をとるためのダイヤルです。

カバー（チェーン）ルーパー糸調子ダイヤルは、カバーステッチで縫う場合は「カバー」に合わせ、チェーンステッチで縫う場合は「0 ～ 3」の間で調整します。

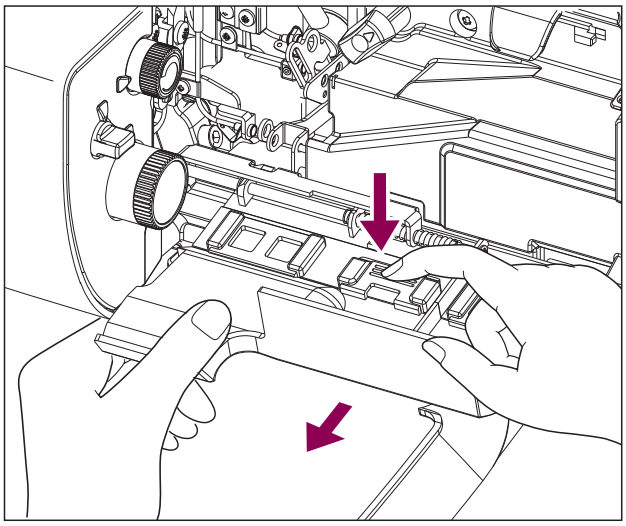
どちらのダイヤルも、数字が大きくなると糸が締まり、小さくなると糸が緩みます。



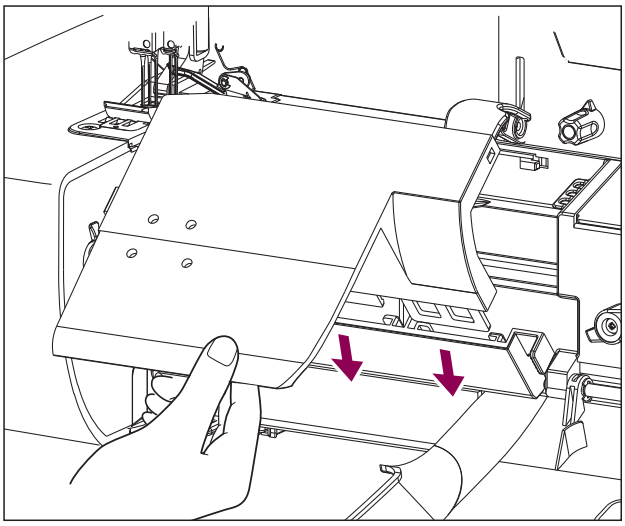
チェーン／カバー用テーブルの取り付け方

オーバーロックからカバーステッチに切換える場合は、チェーン／カバー用テーブルに交換します。

❶メスカバーを右にずらしてから、中央部を押しながら手前に引いてはずす。



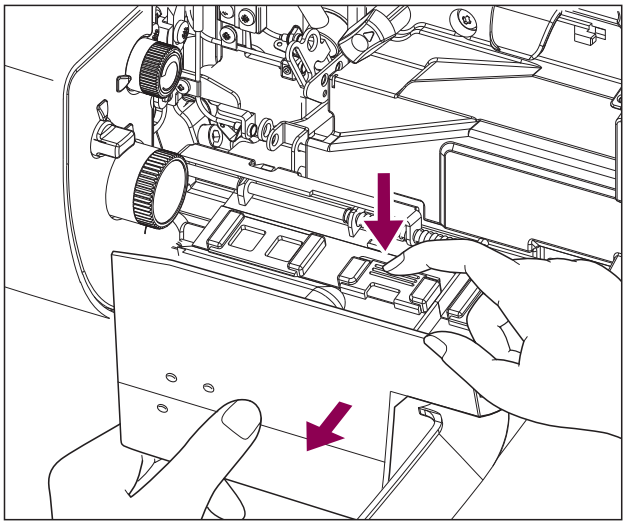
❷チェーン／カバー用テーブルを図のように差し込み取り付ける。



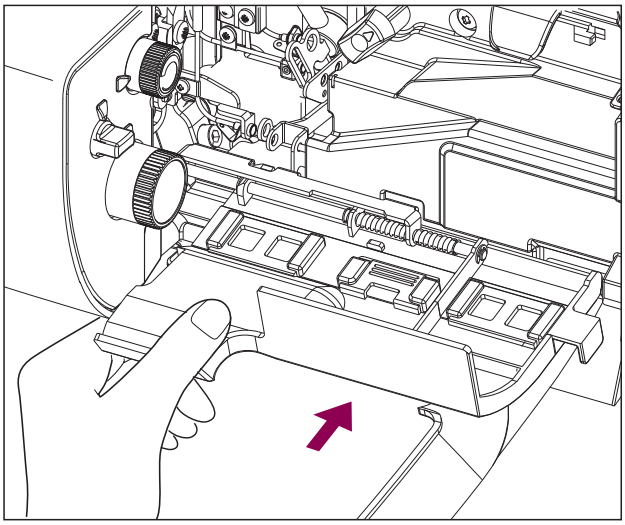
メスカバーの取り付け方

カバーステッチからオーバーロックに切換える場合は、メスカバーに交換します。

❶チェーン／カバー用テーブルを右にずらし、中央部を押しながら手前に引いてはずす。



❷メスカバーを図のように差し込み取り付ける。



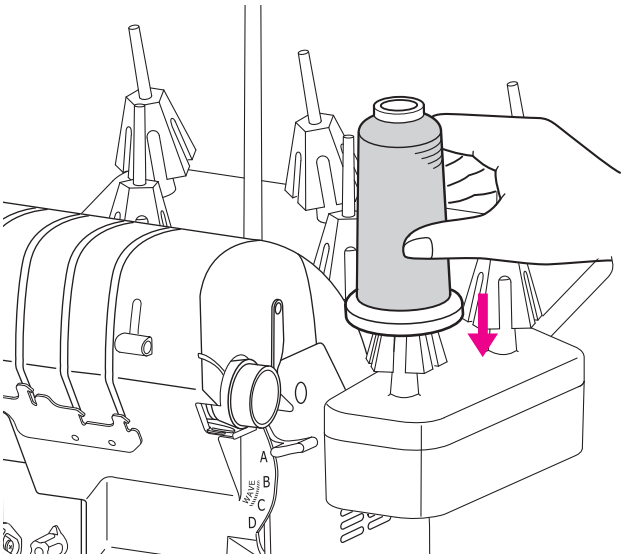
糸かけ

糸について

スパン糸、ウーリー糸、飾り糸、穴糸、金糸など市販されているさまざまな糸を使用することができます。

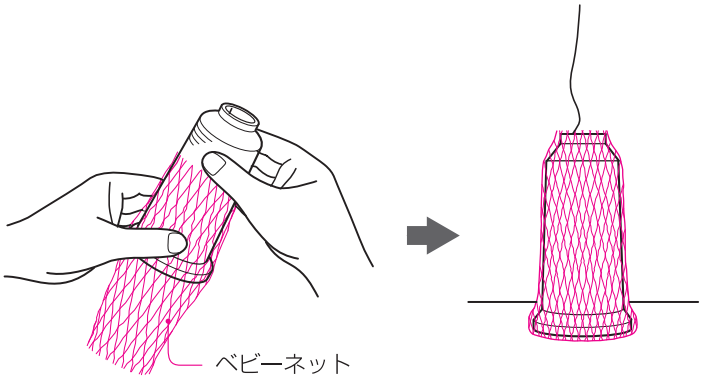
通常は薄地には# 80 ～ 100 の細めの糸を、縫い合わせには# 50 ～ 60 の太めの糸を使います。

注）目とび、糸切れの原因になる場合がありますので、古い糸は使用しないでください。



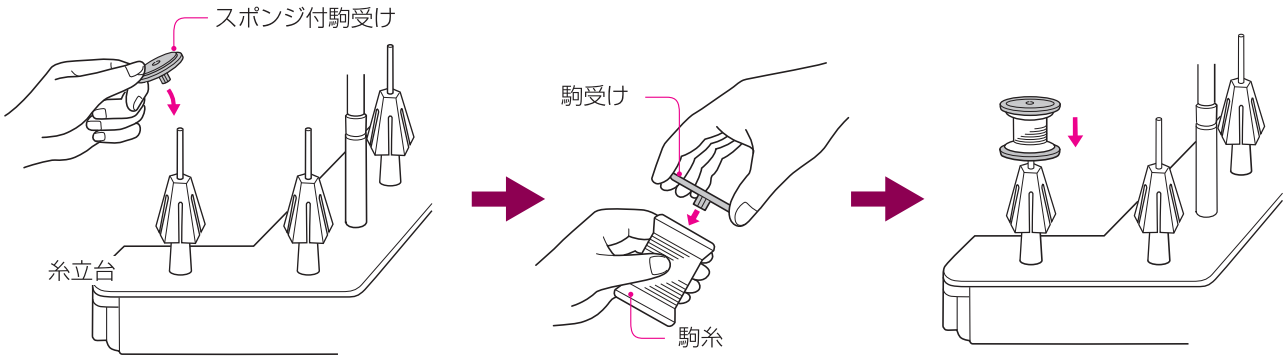
ベビーネットの使い方

化繊糸などのすべりやすい糸は、付属の「ベビーネット」をご使用ください。



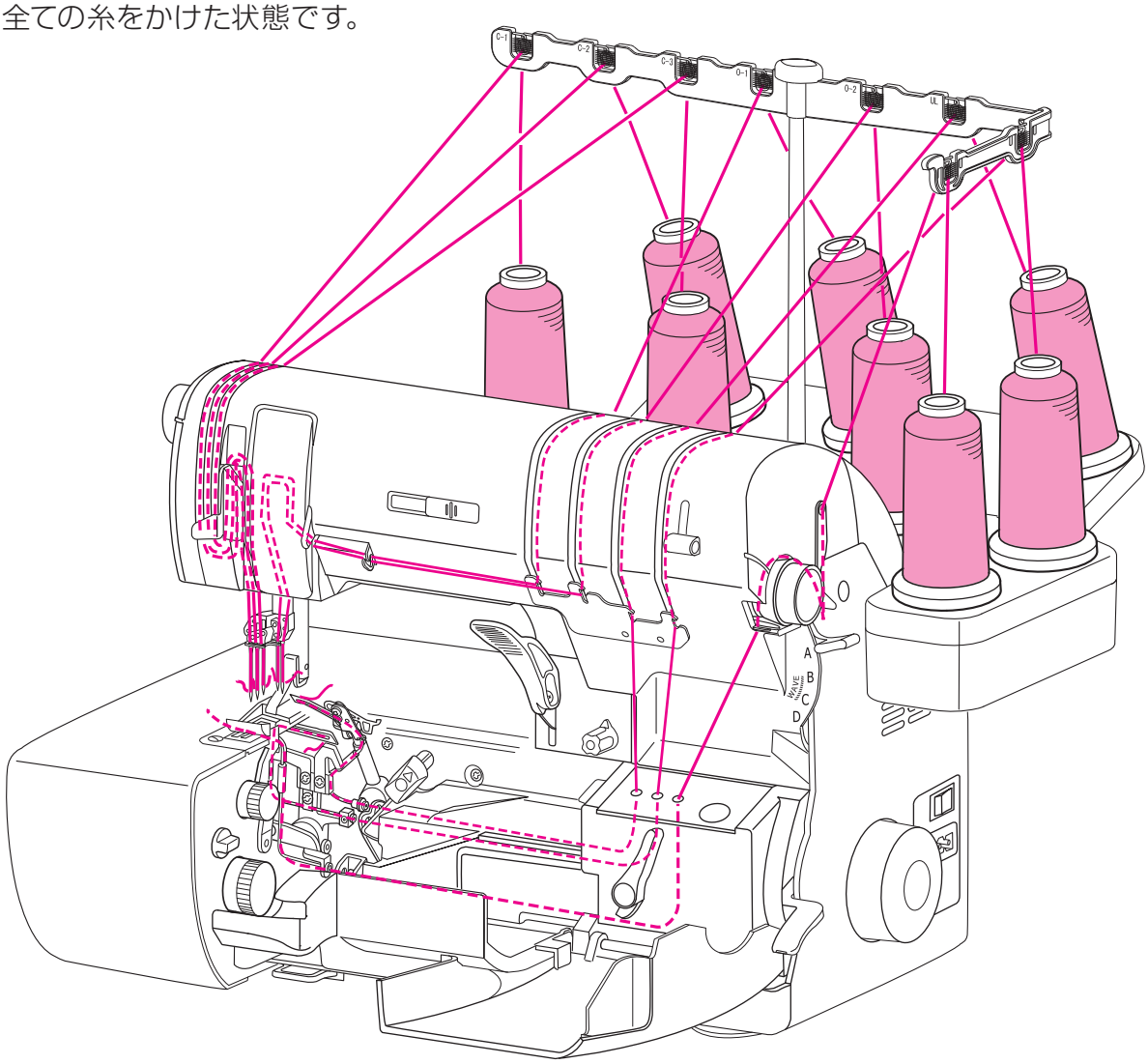
駒受けの使い方

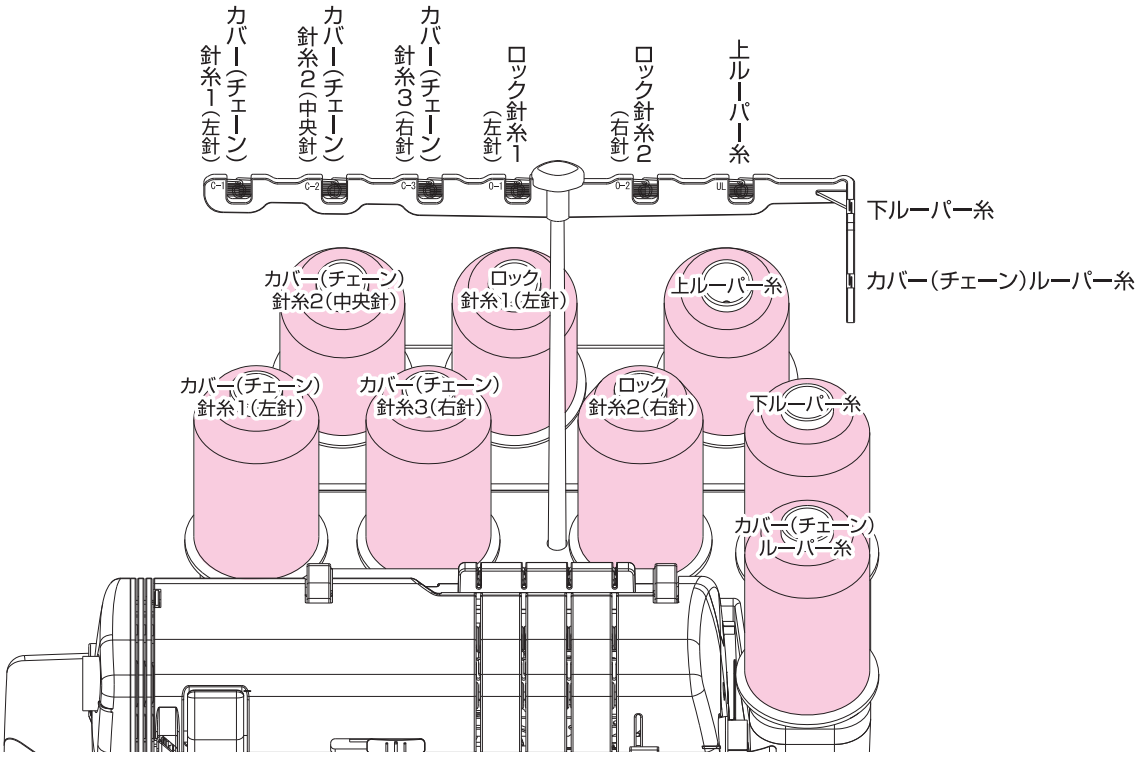
普通はロック糸を使用しますが、駒糸も使用できます。
その場合は付属の「駒受け」と「スポンジ付駒受け」をご使用ください。



糸かけ全体図

全ての糸をかけた状態です。



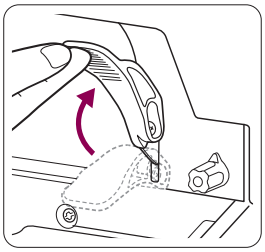


ジェットエアスルーの使い方（ルーパー糸通し）

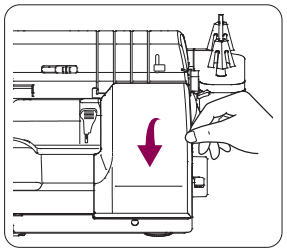
ルーパーの糸かけをするときは「ジェットエアスルー（ジェットエア糸通し）」を使います。ジェットエアスルーを使うときは、まず下記の**「はずみ車の固定」**を行ってください。また、ルーパーの糸かけが終わったら忘れずに**「固定の解除」**を行ってください。

はずみ車の固定（ジェットエアスルーの準備）

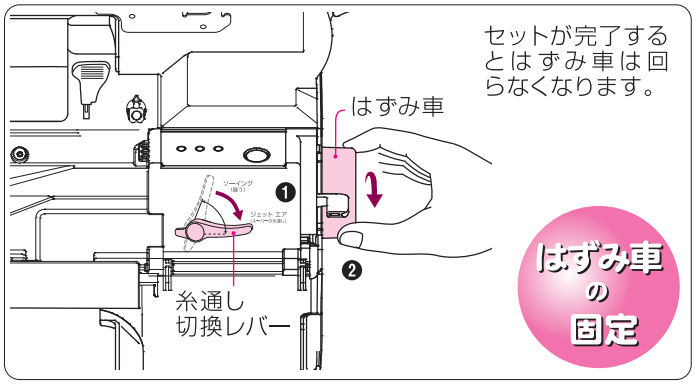
❶押え上げレバーで押え金を上げる。



❷フロントカバーとメスカバーを開ける。



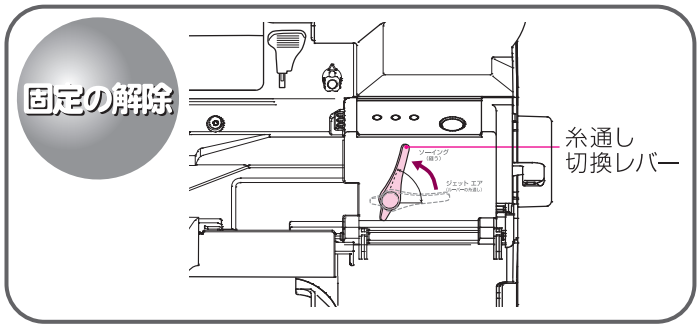
❸糸通し切換レバーを「ジェットエア」側へ下げ、カチッと音がするまではずみ車を回す。



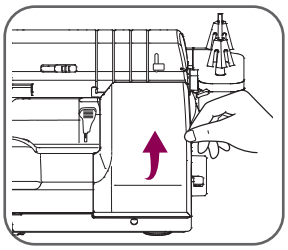
P25（下ルーパー糸）・P26（上ルーパー糸）・P27（カバー（チェーン）ルーパー糸）にしたがって糸をかける

固定の解除（ジェットエアスルーの解除）

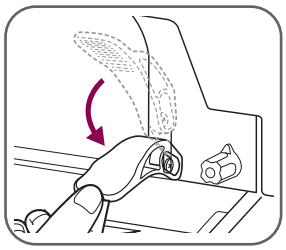
❶ルーパー糸をかけ終わったら、必ず糸通し切換レバーを「ソーイング」側へ上げる。



❷メスカバー、フロントカバーを閉める。

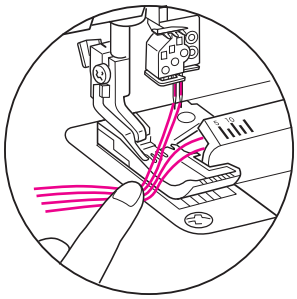


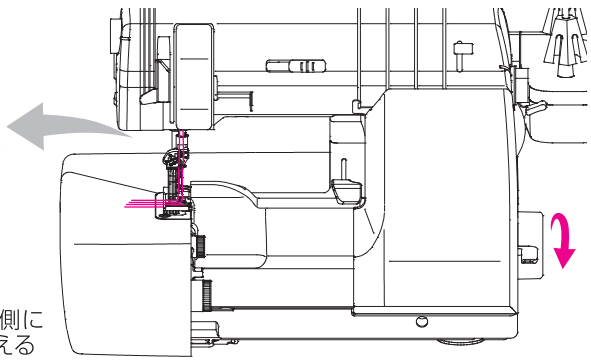
❸押え上げレバーで押え金を下げる。



注）糸通し切換レバーを「ソーイング」側にしないとフロントカバーを閉じることができません。

オーバーロックで縫う場合は、針糸を含めすべての糸をかけ終わったら、最後に糸を軽く押え、はずみ車を数回まわして、空環がうまくできるか確認する。

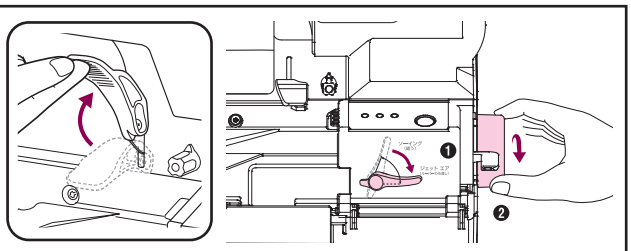




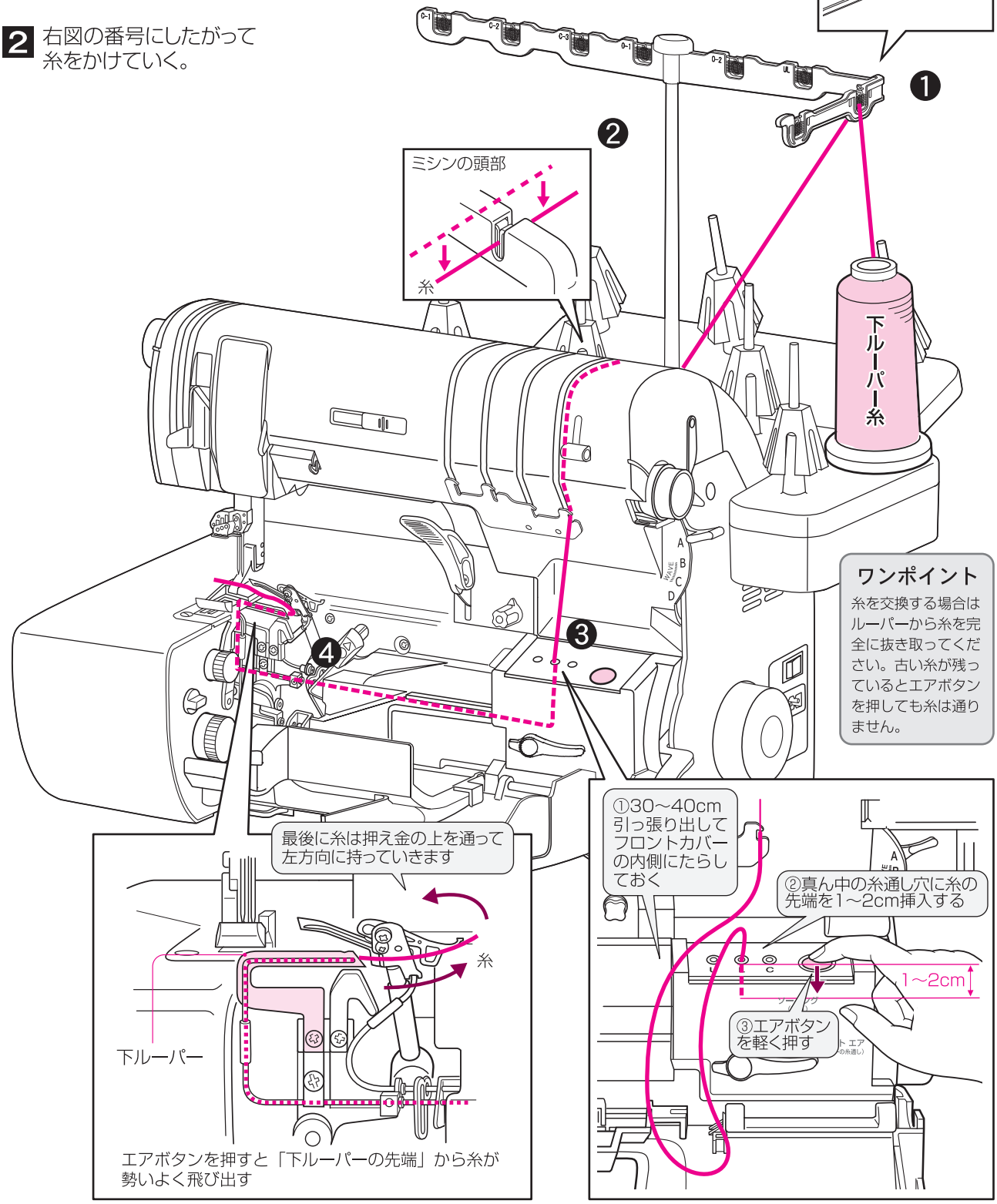
通した糸は押え金の上または下から左側にそれぞれ10cm位のところで切りそろえる

下ルーパー糸

1 糸かけの前に必ず「ジェットエアスルーの準備」(P24参照)を行う。 重要



2 右図の番号にしたがって糸をかけていく。

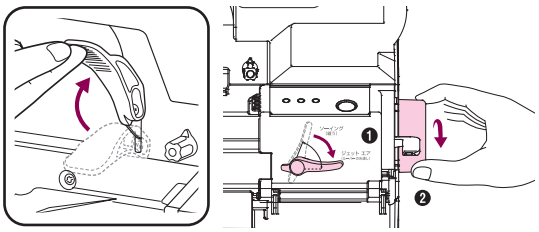


3 「固定の解除」(P24参照)をしてから縫い始める。 重要

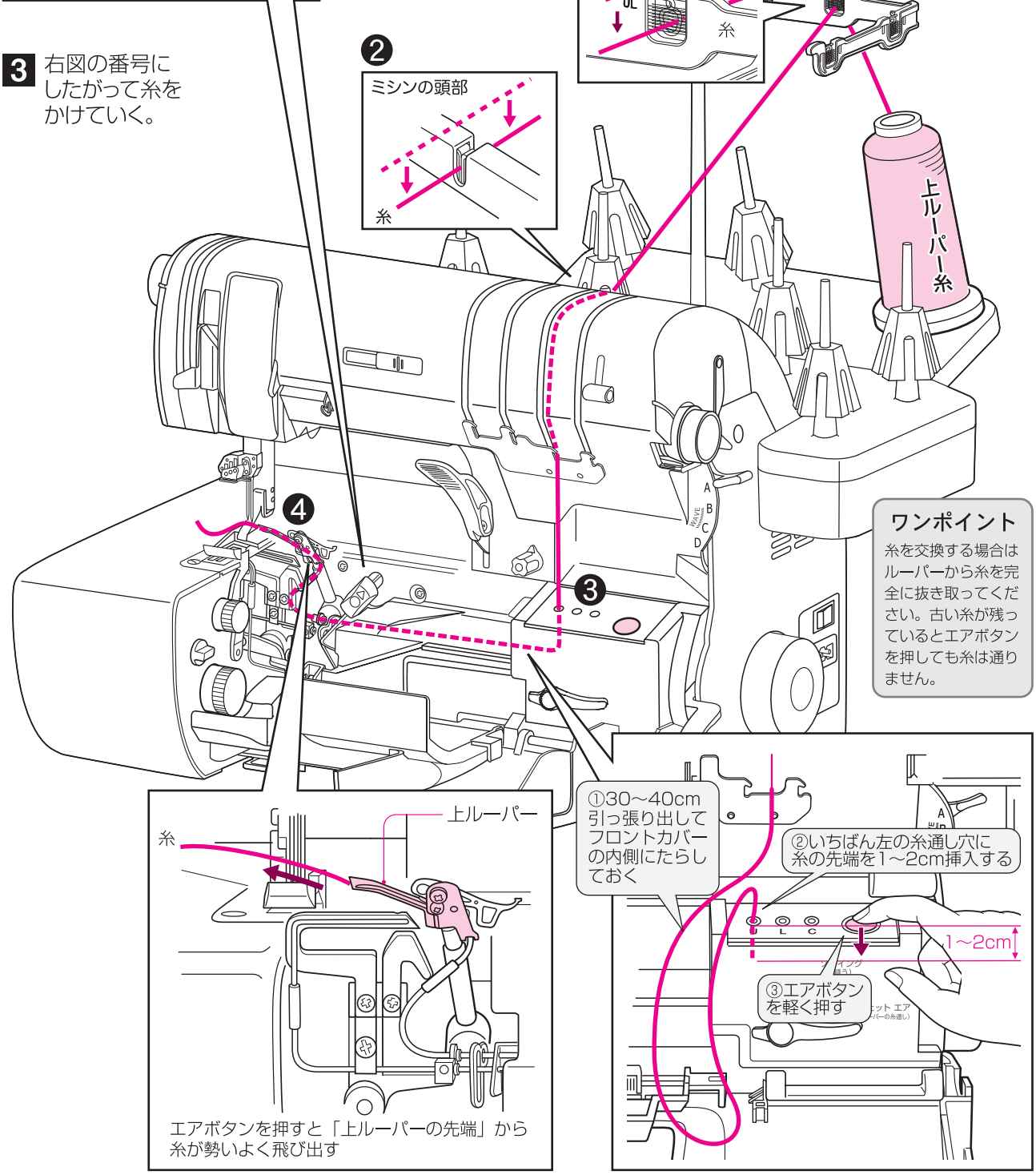
上ルーパー糸

1 カバー(チェーン)／ロック切換レバーを右側に倒す。

2 糸かけの前に必ず「ジェットエアスルーの準備」(P24参照)を行う。 重要



3 右図の番号にしたがって糸をかけていく。

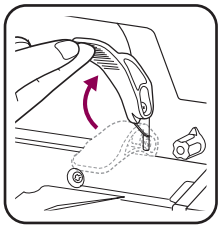


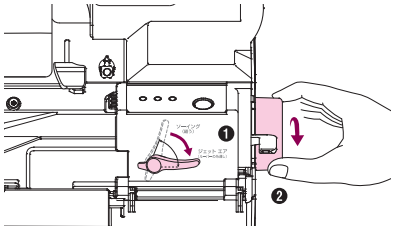
ワンポイント
糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアボタンを押しても糸は通りません。

4 「固定の解除」(P24参照)をしてから縫い始める。 重要

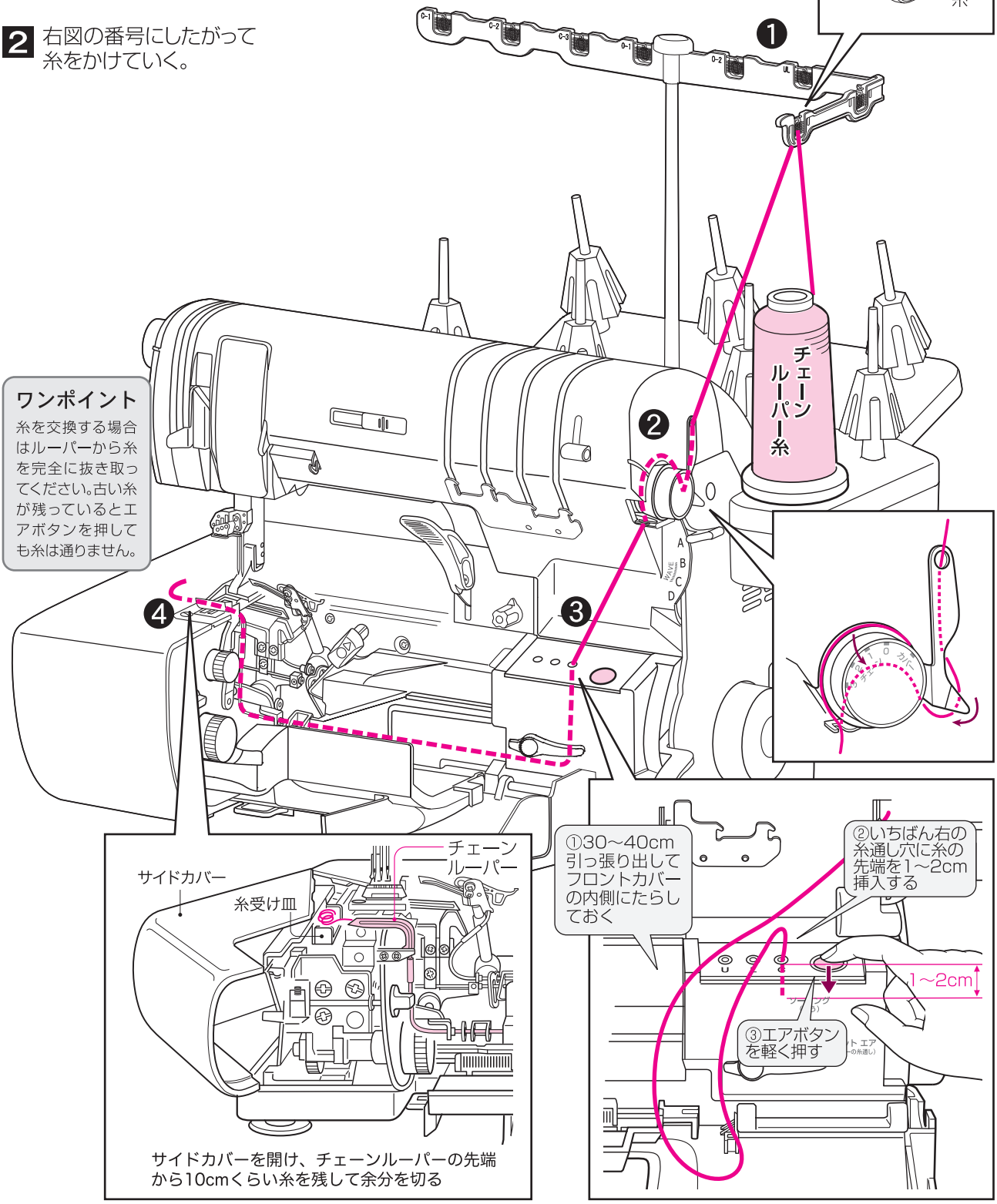
カバー（チェーン）ルーパー糸

1 糸かけの前に必ず「ジェットエアスルーの準備」（P24参照）を行う。 重要





2 右図の番号にしたがって糸をかけていく。



3 「固定の解除」（P24参照）をしてから縫い始める。 重要

ロック針糸

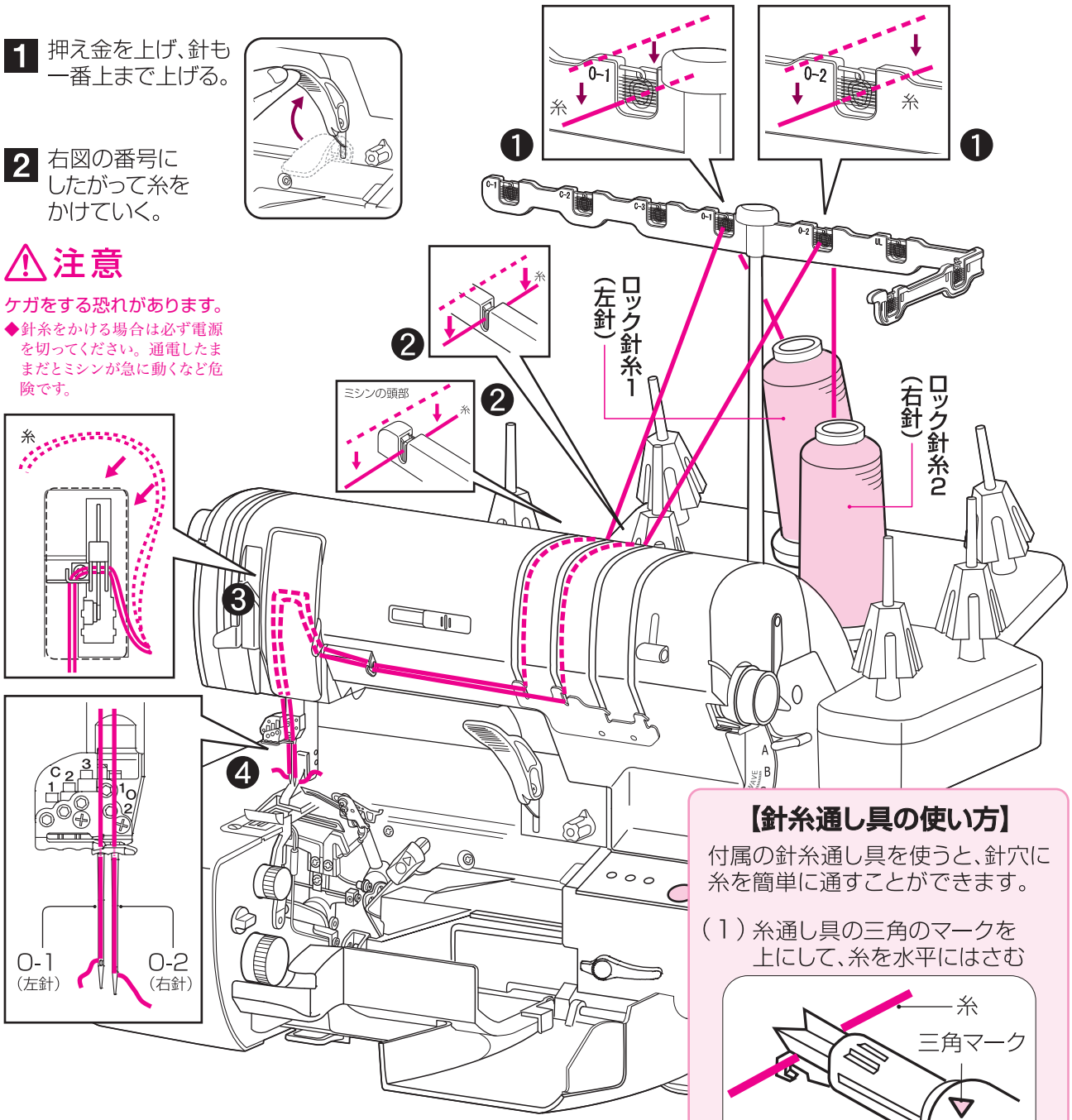
1 押え金を上げ、針も一番上まで上げる。

2 右図の番号にしたがって糸をかけていく。

⚠注意

ケガをする恐れがあります。

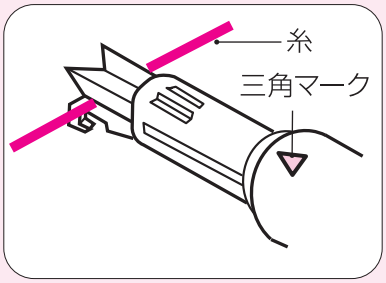
◆針糸をかける場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。



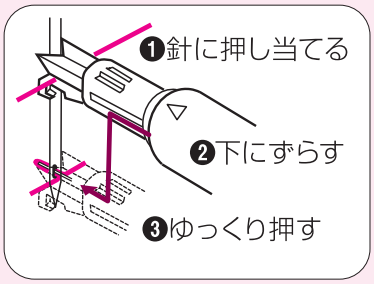
【針糸通し具の使い方】

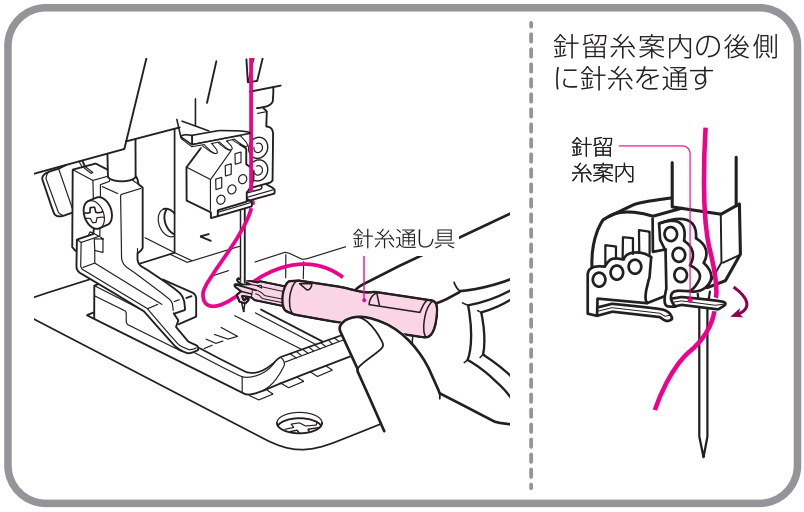
付属の針糸通し具を使うと、針穴に糸を簡単に通すことができます。

（1）糸通し具の三角のマークを上にして、糸を水平にはさむ



（2）そのまま針の上部に糸通し具の先端を押し当て下にずらし、針穴まで来たらゆっくりと押す





注目 ※2本糸ロックの針糸のかけ方は、上記と異なります。P45を参照ください。

カバー（チェーン）針糸

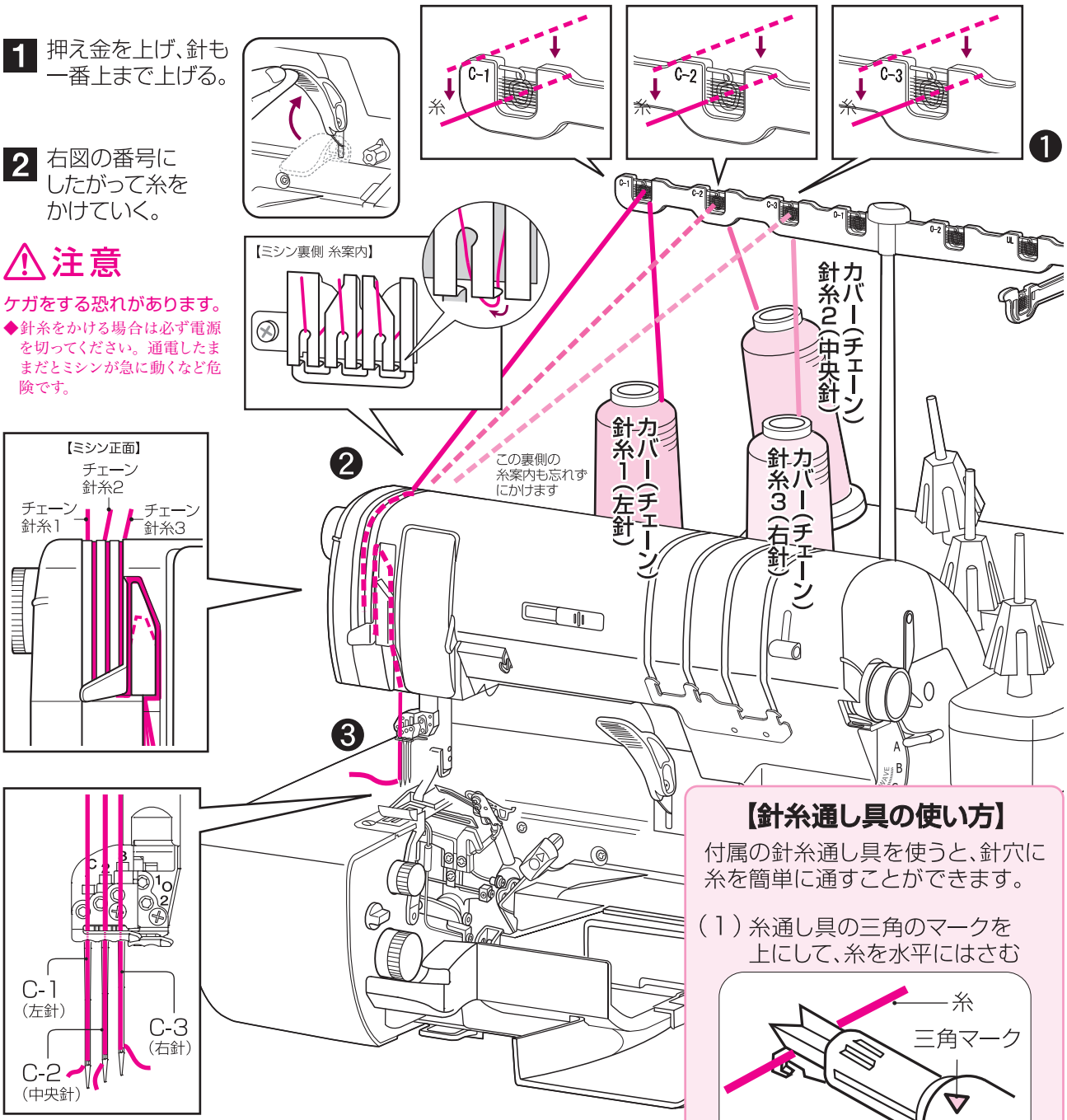
1 押え金を上げ、針も一番上まで上げる。

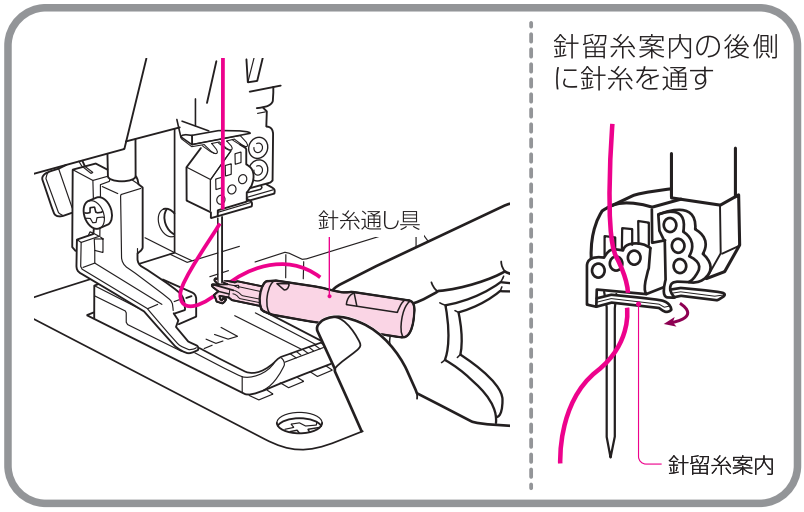
2 右図の番号にしたがって糸をかけていく。

⚠注意

ケガをする恐れがあります。

◆針糸をかける場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

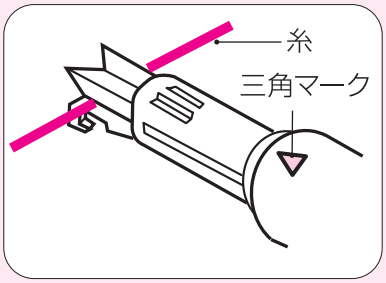




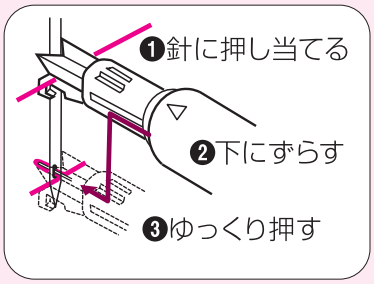
【針糸通し具の使い方】

付属の針糸通し具を使うと、針穴に糸を簡単に通すことができます。

（1）糸通し具の三角のマークを上にして、糸を水平にはさむ



（2）そのまま針の上部に糸通し具の先端を押し当て下にずらし、針穴まで来たらゆっくりと押す

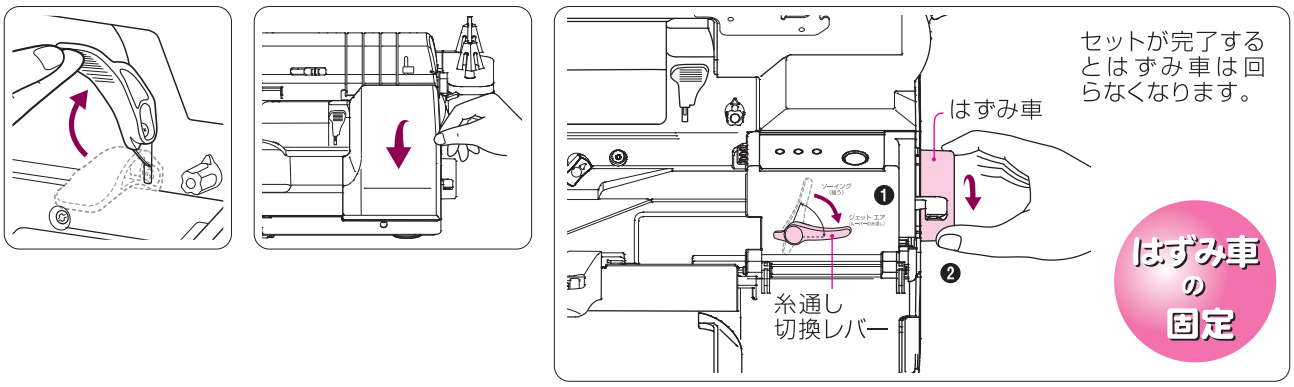


糸通し穴に入りづらい糸の通し方

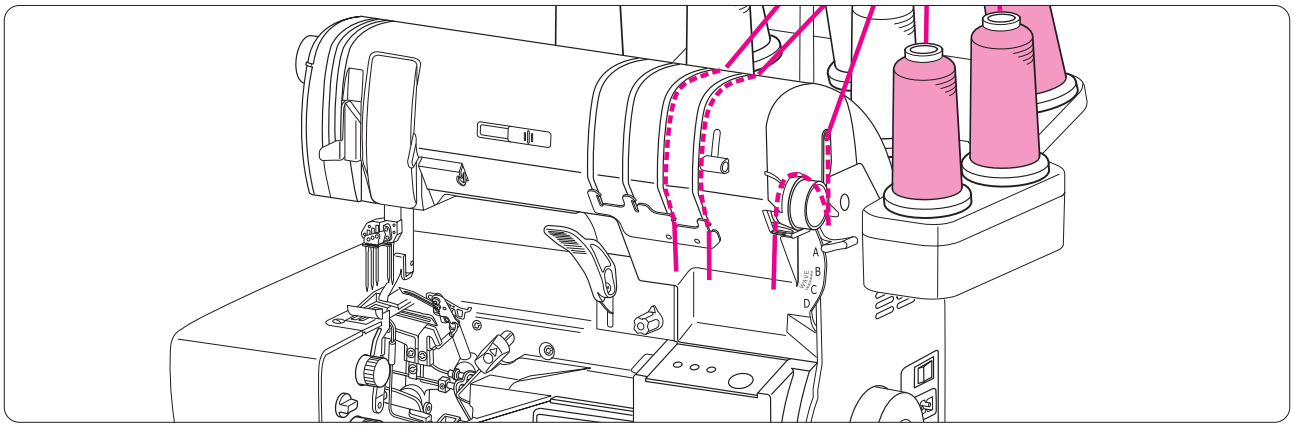
ルーパースレッダーを使う方法

各ルーパーに、ウーリー糸など糸通し穴に入りづらい糸を通す時は「ルーパースレッダー」を使うと便利です。

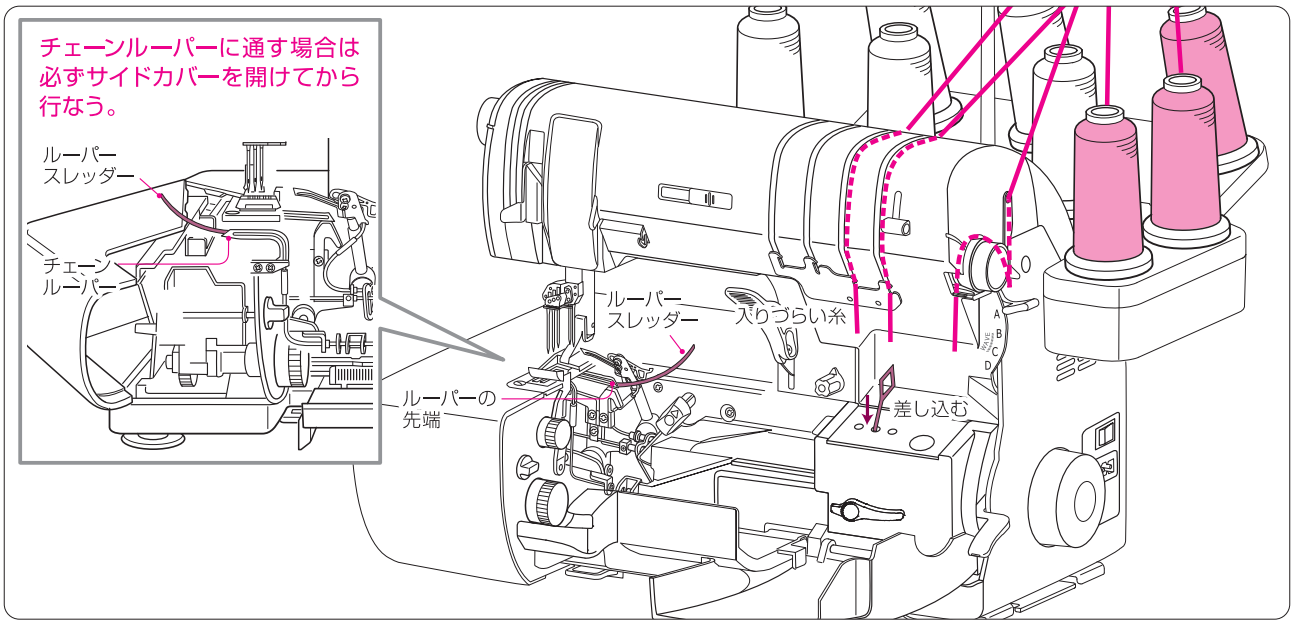
❶「はずみ車の固定」をする。（P24 参照）



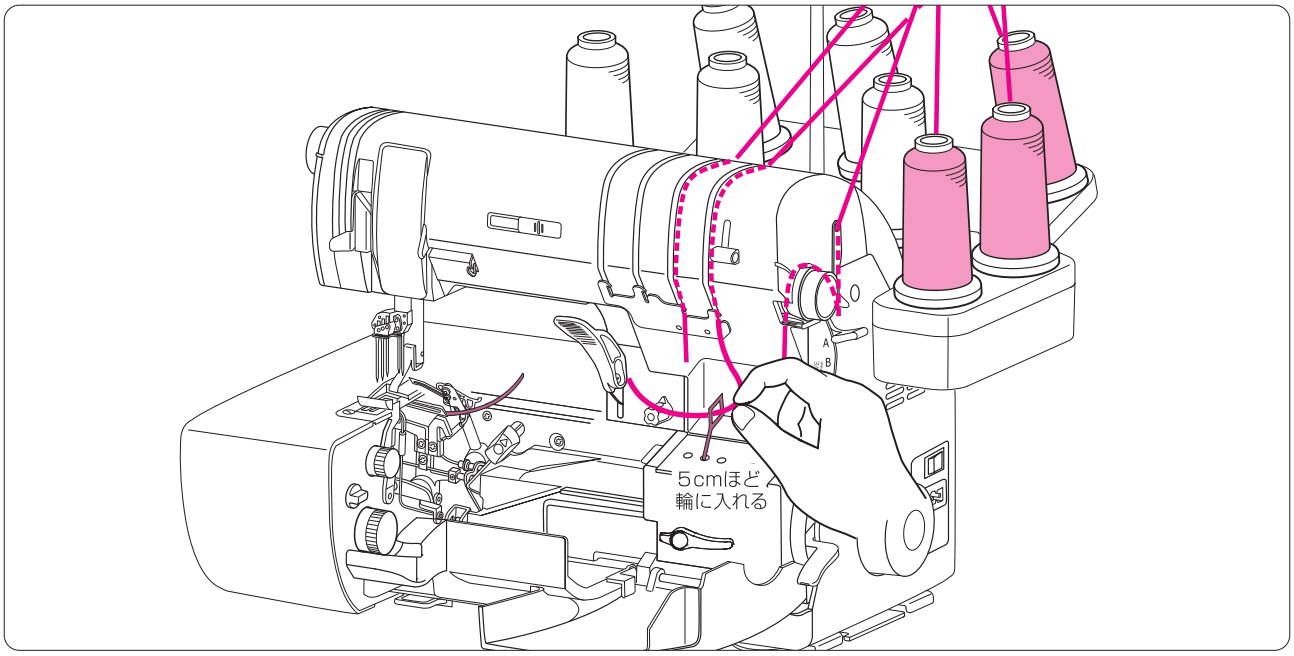
❷糸通し穴の手前まで、入りづらい糸を通しておく。（P 25 ～ 27 参照）



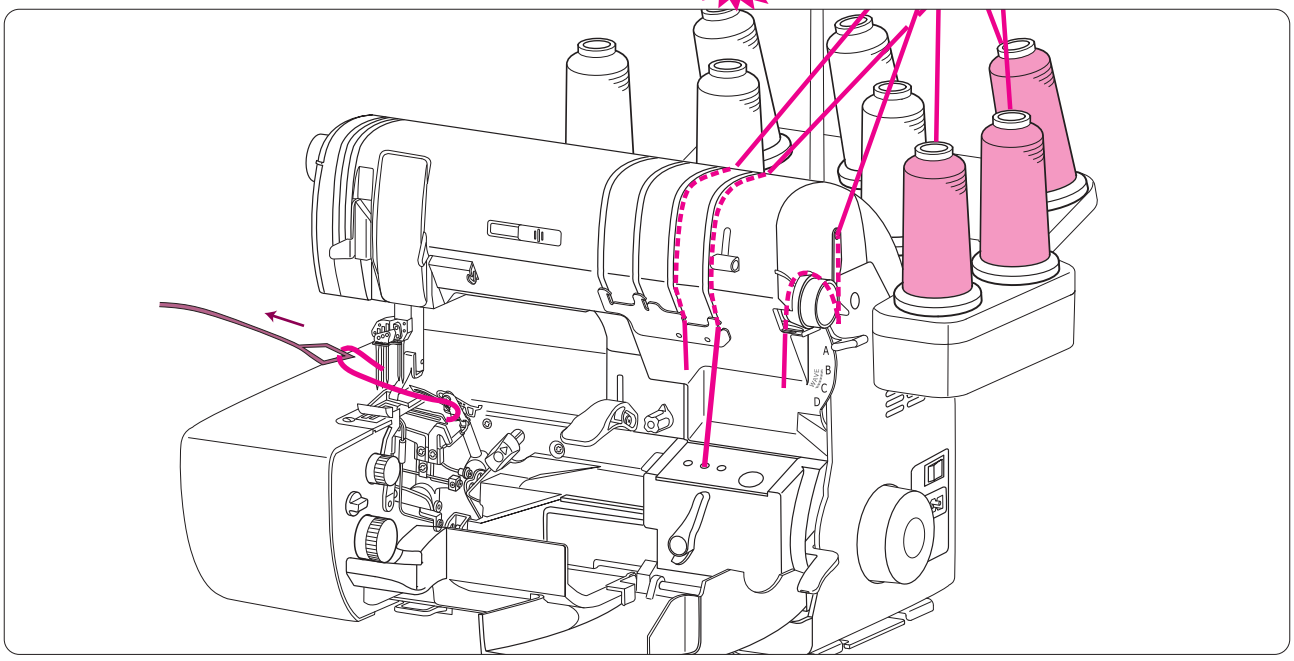
❸付属のルーパースレッダー(P9) を糸通し穴から差し込み、ルーパーの先端から少し出しておく。



❹ルーパースレッダーの輪の部分に入りづらい糸を 5cm ほど入れる。



❺ルーパースレッダーをルーパーの先端から引き出す。
最後に必ず**「固定の解除」を行う。（P 24 参照）** 重要

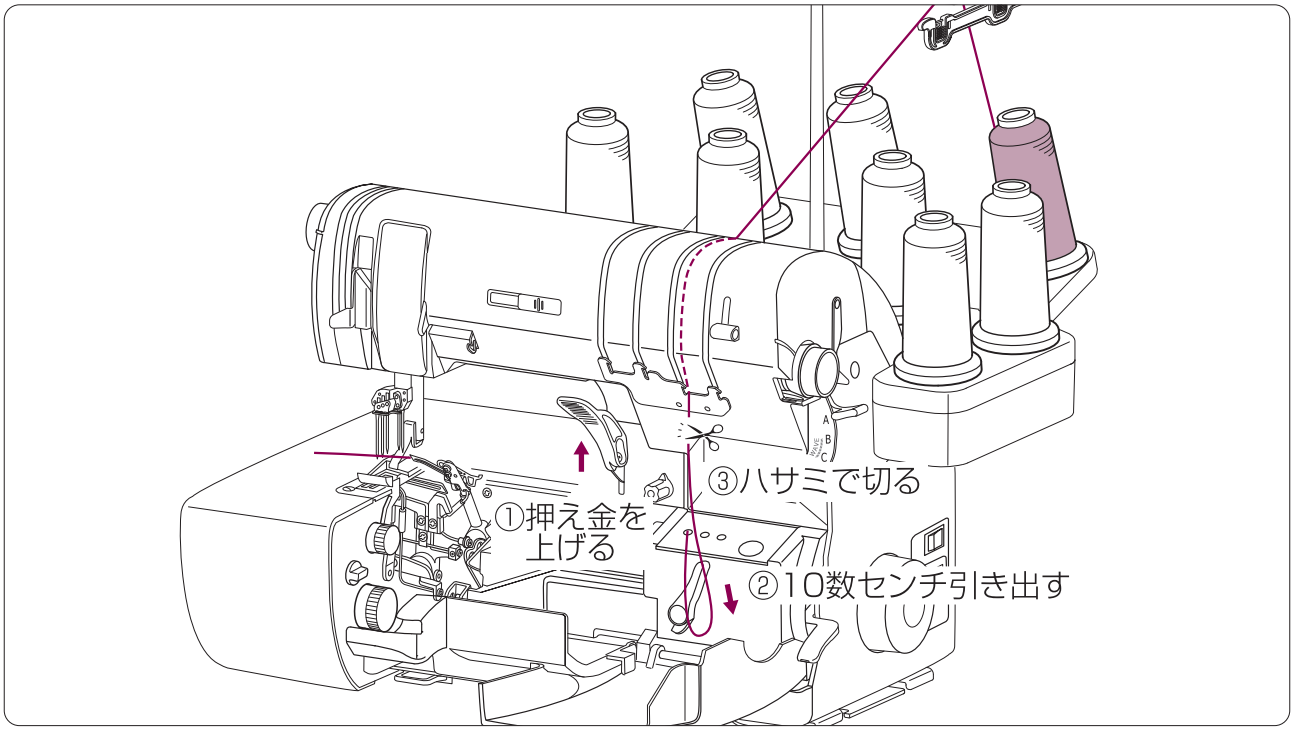


結んで通す方法（ルーパー糸のみ可）

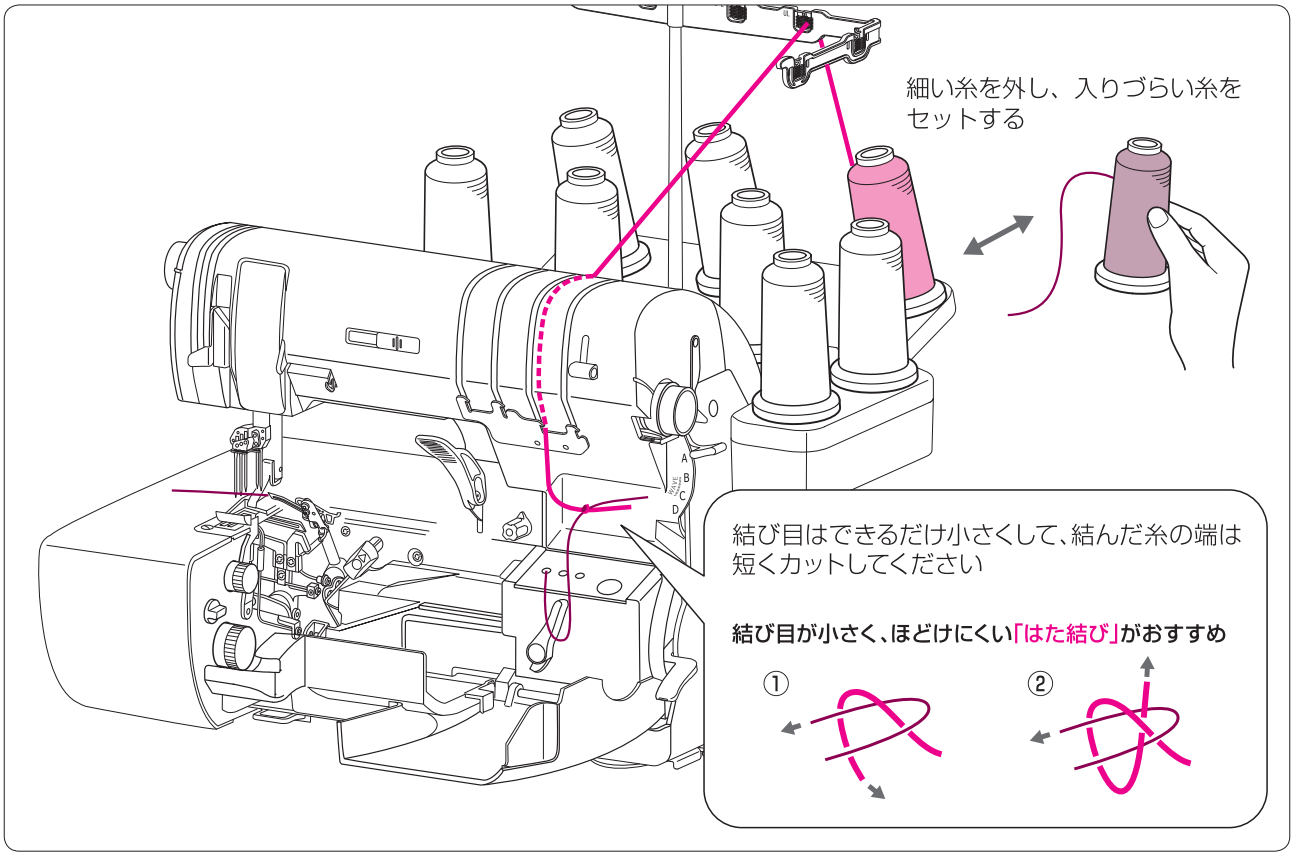
すでに糸がかけてある状態で、糸を交換したい場合に便利な方法です。**結び目が無理なく糸通し穴に入る太さの糸の場合のみこの方法が可能です。**

■わかりやすくするため図では上ルーパー糸のみ表示しています。

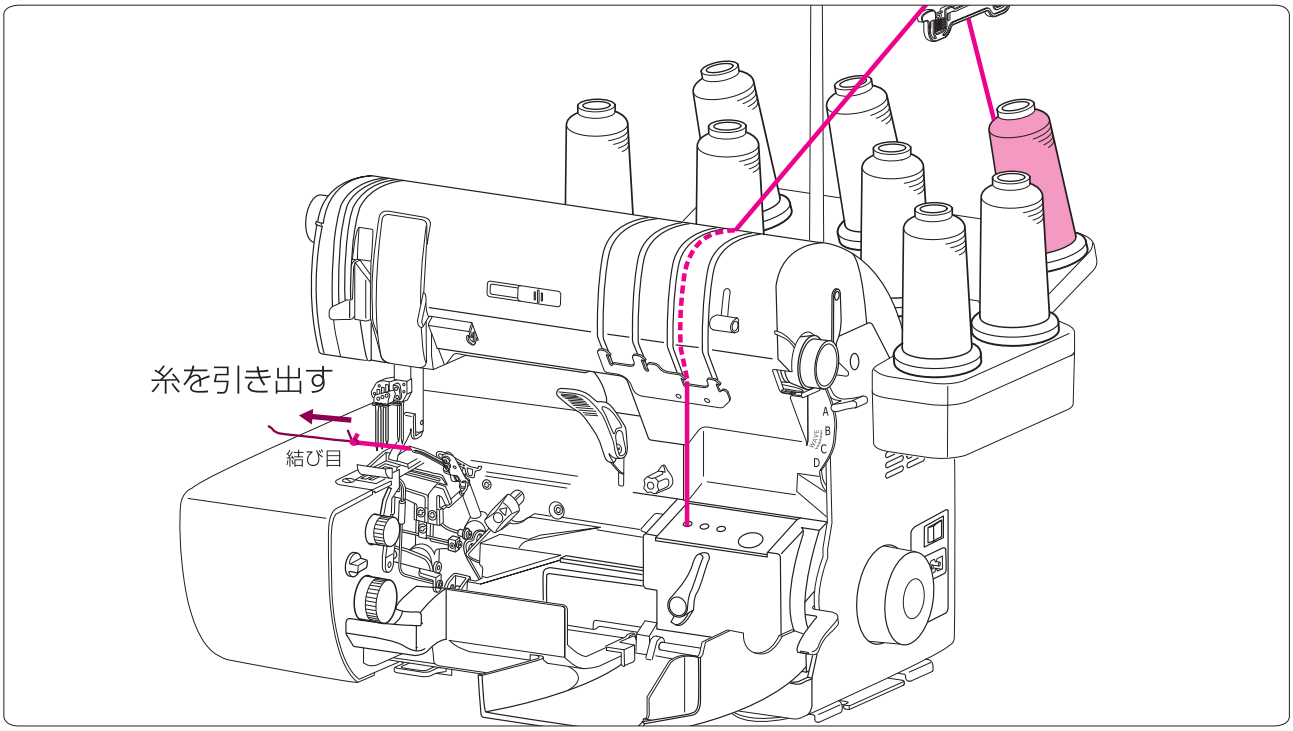
❶押え金を上げ、すでに通っている糸を 10 数センチ引き出し糸通し穴の手前でカットする。



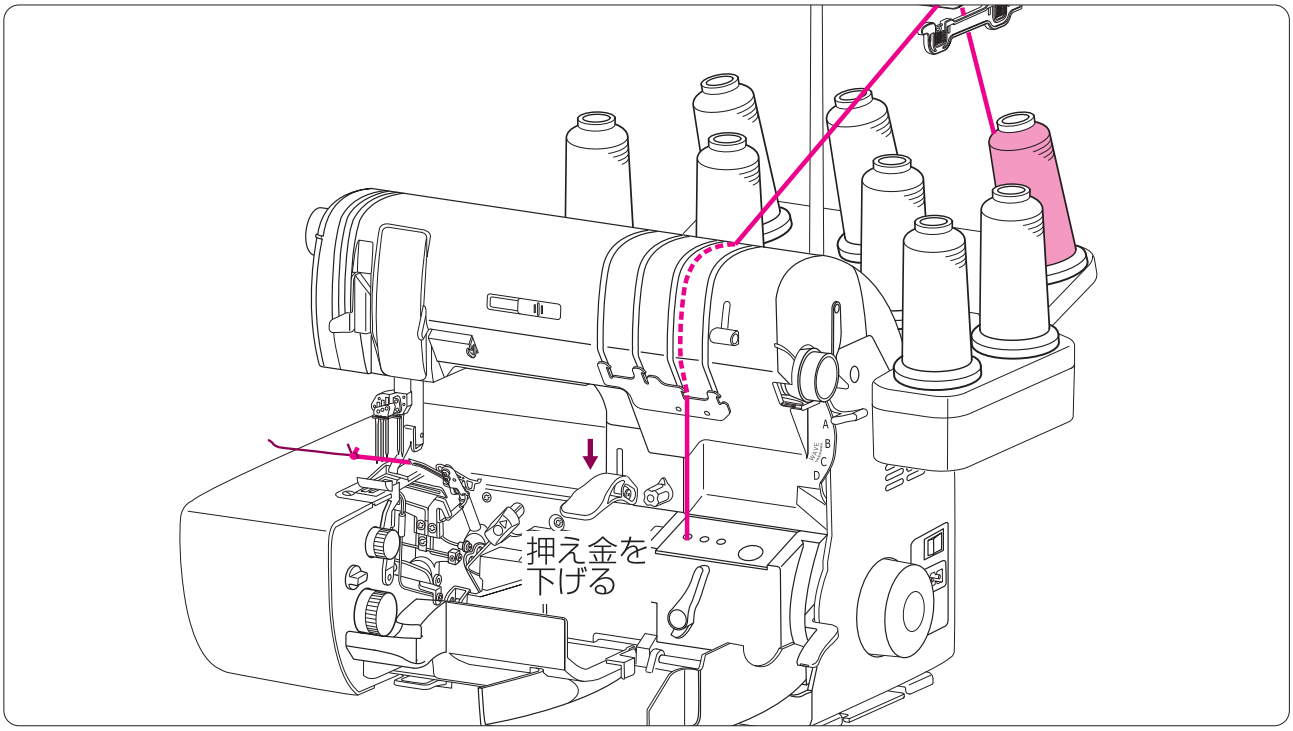
❷細い糸を外し、入りづらい糸をセットする。糸通し穴の手前まで入りづらい糸を通し、細い糸と結ぶ。



❸細い糸と入りづらい糸を結び、結び目が出てくるまで引き出す。



❹押え金を下げ、縫い始める。

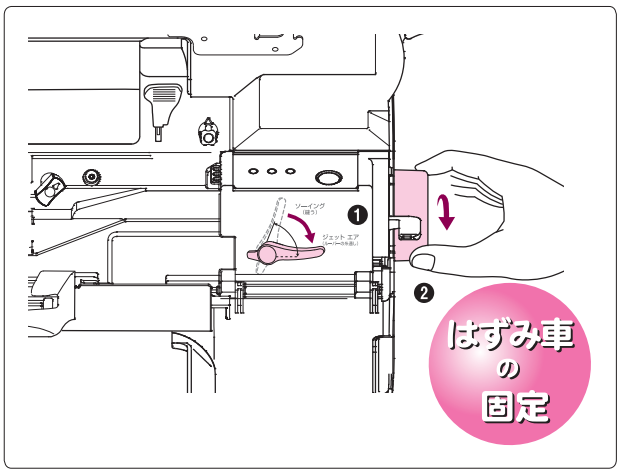


糸通し穴を通さない糸の通し方（太い糸のかけ方）

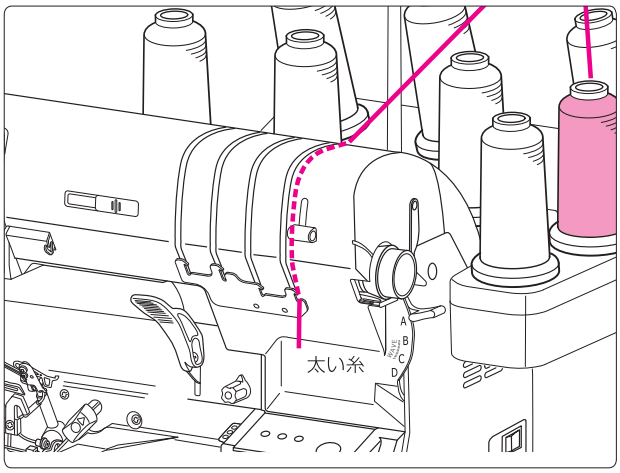
ルーパー糸に、飾り糸として使われるような太い糸を使用したい場合は、ジェットエアスルー（ジェットエア糸通し）のパイプに通さず、下記のようにすると糸がなめらかに送られます。**結び目が無理なくパイプに入る太さの糸の場合のみこの方法が可能です。**

■わかりやすくするため図では下ルーパー糸のみ表示しています。

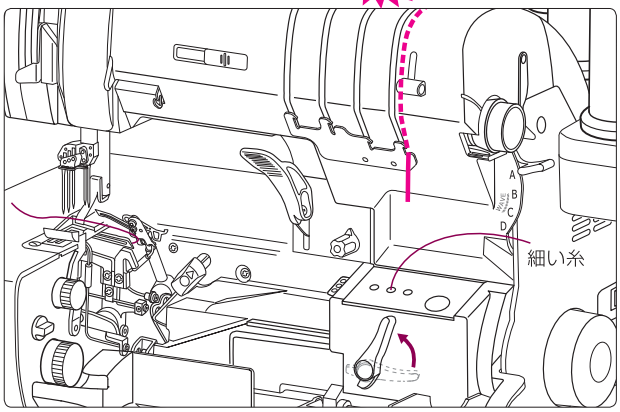
❶「はずみ車の固定」をする。（P24 参照）



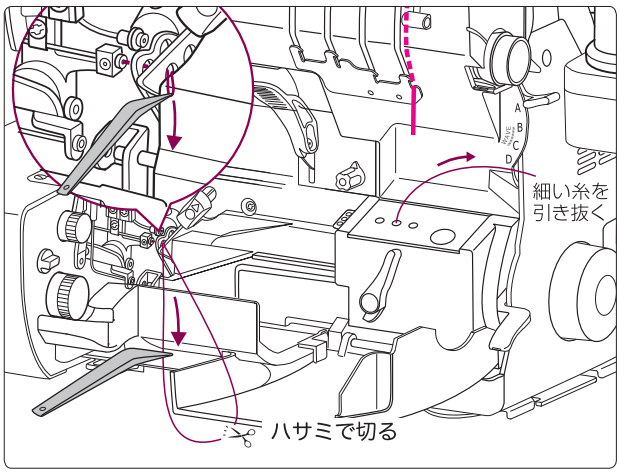
❷糸通し穴の手前まで、太い糸を通しておく。（P 25 ～ 27 参照）



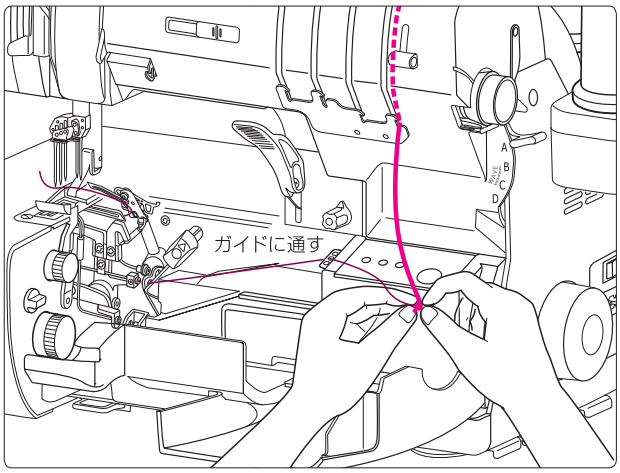
❸エアスルーを使って、まず細い糸を通したあと（P 25 ～ 27 参照）、**「固定の解除」を行う。（P 24 参照）** 重要



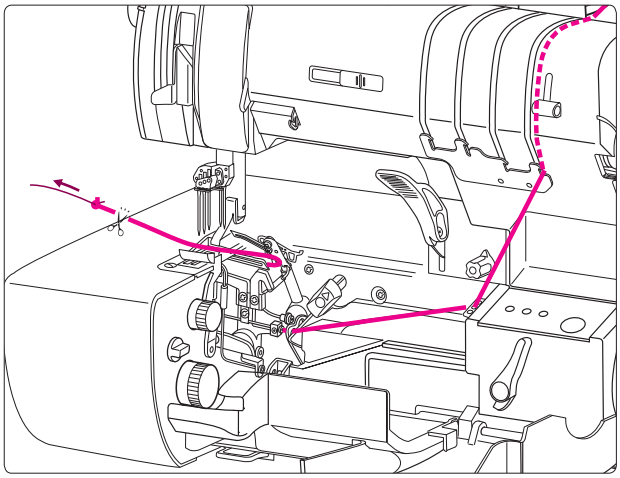
❹ピンセットで糸を引き出して切る。



❺太い糸と細い糸を結ぶ。糸ははた結びを推奨。（P32 参照）



❻結び目を引き出して切る。



糸かけ

縫ってみましょう

試し縫い

⚠注意

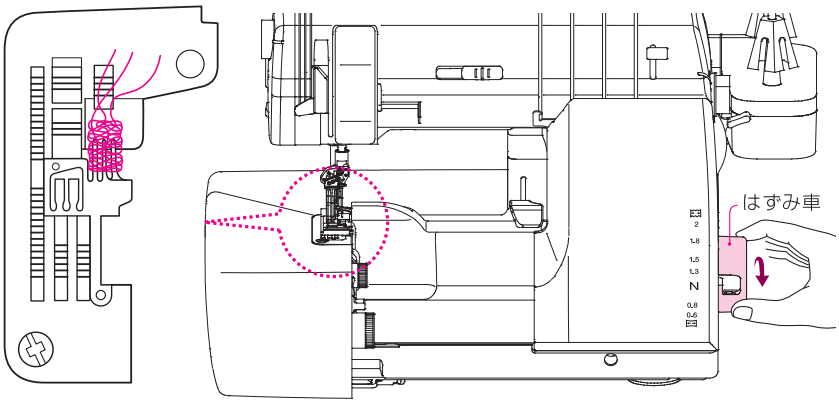
ケガをする恐れがあります。

◆押え金を交換する場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

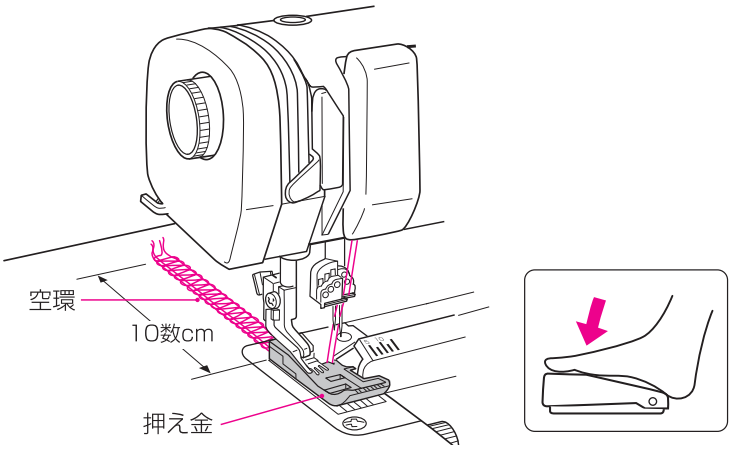
オーバーロック／ウェーブロックの試し縫い

縫い始め

❶サイドカバー・フロントカバーが閉じていることを再度確認する。
「はずみ車」を手前方向に手で数回まわし、針板のツメに糸がからんでいることを確認する。

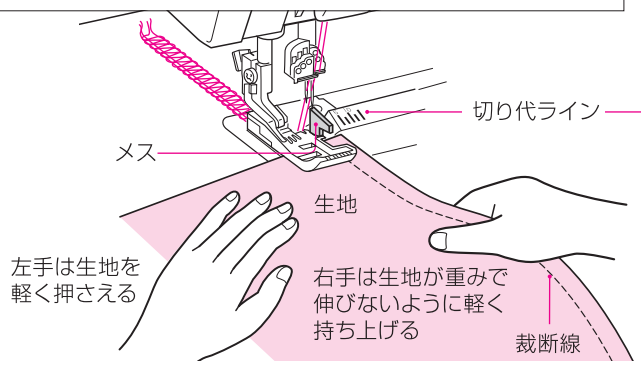


❷押え金が下りていることを確認し、コントローラーを軽く踏んで「空環（からかん）」を約 10 数 cm 出しておく。



❸メスに裁断線を合わせて生地を置く。

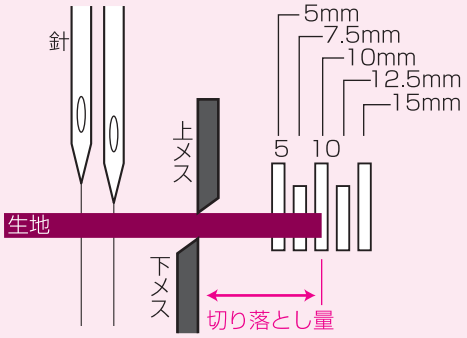
このとき押え金を上げる必要はありません。縫い始めると、生地は押え金の下へ自然と入っていきます。



ワンポイント
生地によっては、バイヤスやカーブを縫うときに生地がはずれやすい場合があります。そのようなときは以下のことを試してください。
①メスから針落ち位置の間で生地が直線になるように手で補助します。
②かがり幅を広くします。

切り代ラインの使い方

切り代ラインはメスで切り落とす生地量の目安です。生地端を５の線に合わせると約５mm切り落とし、１０の線に合わせると約１０mm切り落とします。



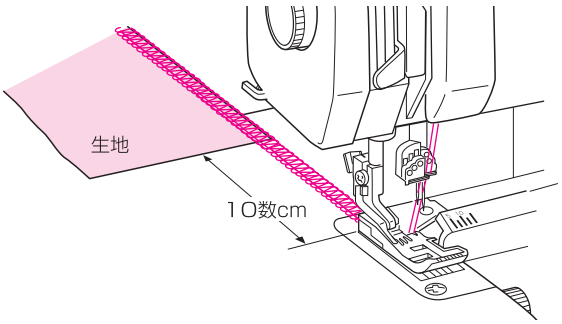
切り代ラインは目安ですので、正確を要する場合は試し切りを行い、確認してから縫い始めてください。

❹コントローラーを踏んで縫い始める。

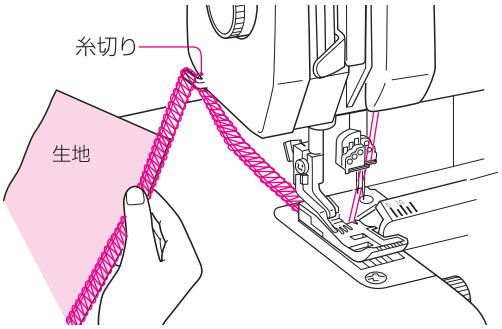
（注）まち針が刺さったまま気づかず縫い進めてメスに触れるとメスの切れ味が悪くなったり、まち針が折れて危険です。布の仮止めにはソーイングクリップをお勧めします。

縫い終わり

❶生地を縫い終わったら、そのまま空縫いをし、「空環」を約 10 数 cm 出しておく。



❷最後に「糸切り」で「空環」を切る。

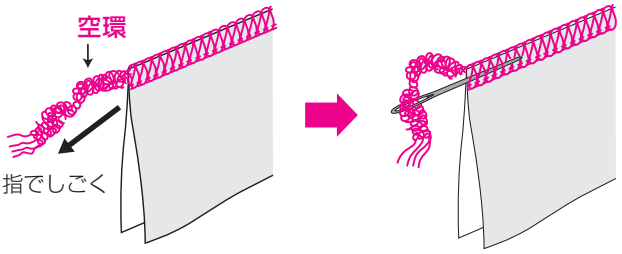


「空環」の始末

縫い終わった後の「空環」の始末には次のような方法があります。

〈とじ針を使う方法〉

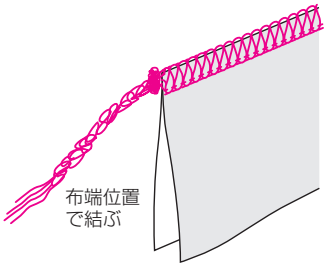
「空環」の糸を指でしごいたあと、とじ針で裏の縫い目に2～3cm通す。
空環が短い場合は、先にとじ針を縫い目に通し、その後空環をとじ針の穴に通して引き抜く。



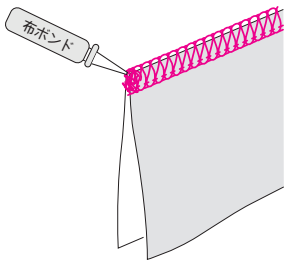
他の方法でも空環を始末できます

指でしごいた「空環」を布端位置で結ぶ。

※ギャザー寄せをした場合は、ギャザーが戻らないためにも「空環」を結んでおくと良いでしょう。



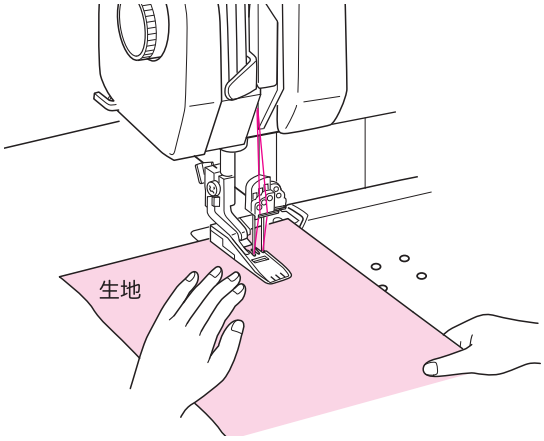
「空環」を布端で切って布ボンドで固める。



チェーン／カバー／トリプルカバーステッチの試し縫い

縫い始め

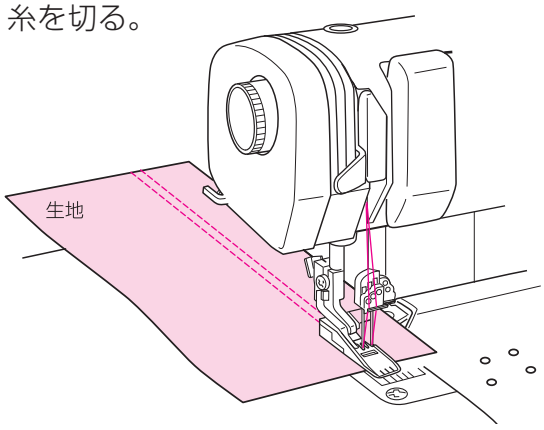
❶押え金と針を上げ、針落ち位置まで生地を入れる。
❷押え金を下げる。「はずみ車」を手前方向に手で数回まわしてからコントローラーを軽く踏み、ゆっくり縫い始める。



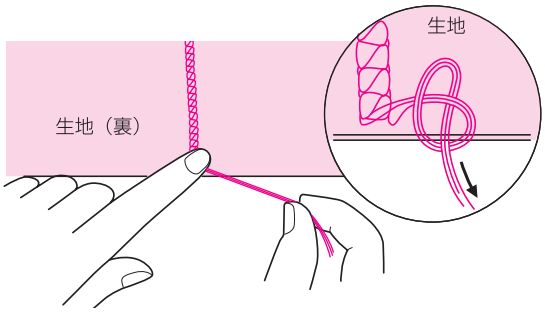
最初は送り目“４”から縫い始めます。縫い始めれば、好みによって送り目を“３”以下にすることもできますが、使用する生地や糸の種類、糸調子の取り方によっては、送り目が小さければ小さいほど、目飛びや糸切れする場合があります。
目飛びや糸切れがしたら、送り目を“４”に戻してみましょう。

縫い終わり

❶生地の端まで縫い終わったら、押え金を上げ、注意しながら布を左斜め後ろに引き出し、糸を切る。



❷表に出ている糸を抜き、裏側ですべての糸をまとめて結ぶ。



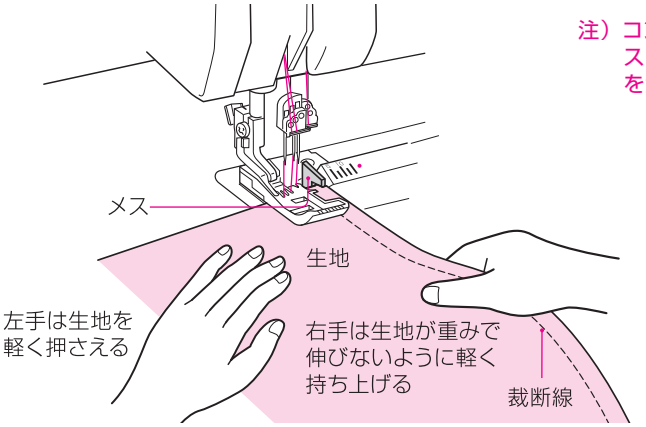
チェーン／カバー／トリプルカバーステッチで縫う場合は、送り目を「4」にした時だけ空環が出ます。
縫い終わりは、 送り目を「4」にしてから空環を出しておくという方法もあります。

コンビネーションステッチ（インターロック含む）の試し縫い

縫い始め

❶メスに裁断線を合わせて生地を置く。

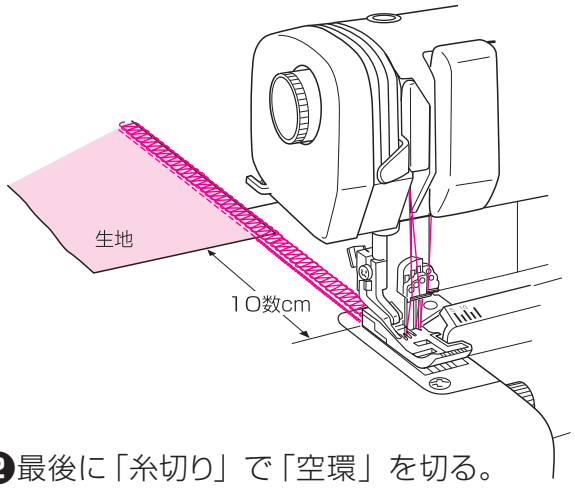
❷「はずみ車」を手前方向に手で数回まわしてからコントローラーを軽く踏み、送り目を好みの数字にして縫い始める。



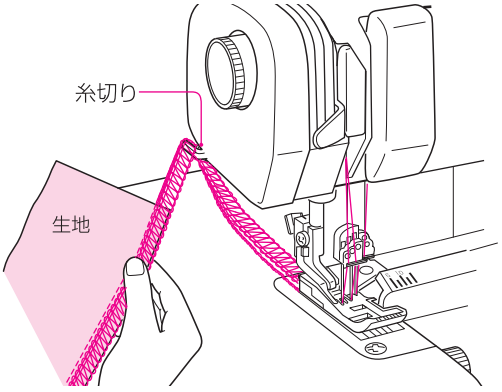
注）コンビネーションステッチで送り目を小さくすると、カバー（チェーン）ステッチで目とびや糸切れをする場合があります。その場合は送り目を大きくしてください。

縫い終わり

❶生地を縫い終わったら、そのまま空縫いをし、「空環」を約 10 数 cm 出しておく。

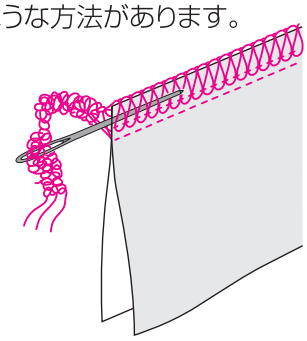


❷最後に「糸切り」で「空環」を切る。

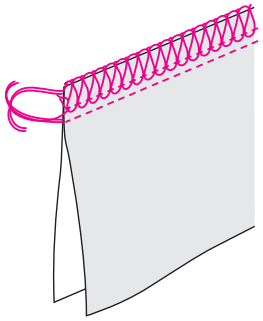


「空環（からかん）」の始末

縫い終わった後の「空環」の始末には次のような方法があります。



●とじ針で裏の縫い目に通しておきます。

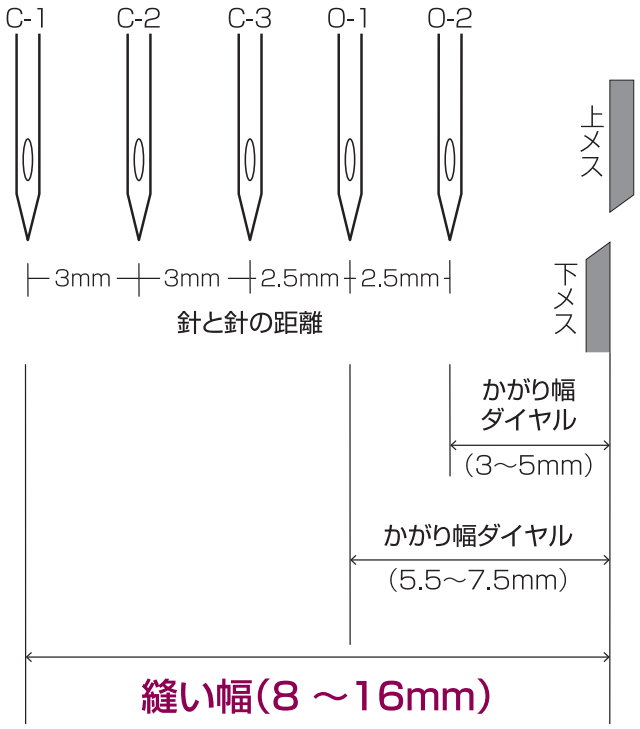


●すべての糸をまとめて根本で結びます。

※送り目が小さい場合は空環が出ないことがあります。その場合は送り目を大きくしてください。

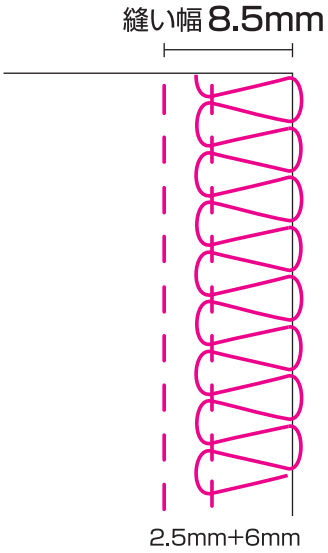
縫い幅について

コンビネーションステッチでは使用針位置とかがり幅ダイヤルを調節することによってお好みの縫い幅で縫うことができます。縫い幅とは左端の針からメスまでの距離をいいます。8mmから16mmに調節できます。



【インターロックの場合】

C-3/O-1針 使用･かがり幅ダイヤル 6mm



オーバーロック

オーバーロックへの切換え

オーバーロックで縫う場合は下記の順番に従って切り換えてください。

1 針

O側の針を付ける
・4本糸の場合は2本針
・その他は右針使用の1本針

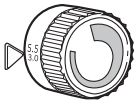
注）針を取りはずした後、止めネジはゆるめたままにしてください（止めネジははずれない構造になっています）。針が無いまま強く締めすぎると、針が入らなくなる恐れがあります。

注）使わない糸は取り除いてください。かけたままだと縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

2 カバー(チェーン)／ロック切換レバー

3 糸をかける
(P25･26･28参照)

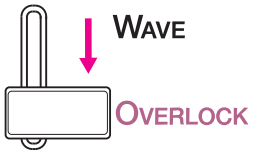
7 かがり幅ダイヤル



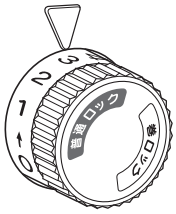
・4本糸の場合は上段の大きい数字で合わせる
・その他の場合は下段の小さい数字で合わせる

4 オーバー／ウェーブ切換レバー

OVERLOCKに合わせる

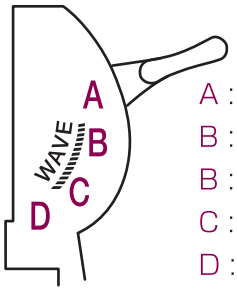


6 送り目ダイヤル



・4本糸、3本糸、2本糸ロックの場合は【普通ロック】側の数字で合わせる
・標準巻きロック、変形巻きロックの場合は【巻ロック】側の数字で合わせる

5 縫い目切換ダイヤル

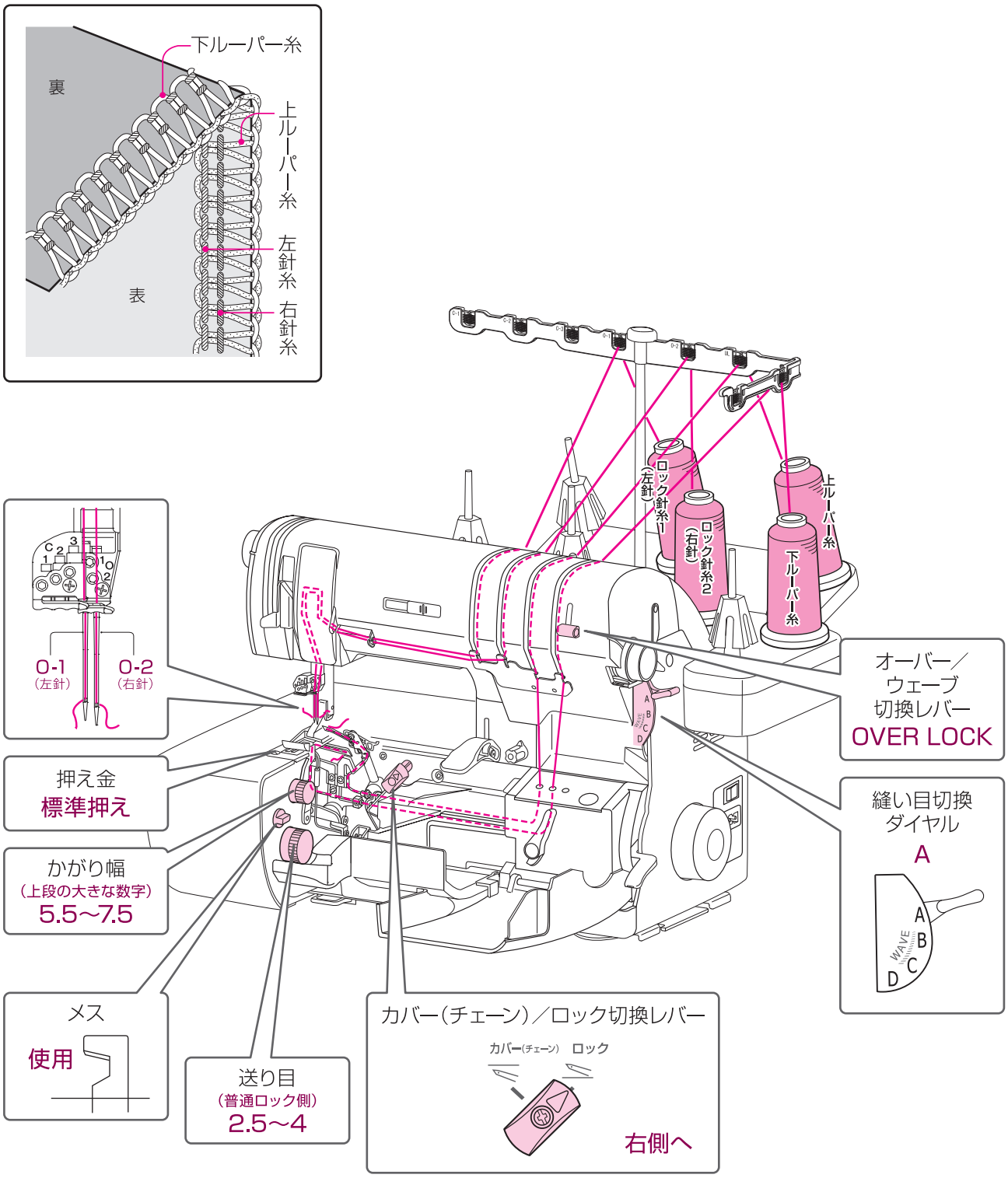


A：2本針4本糸ロック
B：1本針3本糸ロック
B：1本針2本糸ロック
C：標準巻きロック
D：変形巻きロック

2 本針 4 本糸ロック

ニット地の縫い合わせに。

ミシンの設定

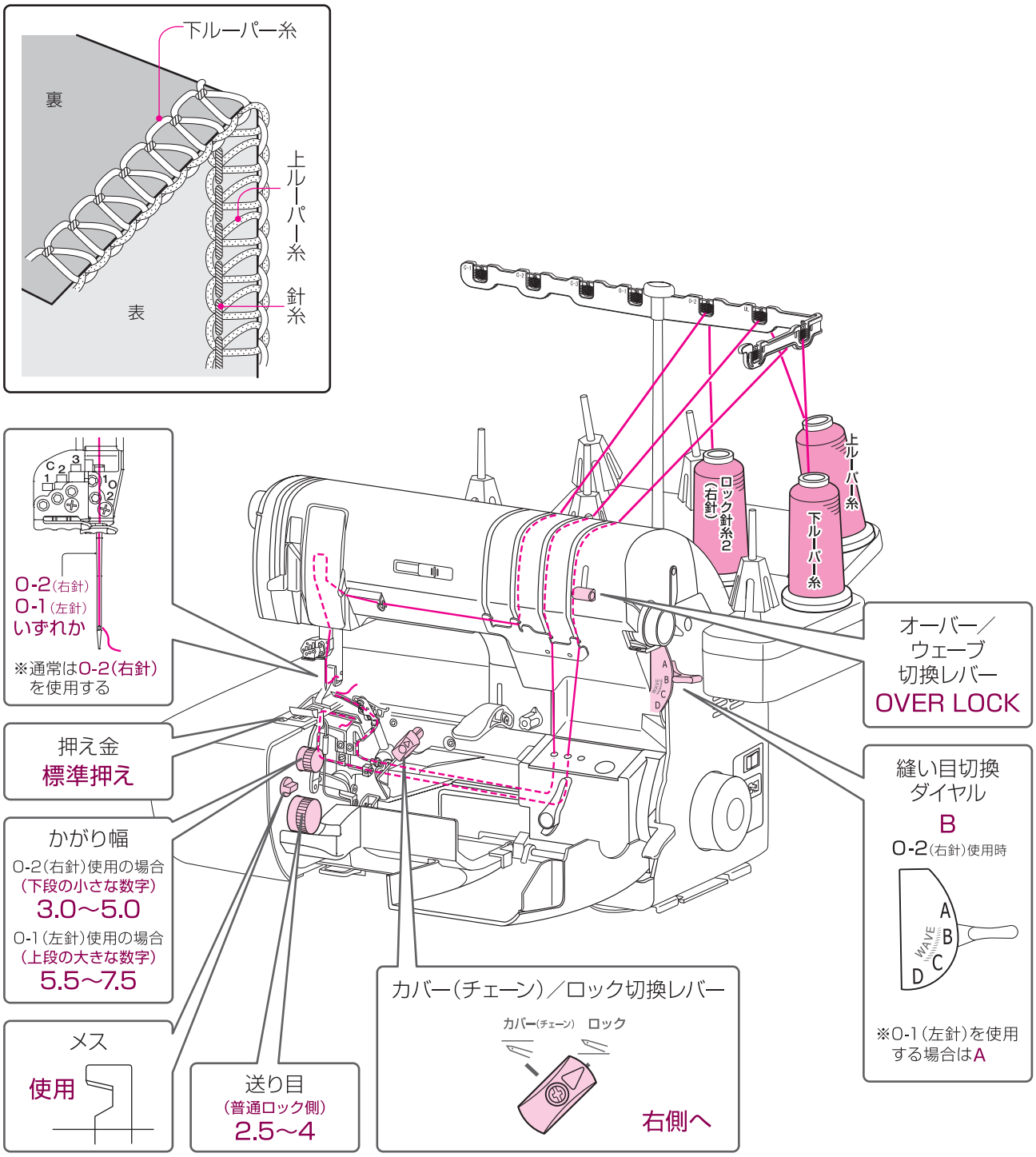


※かがり幅、送り目は使用する生地や糸、お好みに応じて変更ください。

1 本針 3 本糸ロック

縁かがりに。

ミシンの設定



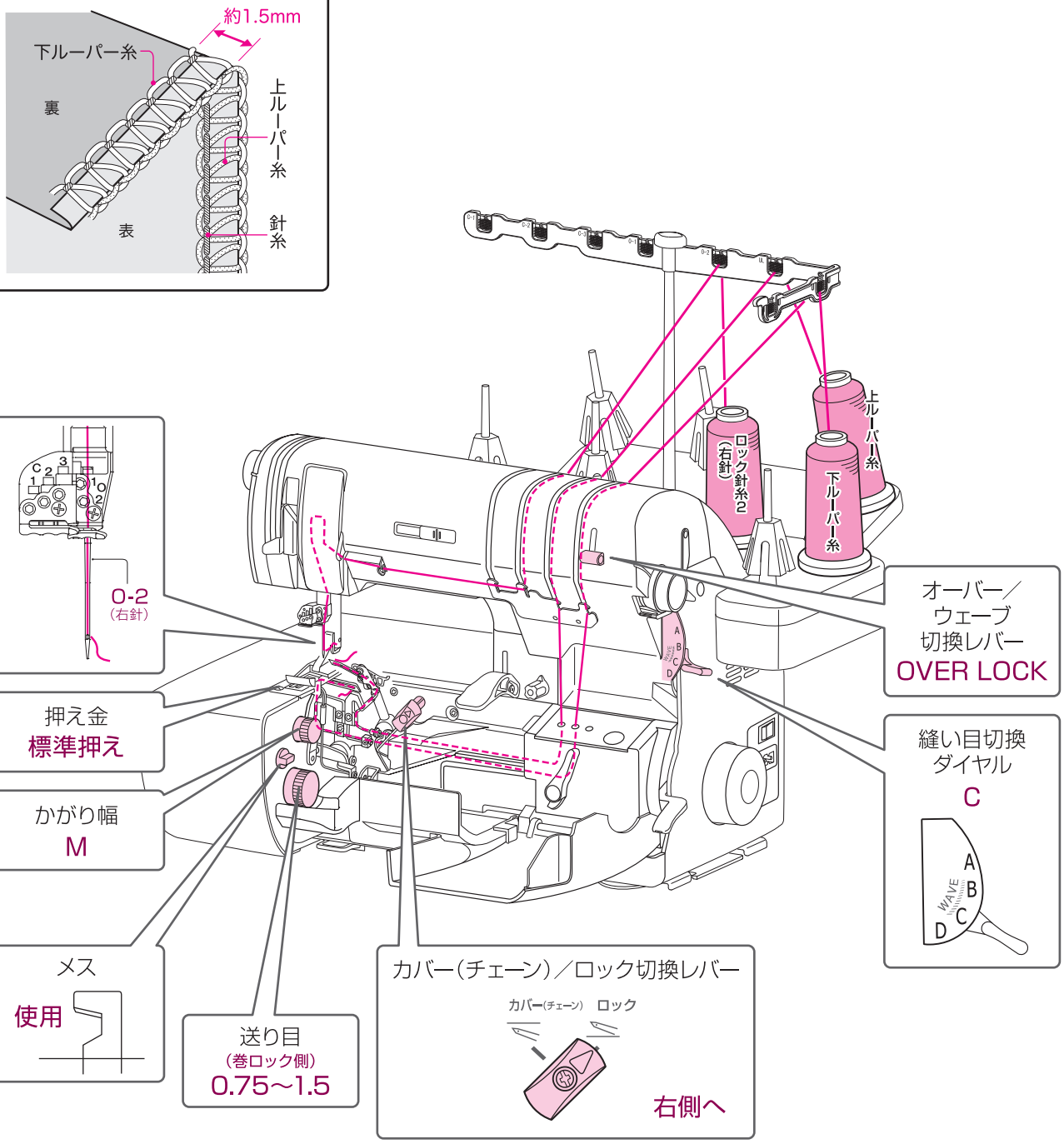
※図は 0-2 の針を使った状態です。※かがり幅、送り目は使用する生地や糸、お好みに応じて変更ください。

標準巻きロック

オーガンジーやジョーゼットなど、薄地の縫い合わせや端始末に。

ミシンの設定

布端をひと折りしながら、細くかがりますが、縫い目の形状は普通ロックと同じです。かがりの厚みを出さず、きれいなシルエットに仕上げることができます。



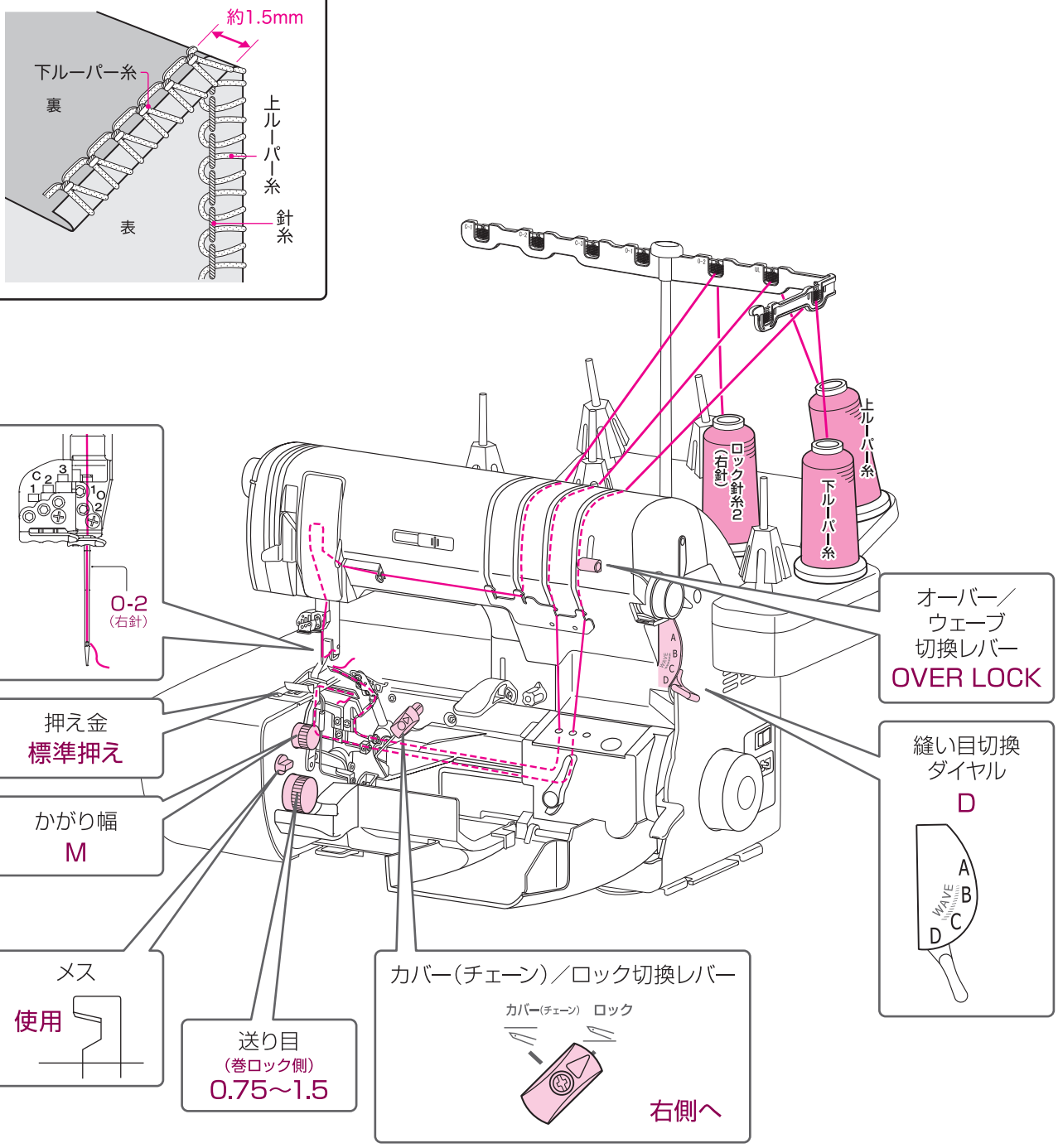
※かがり幅、送り目は使用する生地や糸、お好みに応じて変更ください。

変形巻きロック（一般的な巻きロック）

フリルやハンカチなどに。既製品に多く使われている縫い目です。

ミシンの設定

上ルーパー糸が、布端を裏側に巻き込みながら細くかがります。上ルーパー糸にウーリー糸を使用すると、細い縫い目が強調され印象的です。



※かがり幅、送り目は使用する生地や糸、お好みに応じて変更ください。

1 本針 2 本糸ロック

主に飾り縫いに。

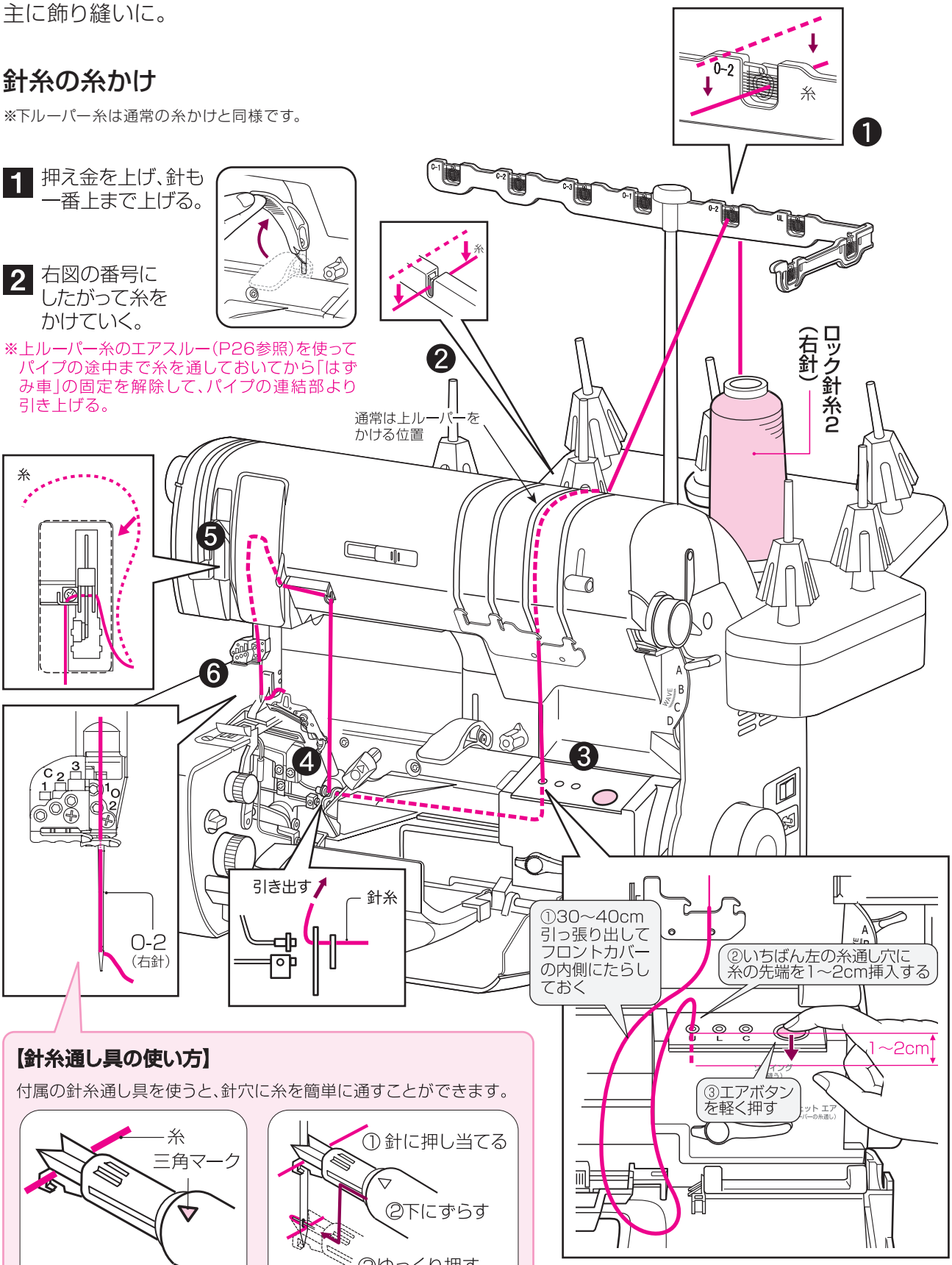
針糸の糸かけ

※下ルーパー糸は通常の糸かけと同様です。

1 押え金を上げ、針も一番上まで上げる。

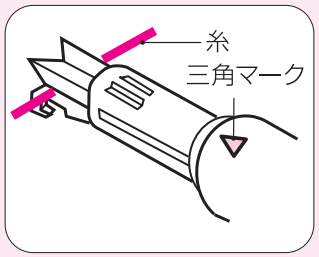
2 右図の番号にしたがって糸をかけていく。

※上ルーパー糸のエアスルー（P26参照）を使ってパイプの途中まで糸を通しておいてから「はずみ車」の固定を解除して、パイプの連結部より引き上げる。

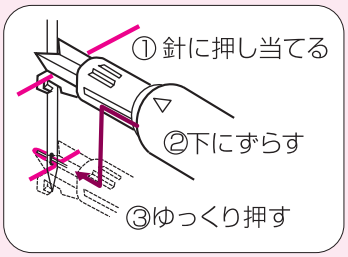


【針糸通し具の使い方】

付属の針糸通し具を使うと、針穴に糸を簡単に通すことができます。



（1）糸通し具の三角のマークを上にして、糸を水平にはさむ



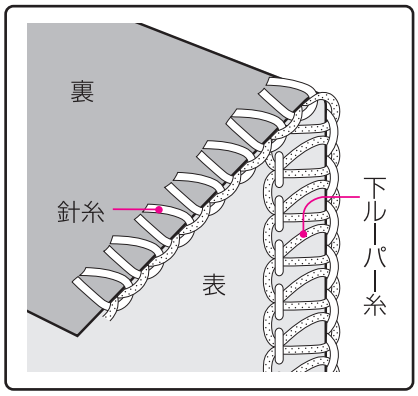
（2）そのまま針の上部に糸通し具の先端を押し当て下にずらし、針穴まで来たらゆっくりと押す

⚠注意

ケガをする恐れがあります。

◆針糸をかける場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

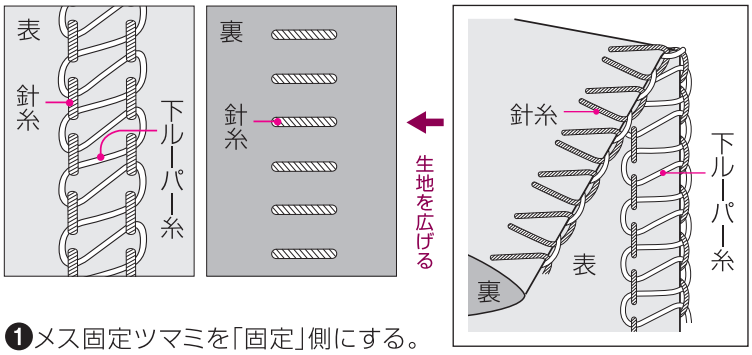
■縁かがりの縁い目



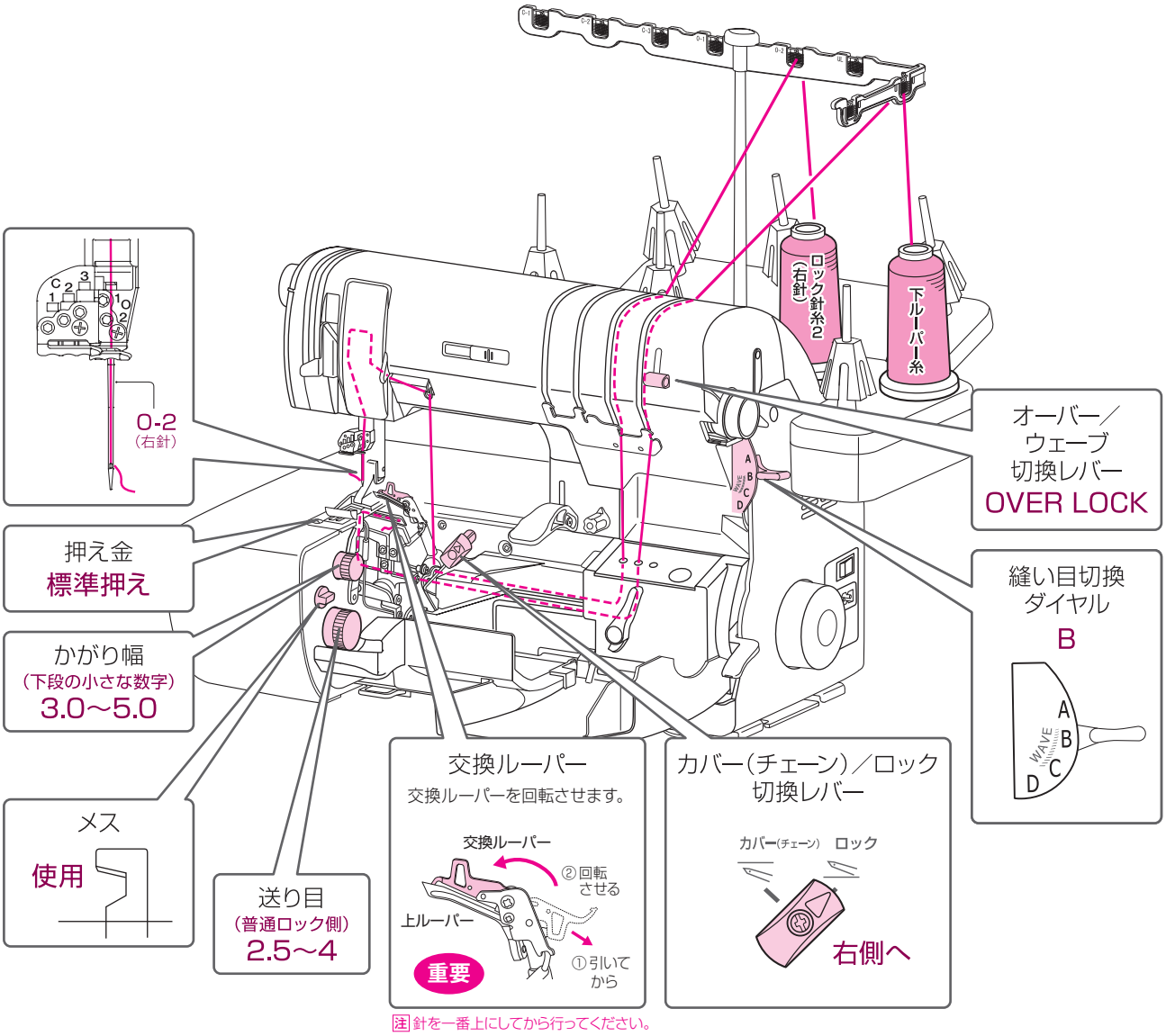
ワンポイント
2本糸で飾りステッチなどを縫う場合は、下ルーパー糸に太い糸や飾り糸を使うと効果的です。

■飾り縫いの縫い目

2本糸ロックはほとんどの場合は、飾り縫いで使われます。



❶メス固定ツマミを「固定」側にする。
❷生地を二つ折りにして、その折り山の端を縫っていく。
❸縫い終わったら、生地を広げる。



注 針を一番上にしてから行ってください。

※かがり幅、送り目は使用する生地や糸、お好みに応じて変更ください。

ウェーブロック

ウェーブロックへの切換え

ウェーブロックで縫う場合は下記の順番に従って切り替えてください。

1 針

O側の針を付ける（#14を使用）
・右針使用の1本針

注）針を取りはずした後、止めネジはゆるめたままにしてください（止めネジははずれない構造になっています）。針が無いまま強く締めすぎると、針が入らなくなる恐れがあります。

注）使わない糸は取り除いてください。かけたままだと縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

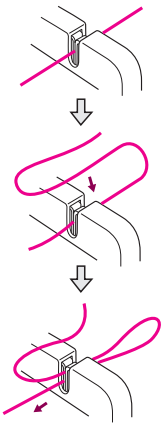
2 カバー（チェーン）／ロック切換レバー

3 糸をかける
（P25※・26※・28参照）

上下ルーパー糸にウーリー糸を使うと、縫い目が詰まって仕上がりがきれいに見えます。

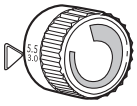
ワンポイント

ワンタッチ糸案内から簡単に糸をはずす方法



※上ルーパーと針糸は通常の糸溝から左にそれぞれ移動します

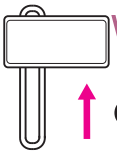
7 かがり幅ダイヤル



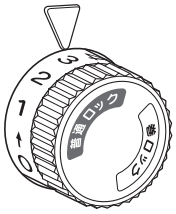
下段の小さい数字で合わせる

4 オーバー／ウェーブ切換レバー

WAVEに合わせる

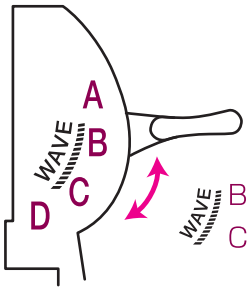


6 送り目ダイヤル



・ウェーブロックの場合は
【普通ロック】側の数字で合わせる
・巻きウェーブロックの場合は
【巻ロック】側の数字で合わせる

5 縫い目切換ダイヤル

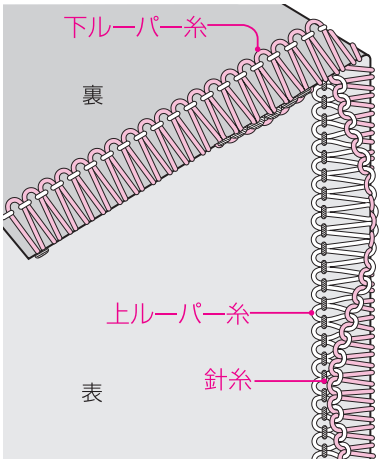


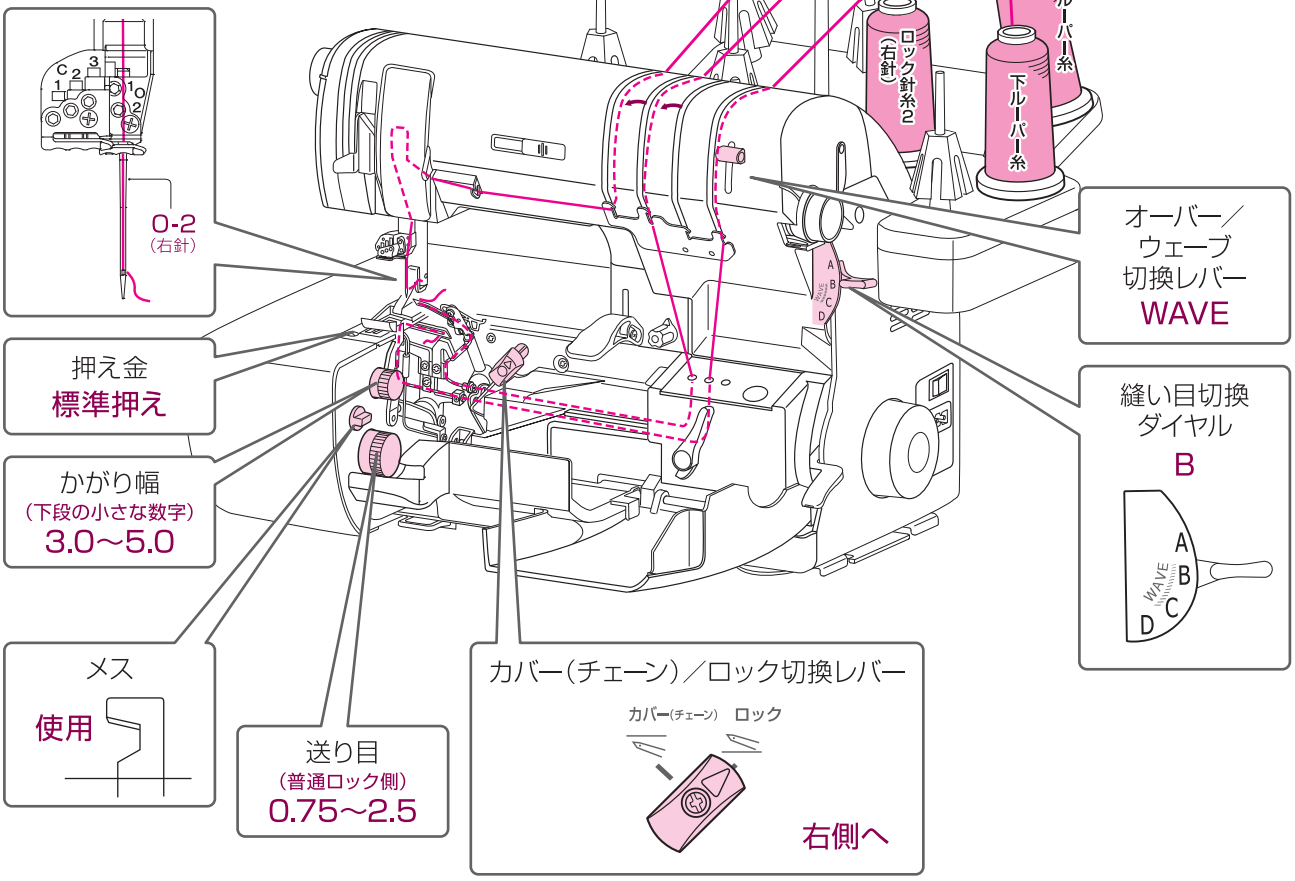
B：ウェーブロック
C：巻きウェーブロック

ウェーブロック

縫い目に美しい波状の模様を演出するので、袖口や裾の装飾的な始末にぴったり。ラメ糸やウーリー糸などさまざまな糸を使えばさらにデザイン効果がアップ。

一般的には、上ルーパー糸にラメ糸や飾り糸、下ルーパー糸にウーリー糸、針糸にスパン糸を使います。色の組み合わせによりさまざまなバリエーションが楽しめます。

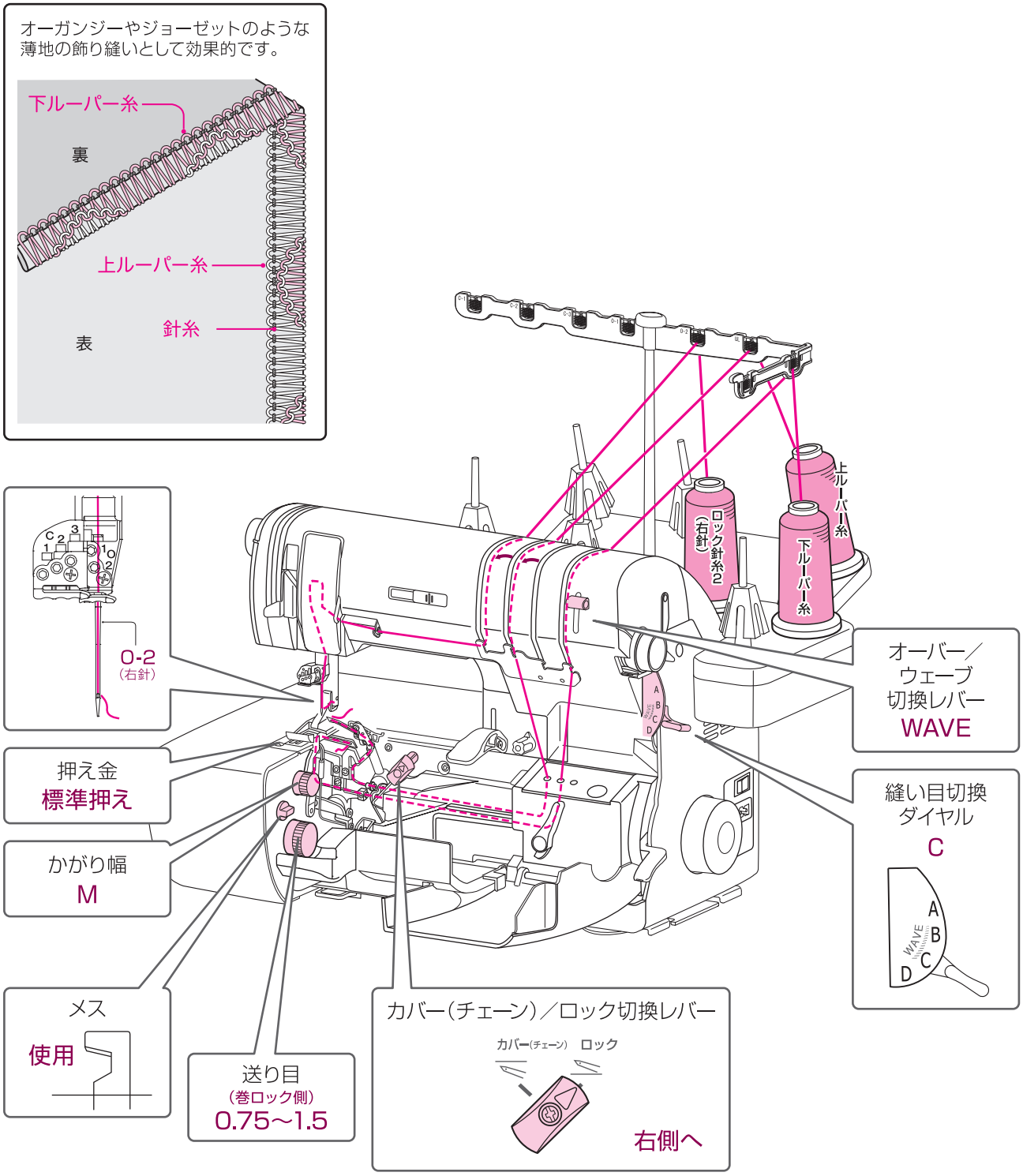




※かがり幅、送り目は使用する生地や糸、お好みに応じて変更ください。

巻きウェーブロック

細いウェーブがフリルや薄地の端始末を華やかに彩ります。



※かがり幅、送り目は使用する生地や糸、お好みに応じて変更ください。

カバー（チェーン）ステッチ

カバー（チェーン）ステッチへの切換え

カバー(チェーン)ステッチで縫う場合は下記の順番に従って切り換えてください。

1 針

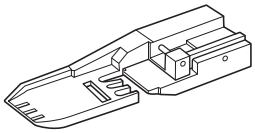
C側の針を付ける
・チェーンステッチは1本
・カバーステッチは2本
・トリプルカバーステッチは3本

注）針を取りはずした後、止めネジはゆるめたままにしてください（止めネジははずれない構造になっています）。針が無いまま強く締めすぎると、針が入らなくなる恐れがあります。

注）使わない糸は取り除いてください。かけたままだと縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

2 チェーン／カバー用押え金を付ける

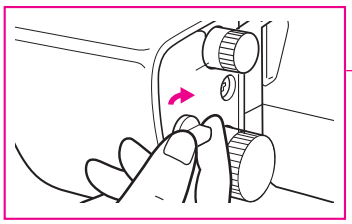
付いている「標準押え」を付属の「チェーン／カバー用押え金」に付け換えます。



チェーン／カバー用押え金

※押え金の交換方法はP14を参照ください。

3 メスをLOCK（固定）する

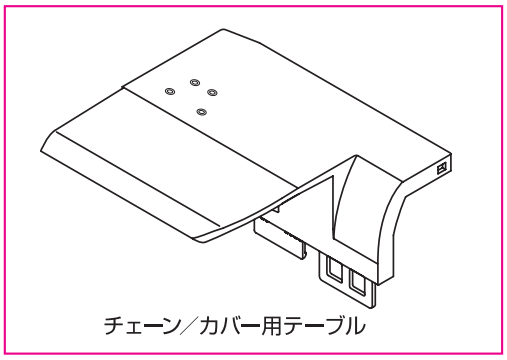


4 カバー(チェーン)／ロック切換レバー

5 重要

はずみ車を手で回して上ルーパーが固定されたことを確認する。

6 チェーン／カバー用テーブルに付け換える



チェーン／カバー用テーブル

※チェーン／カバー用テーブルの交換方法はP21を参照ください。

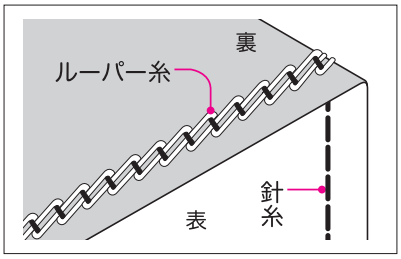
注）カバー（チェーン）ステッチで縫う場合は布を針落ち位置まで入れて縫い始めてください。

チェーンステッチ

下糸（裏側）が鎖状になっているため伸びに強く、スラックスの脇や股上の縫い合わせに最適。襟ぐりの飾りステッチとしても活躍します。

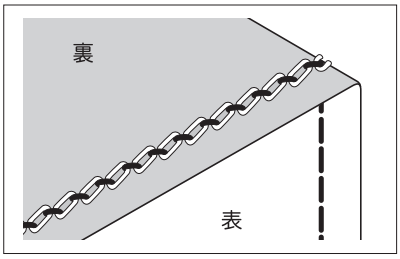
ミシンの設定

「チェーンステッチ」の縫い目と糸調子の合わせ方



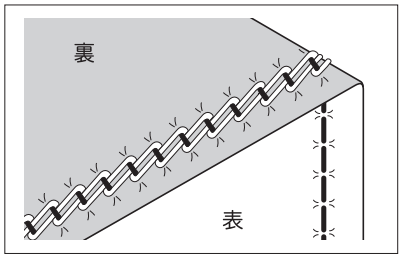
きれいな縫い目

表の縫い目が直線で、裏の縫い目が輪状（ループ）になっている。



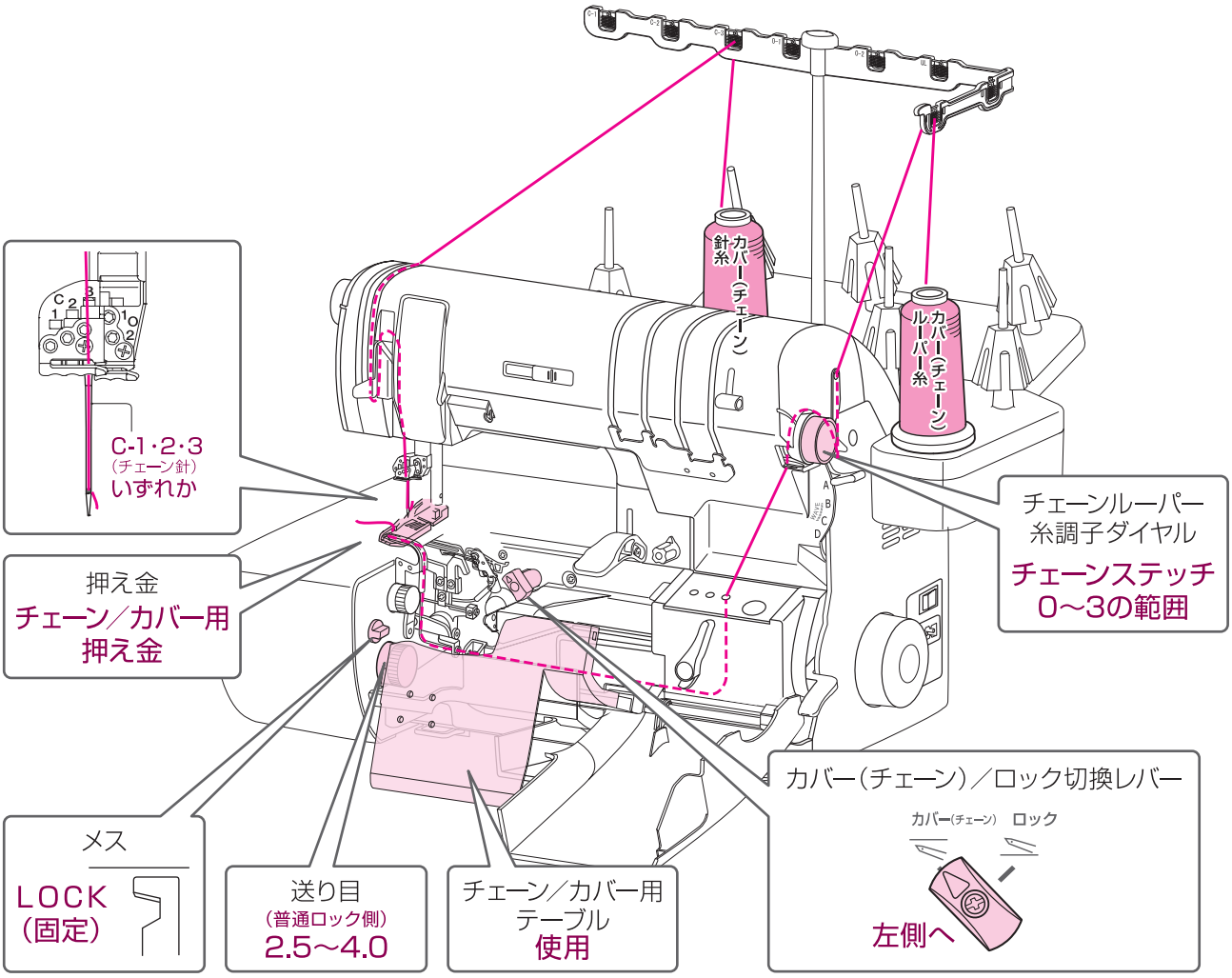
針糸がゆるい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをチェーンステッチの範囲内で右（後ろ）方向に回す。



針糸がきつい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より小さな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをチェーンステッチの範囲内で左（手前）方向に回す。



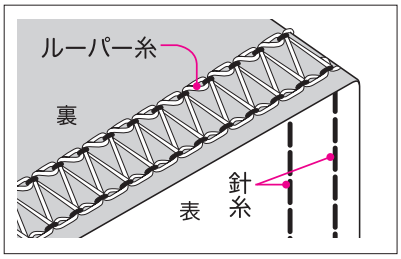
※図は C-3 の針を使った状態です。※かがり幅、送り目は使用する生地や糸、お好みに応じて変更ください。

カバーステッチ（6mm）

飾り縫いをはじめ、袖口縫いや裾上げなどに便利。さまざまな用途で幅広く使えます。生地やデザインに合わせて 6mm と 3mm の 2 種類の幅が選べます。

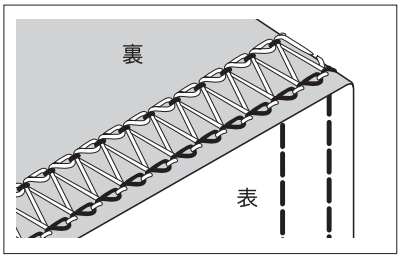
ミシンの設定

「カバーステッチ（6mm）」の縫い目と糸調子の合わせ方



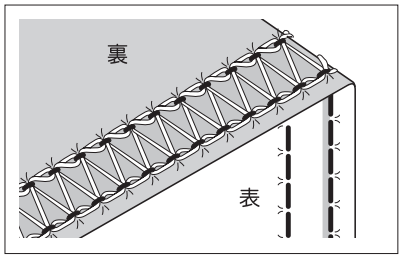
きれいな縫い目

表の縫い目が2本の直線で、裏の縫い目は輪状（ループ）が絡み合いジグザグになっている。



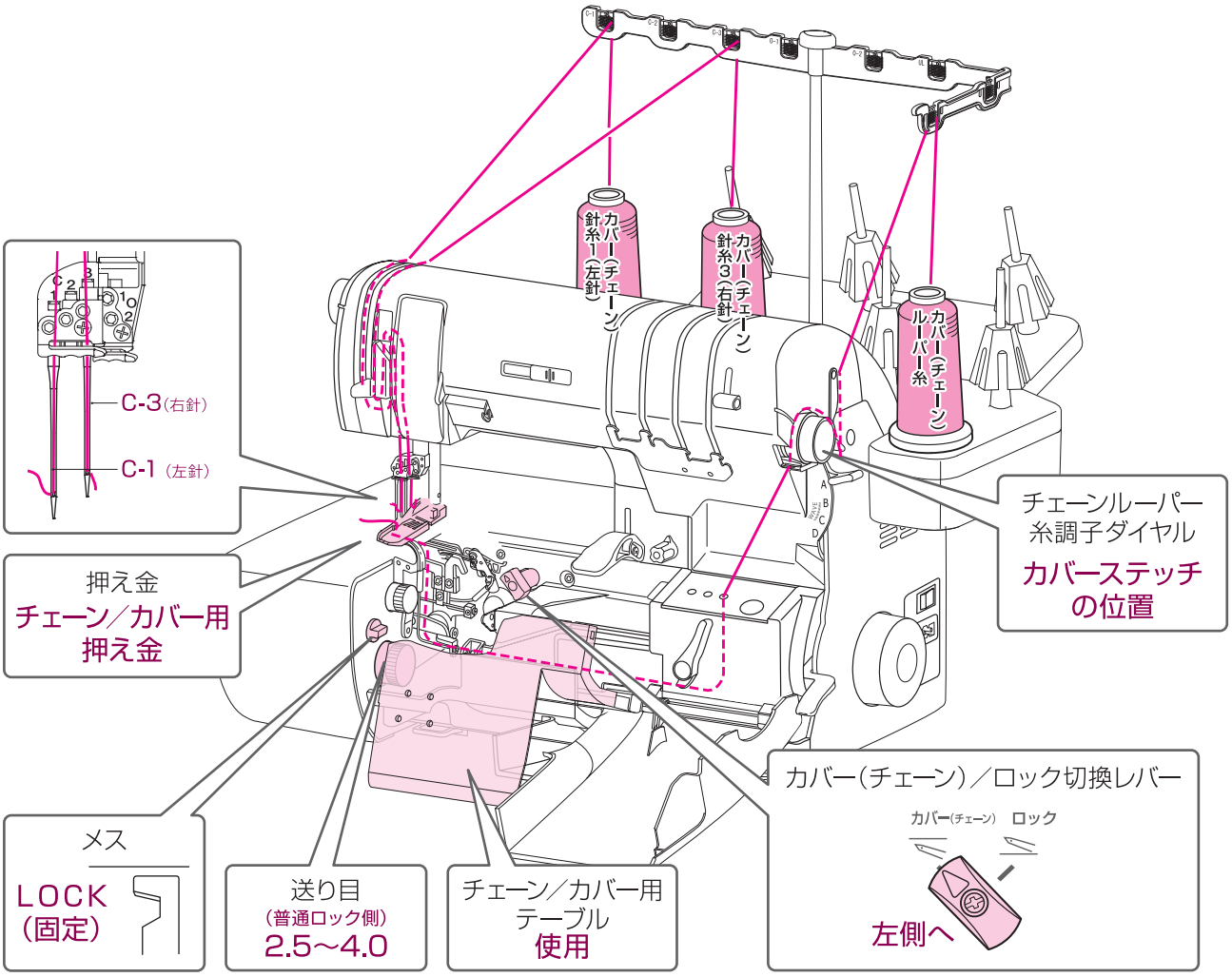
針糸がゆるい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをカバーステッチの範囲内で右（後ろ）方向に回す。



針糸がきつい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より小さな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをカバーステッチの範囲内で左（手前）方向に回す。

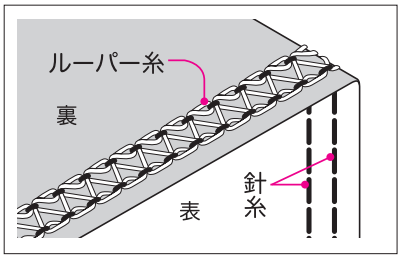


※送り目は使用する生地や糸、お好みに応じて変更ください。

カバーステッチ（3mm）

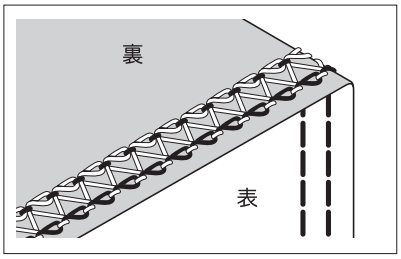
ミシンの設定

「カバーステッチ（3mm）」の縫い目と糸調子の合わせ方



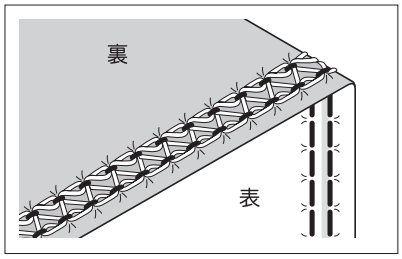
きれいな縫い目

表の縫い目が２本の直線で、裏の縫い目は輪状（ループ）が絡み合いジグザグになっている。



針糸がゆるい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをカバーステッチの範囲内で右（後ろ）方向に回す。



針糸がきつい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より小さな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをカバーステッチの範囲内で左（手前）方向に回す。

C-2（中央針）
C-1（左針）
----- または -----
C-3（右針）
C-2（中央針）
カバー（チェーン）針糸1（左針）
カバー（チェーン）針糸2（中央針）
カバー（チェーン）ルーパー糸
チェーンルーパー糸調子ダイヤル
カバーステッチの位置
押え金
チェーン／カバー用押え金
メス
LOCK（固定）
送り目
（普通ロック側）
2.5〜4.0
チェーン／カバー用テーブル
使用
カバー（チェーン）／ロック切換レバー
カバー（チェーン）　ロック
左側へ

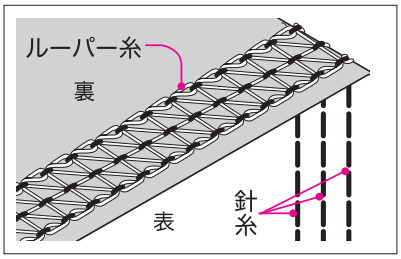
※図は C-1 と C-2 を使った状態です。送り目は使用する生地や糸、お好みに応じて変更ください。

トリプルカバーステッチ

飾り縫いや裾上げ、ゴム入れなどが楽しめるステッチです。

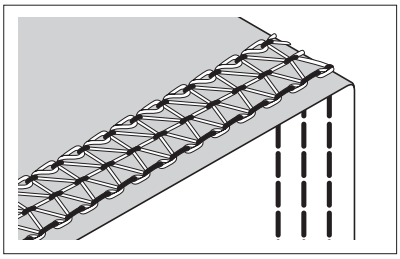
ミシンの設定

「トリプルカバーステッチ」の縫い目と糸調子の合わせ方



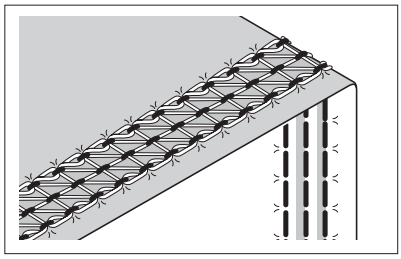
きれいな縫い目

表の縫い目が3本の直線で、裏の縫い目は輪状(ループ)がジグザグ状になっている。



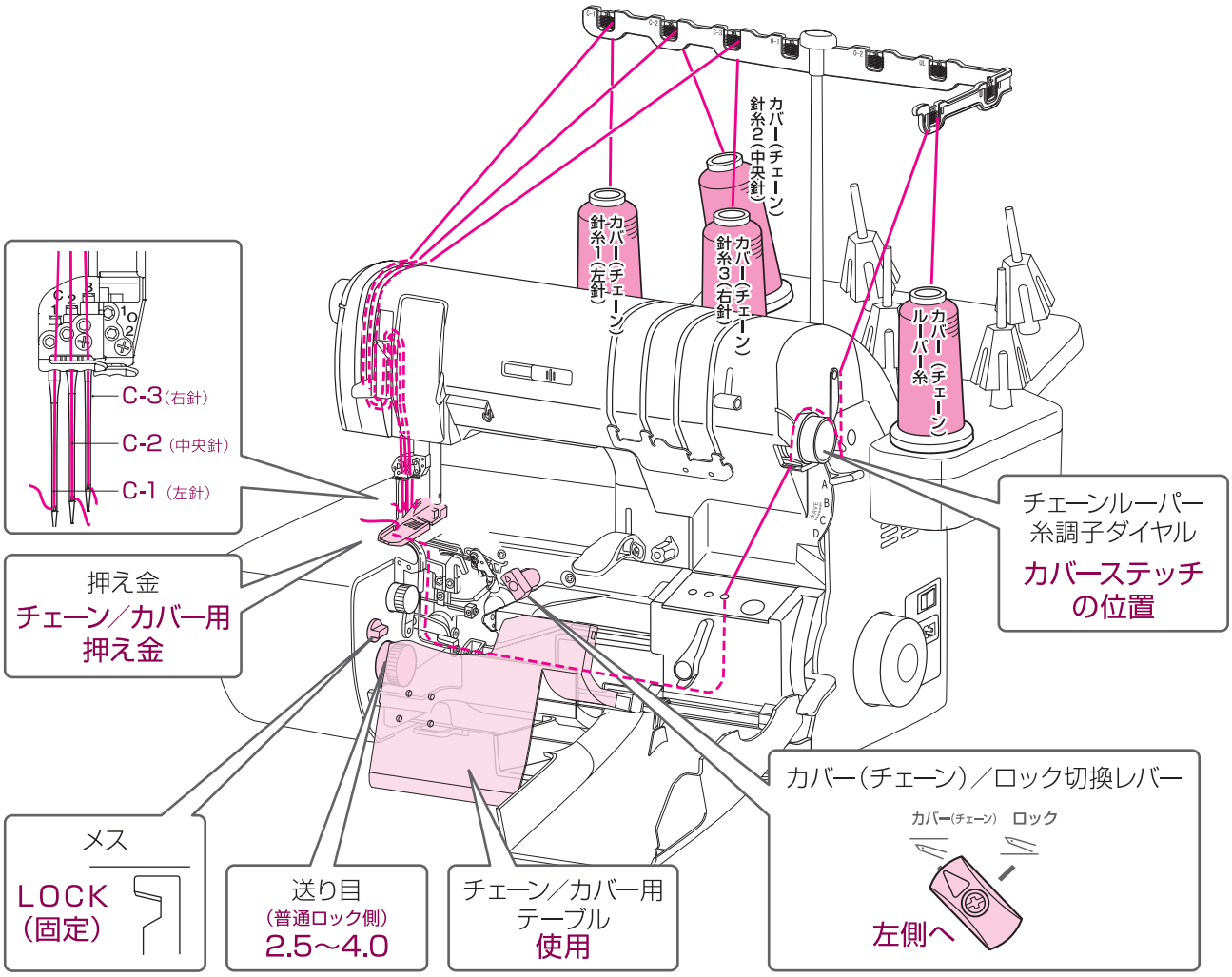
針糸がゆるい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをカバーステッチの範囲内で右(後ろ)方向に回す。



針糸がきつい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より小さな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをカバーステッチの範囲内で左(手前)方向に回す。



※送り目は使用する生地や糸、お好みに応じて変更ください。

コンビネーションステッチ

コンビネーションステッチへの切換え

コンビネーションステッチで縫う場合は下記の順番に従って切り換えてください。

1 針

O側の針
C側の針
縫い目に応じて選択

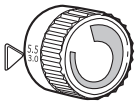
注）針を取りはずした後、止めネジはゆるめたままにしてください（止めネジははずれない構造になっています）。針が無いまま強く締めすぎると、針が入らなくなる恐れがあります。

注）使わない糸は取り除いてください。かけたままだと縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

2 カバー（チェーン）／ロック切換レバー

3 糸をかける
（P25～29参照）

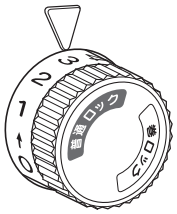
9 かがり幅ダイヤル



オーバーロック側の縫い目が
・4本糸の場合は上段の大きい数字で合わせる
・その他の場合は下段の小さい数字で合わせる

8 メス使用

7 送り目ダイヤル



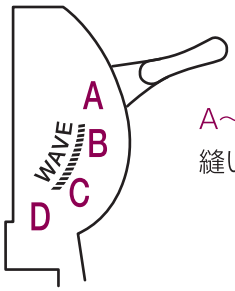
・4本糸、3本糸ロック、ウェーブロックの場合は【普通ロック】側の数字で合わせる
・標準巻きロック、変形巻きロック、巻きウェーブロックの場合は【巻ロック】側の数字で合わせる

6 メスカバー使用

4 オーバー／ウェーブ切換レバー

縫い目に応じて選択
OVERLOCKまたはWAVEに合わせる

5 縫い目切換ダイヤル



A～D
縫い目に応じて選択

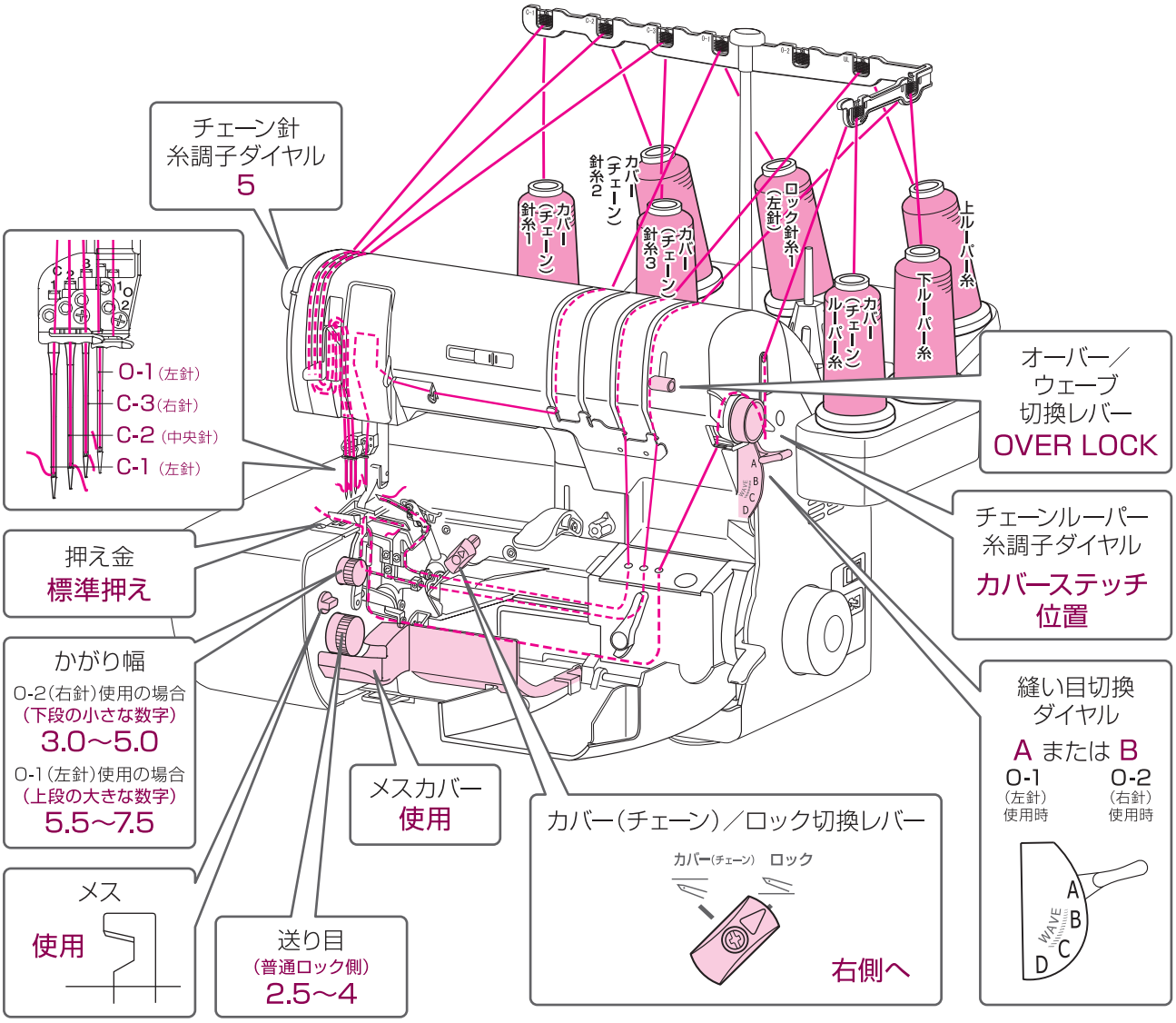
注）カバー（チェーン）ステッチで縫う場合は布を針落ち位置まで入れて縫い始めてください。
注）コンビネーションステッチで送り目を小さくすると、カバー（チェーン）ステッチで目とびや糸切れをする場合があります。その場合は送り目を大きくしてください。

3 本糸ロック+カバー（チェーン）ステッチ

とくにインターロック（3 本ロック+チェーンステッチ）は、シャツやブラウスなど布帛の脇縫いに多用される、丈夫なステッチです。

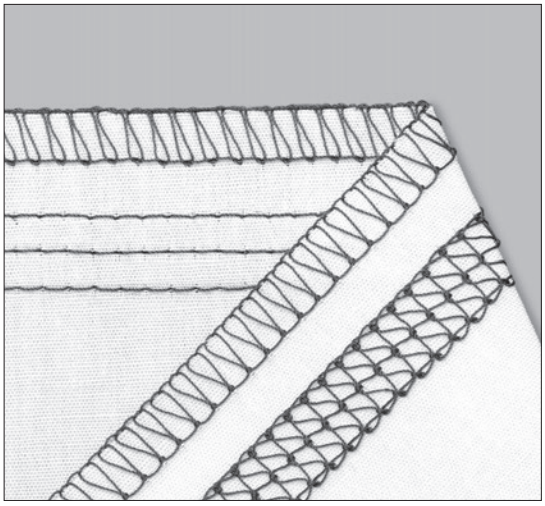
ミシンの設定

■糸かけ図は 3 本糸ロック（左針使用）+トリプルカバーステッチの状態です。



※かがり幅、送り目は使用する生地や糸、お好みに応じて変更ください。

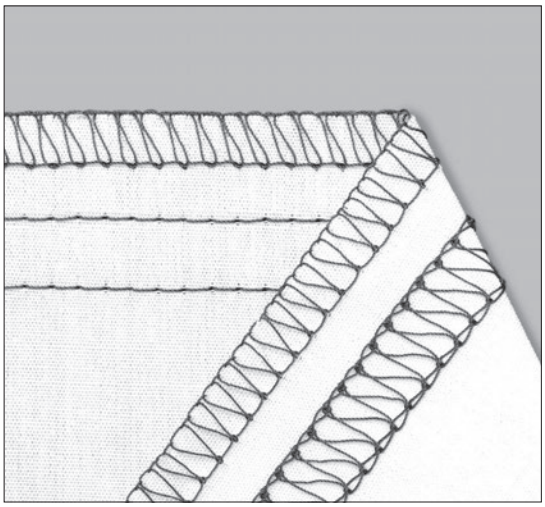
バリエーション



3 本糸ロック×トリプルカバーステッチ

針
O 側 : O-1 または O-2 C 側 : C-1 と C-2 と C-3

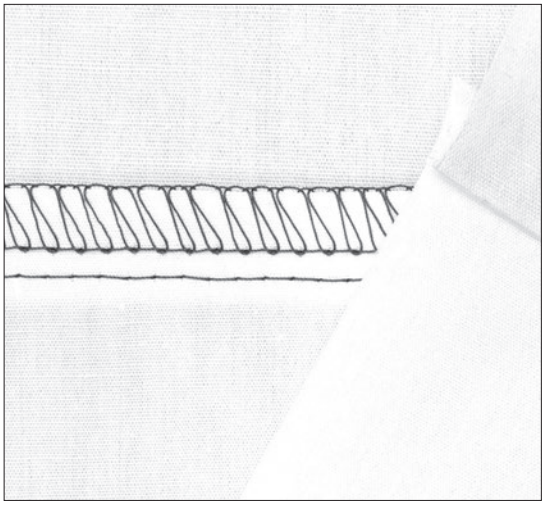
チェーンルーパー糸調子ダイヤル
カバーステッチ位置



3 本糸ロック×カバーステッチ

針
O 側 : O-1 または O-2 C 側 : C-1 と C-2、C-2 と C-3、C-1 と C-3 のいずれか

チェーンルーパー糸調子ダイヤル
カバーステッチ位置



3 本糸ロック×チェーンステッチ（インターロック）

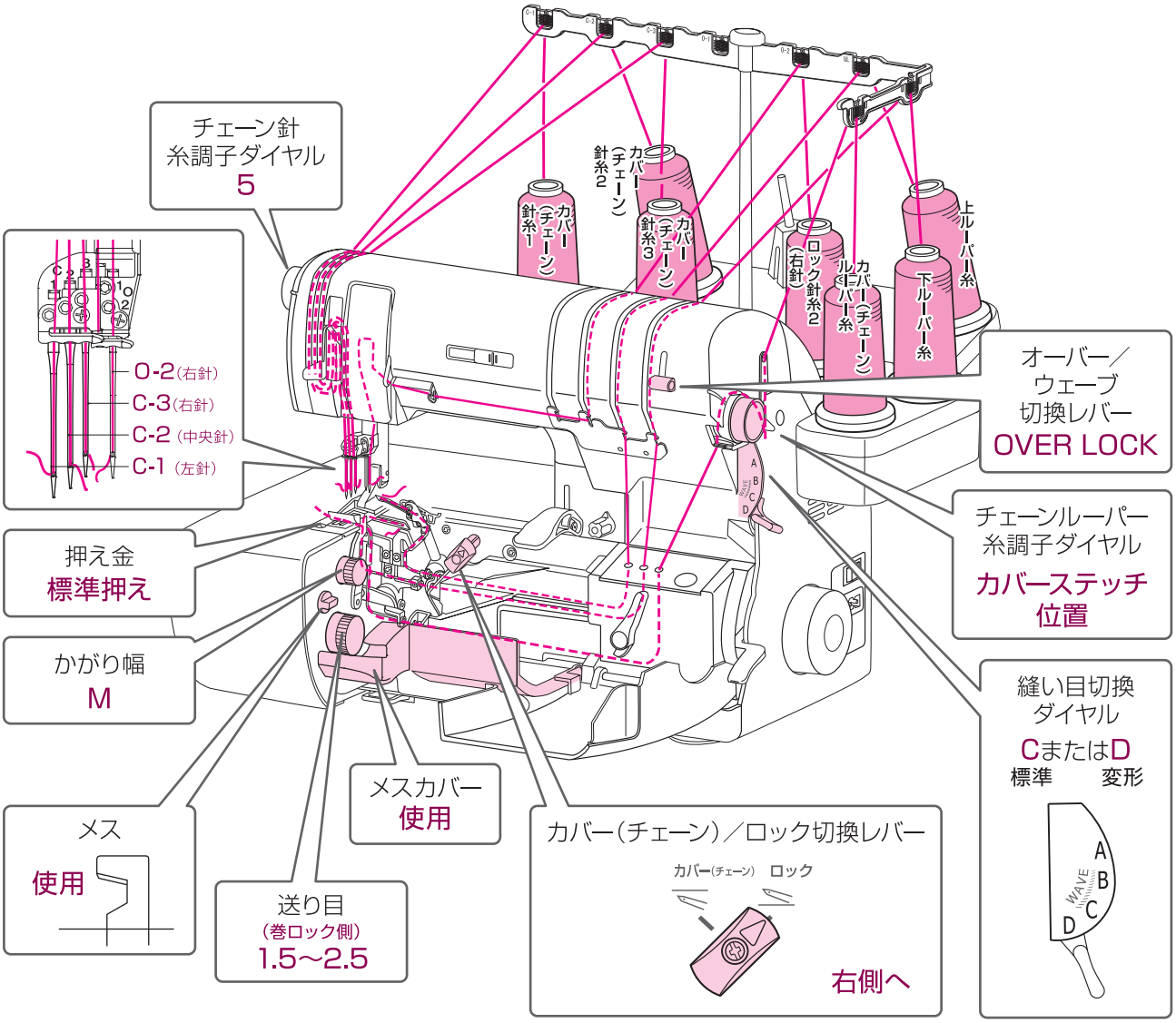
針
O 側 : O-1 または O-2 C 側 : C-1・C-2・C-3 のいずれか

チェーンルーパー糸調子ダイヤル
0 ～ 3

巻きロック+カバー（チェーン）ステッチ

ミシンの設定

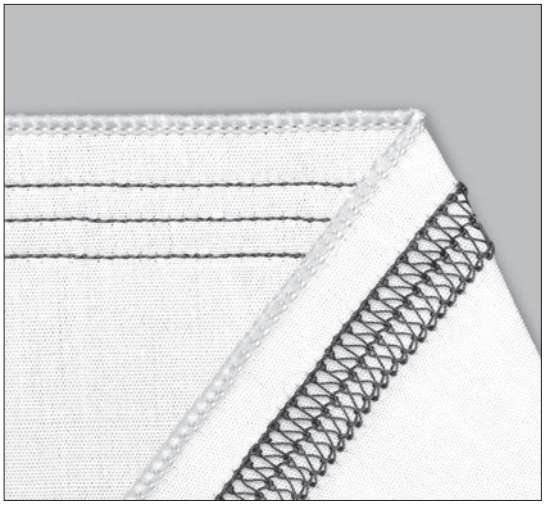
■糸かけ図は変形巻きロック+トリプルカバーステッチの状態です。



※かがり幅、送り目は使用する生地や糸、お好みに応じて変更ください。 ※この縫い目はスピードを落として縫ってください。

注）コンビネーションステッチで送り目を小さくすると、カバー（チェーン）ステッチで目とびや糸切れをする場合があります。その場合は送り目を大きくしてください。

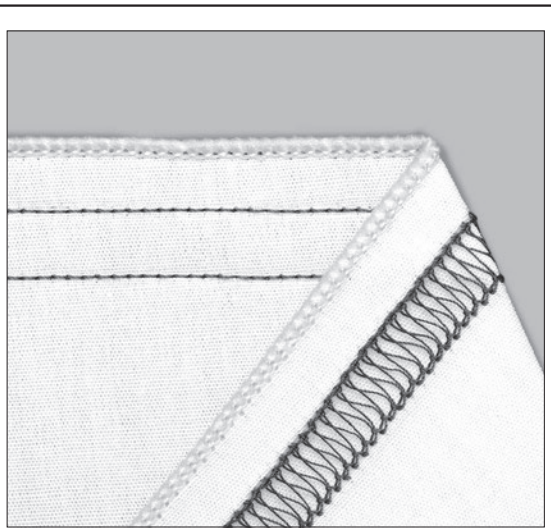
バリエーション



巻きロック×トリプルカバーステッチ

針
O 側：O-2 C 側：C-1 と C-2 と C-3

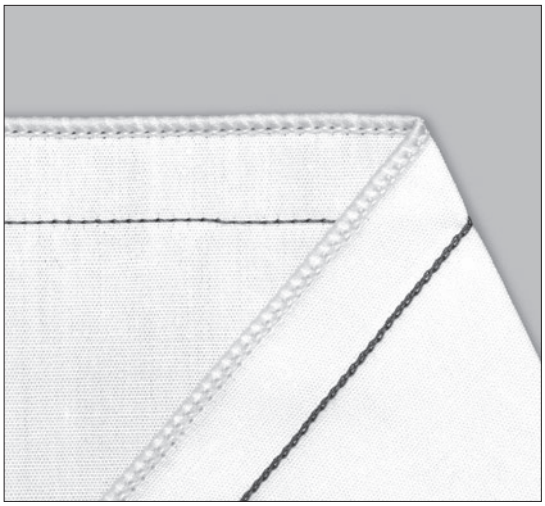
チェーンルーパー糸調子ダイヤル
カバーステッチ位置



巻きロック×カバーステッチ

針
O 側：O-2 C 側：C-1 と C-2、C-2 と C-3、C-1 と C-3 のいずれか

チェーンルーパー糸調子ダイヤル
カバーステッチ位置



巻きロック×チェーンステッチ

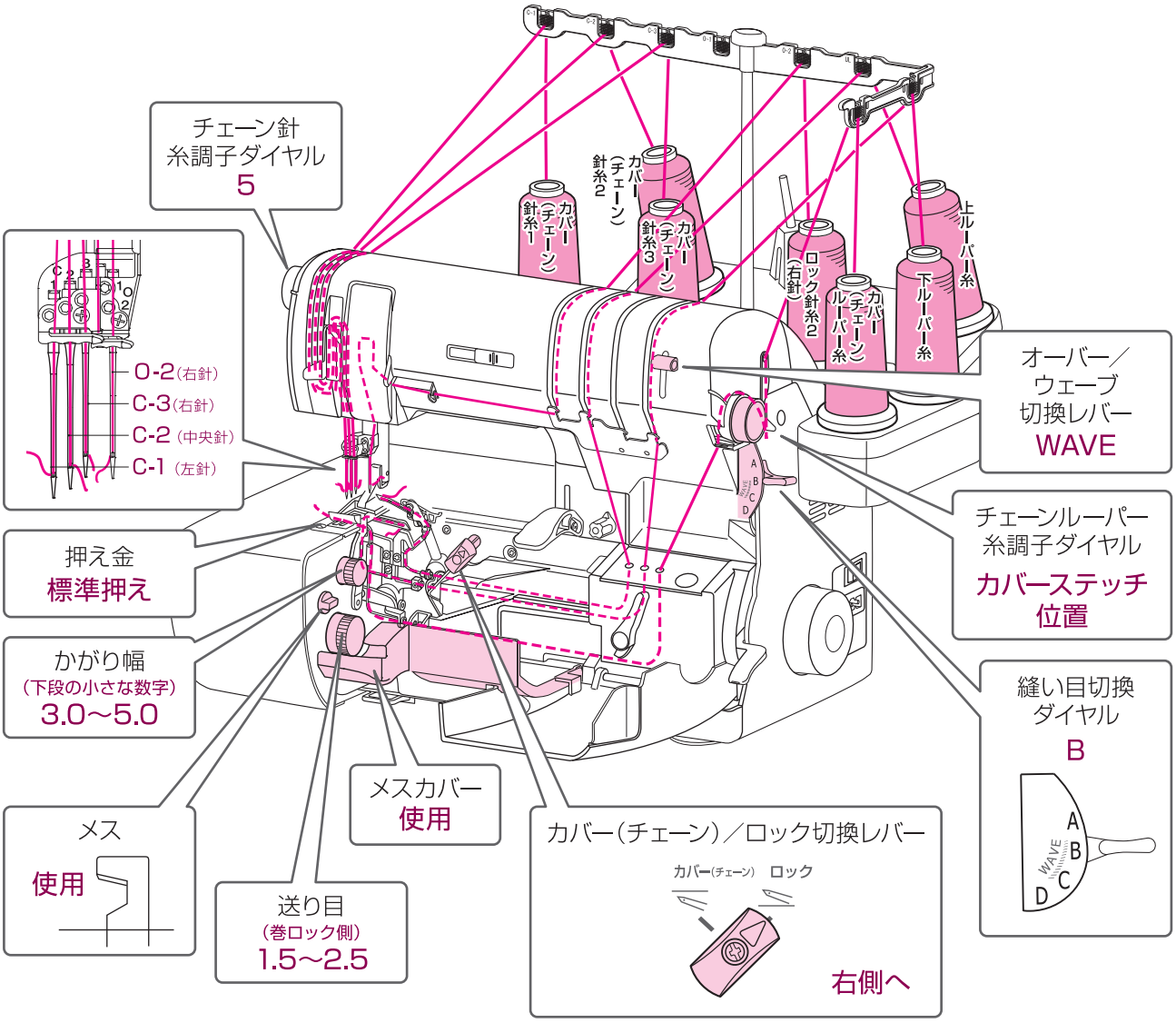
針
O 側：O-2 C 側：C-1・C-2・C-3 のいずれか

チェーンルーパー糸調子ダイヤル
0 ～ 3

ウェーブロック+カバー（チェーン）ステッチ

ミシンの設定

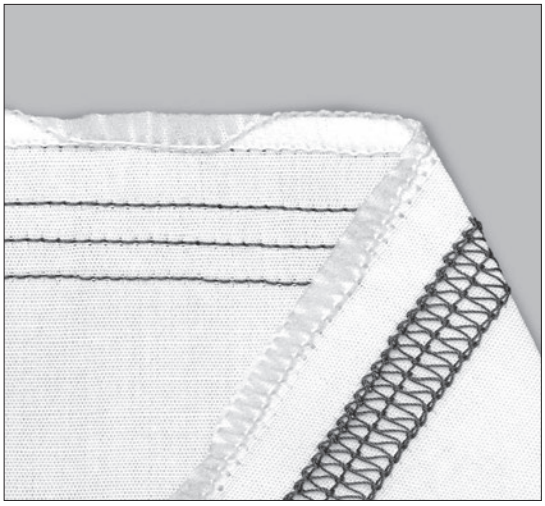
■糸かけ図はウェーブロック+トリプルカバーステッチの状態です。



※かがり幅、送り目は使用する生地や糸、お好みに応じて変更ください。 ※この縫い目はスピードを落として縫ってください。

注）コンビネーションステッチで送り目を小さくすると、カバー（チェーン）ステッチで目とびや糸切れをする場合があります。その場合は送り目を大きくしてください。

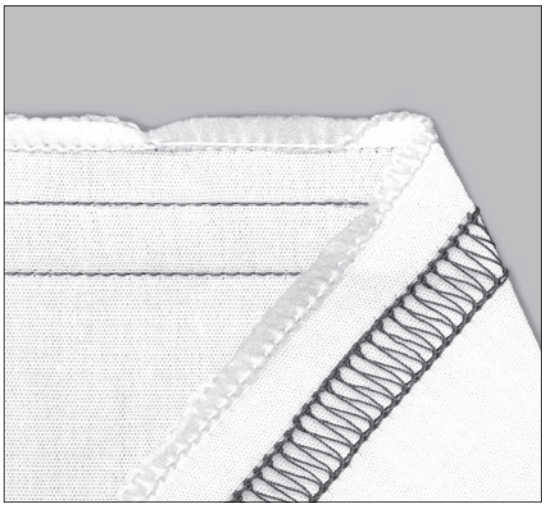
バリエーション



ウェーブロック×トリプルカバーステッチ

針
O 側：O-2 C 側：C-1 と C-2 と C-3

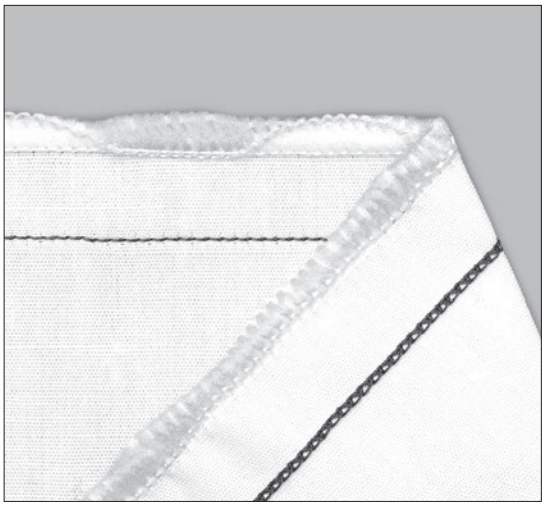
チェーンルーパー糸調子ダイヤル
カバーステッチ位置



ウェーブロック×カバーステッチ

針
O 側：O-2 C 側：C-1 と C-2、C-2 と C-3、C-1 と C-3 のいずれか

チェーンルーパー糸調子ダイヤル
カバーステッチ位置



ウェーブロック×チェーンステッチ

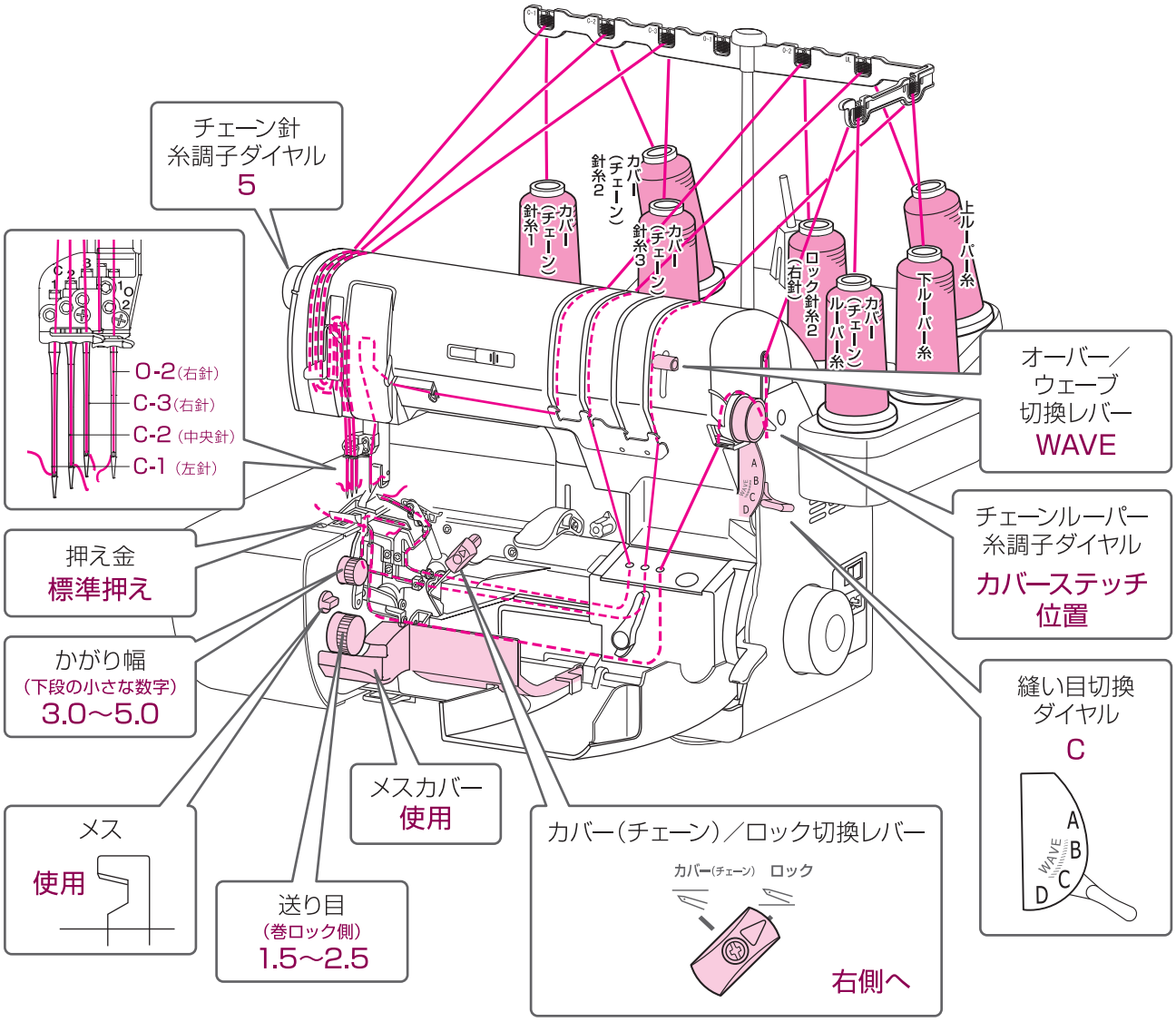
針
O 側：O-2 C 側：C-1・C-2・C-3 のいずれか

チェーンルーパー糸調子ダイヤル
0 ～ 3

巻きウェーブロック+カバー（チェーン）ステッチ

ミシンの設定

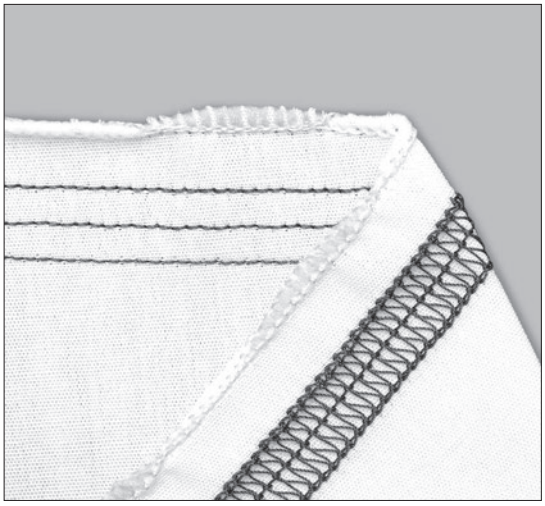
■糸かけ図は巻きウェーブロック+トリプルカバーステッチの状態です。



※かがり幅、送り目は使用する生地や糸、お好みに応じて変更ください。 ※この縫い目はスピードを落として縫ってください。

注）コンビネーションステッチで送り目を小さくすると、カバー（チェーン）ステッチで目とびや糸切れをする場合があります。その場合は送り目を大きくしてください。

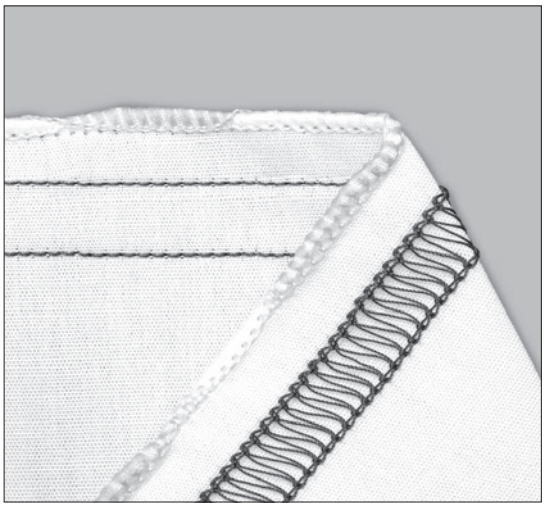
バリエーション



巻きウェーブロック×トリプルカバーステッチ

針
O 側：O-2 C 側：C-1 と C-2 と C-3

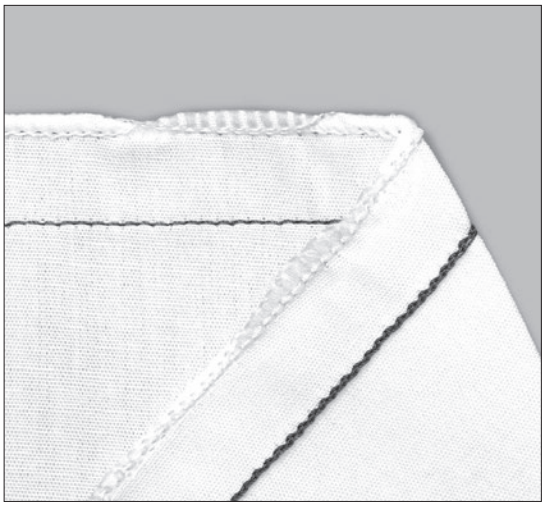
チェーンルーパー糸調子ダイヤル
カバーステッチ位置



巻きウェーブロック×カバーステッチ

針
O 側：O-2 C 側：C-1 と C-2、C-2 と C-3、C-1 と C-3 のいずれか

チェーンルーパー糸調子ダイヤル
カバーステッチ位置



巻きウェーブロック×チェーンステッチ

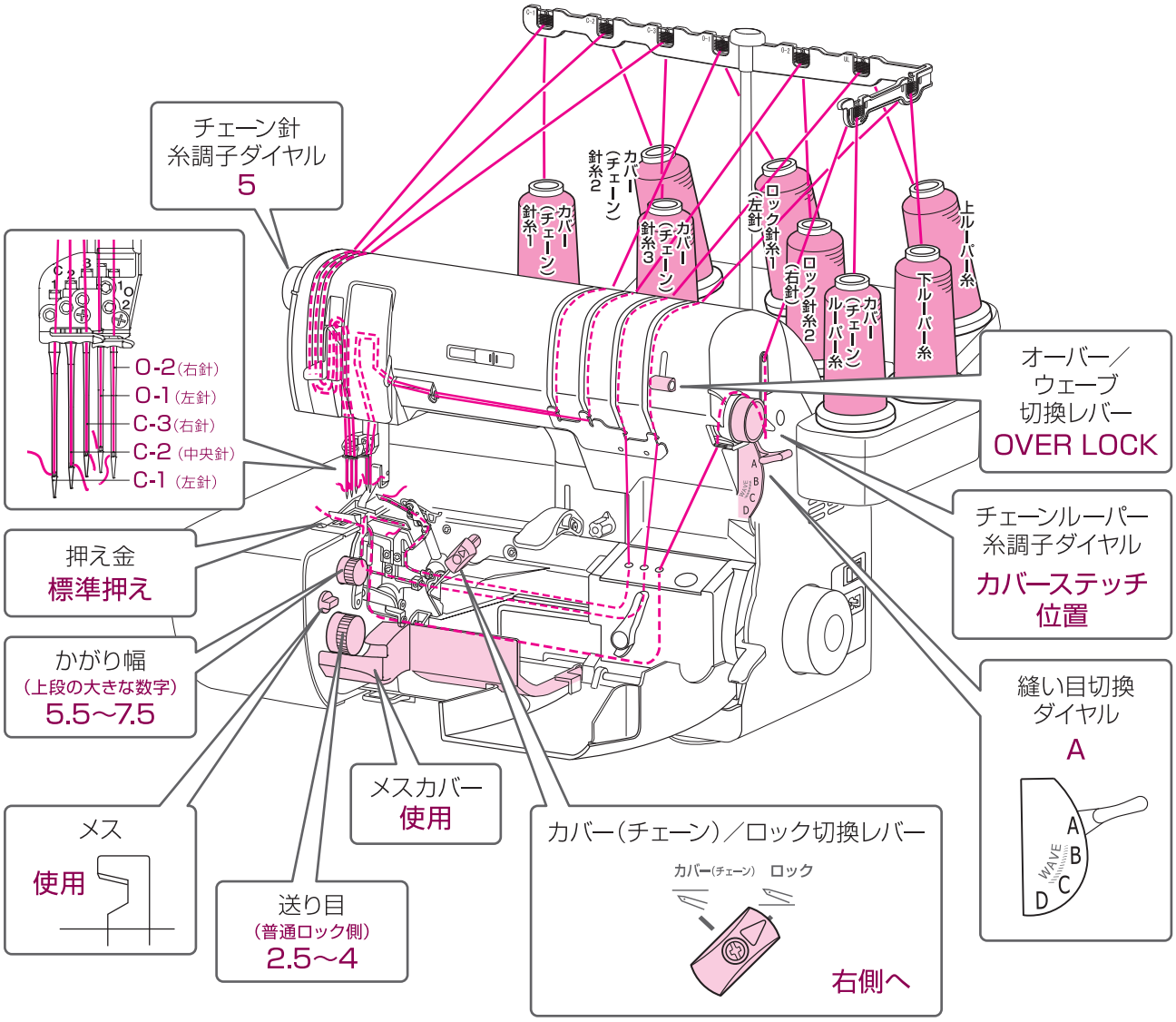
針
O 側：O-2 C 側：C-1・C-2・C-3 のいずれか

チェーンルーパー糸調子ダイヤル
0 ～ 3

4 本糸ロック+カバー（チェーン）ステッチ

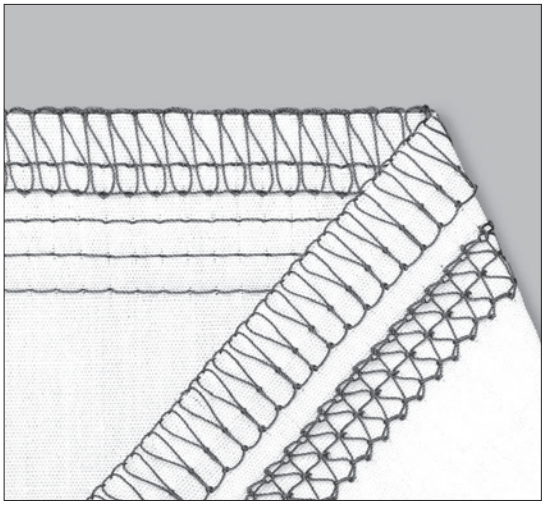
ミシンの設定

■糸かけ図は 4 本糸ロック+トリプルカバーステッチの状態です。



※かがり幅、送り目は使用する生地や糸、お好みに応じて変更ください。

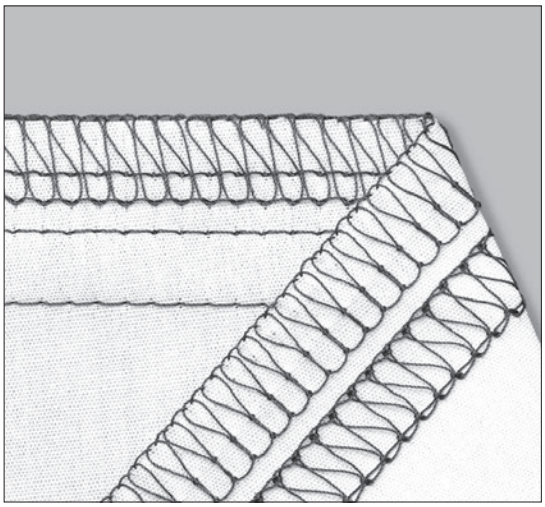
バリエーション



4 本糸ロック×トリプルカバーステッチ

針
O 側：O-1 と O-2 C 側：C-1 と C-2 と C-3

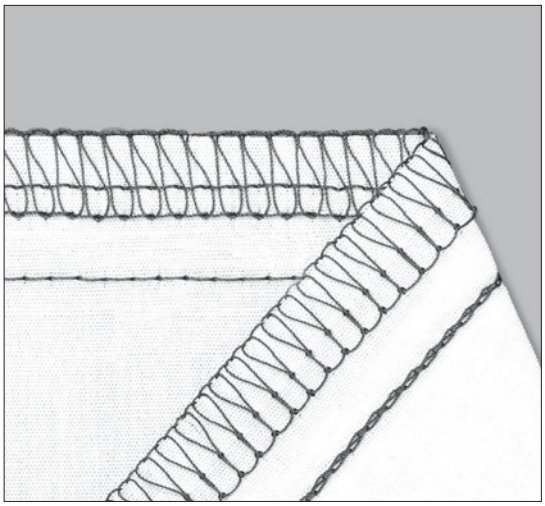
チェーンルーパー糸調子ダイヤル
カバーステッチ位置



4 本糸ロック×カバーステッチ

針
O 側：O-1 と O-2 C 側：C-1 と C-2、C-2 と C-3、C-1 と C-3 のいずれか

チェーンルーパー糸調子ダイヤル
カバーステッチ位置



4 本糸ロック×チェーンステッチ

針
O 側：O-1 と O-2 C 側：C-1・C-2・C-3 のいずれか

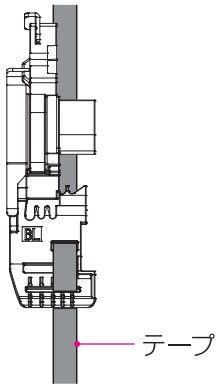
チェーンルーパー糸調子ダイヤル
0 ～ 3

縫いテクニック

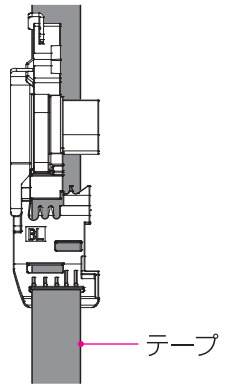
オーバーロックのテクニック

テープ入れ

標準押えを使ってウーリースピンテープ（伸び止めテープ）などを入れることができます。

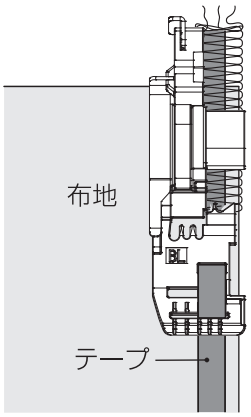


幅6mmまでの
テープを入れる場合

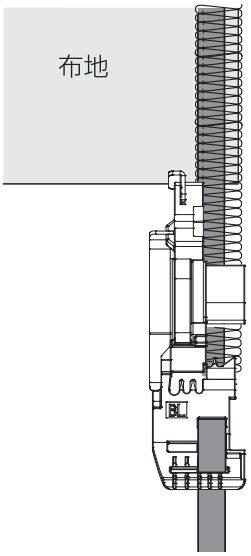


幅6〜14mmまでの
テープを入れる場合

❶標準押えにテープを通します。
❷針を一番上に上げ、標準押えを取り付けます。
❸まずテープだけ数 cm 縫ってから、布地を入れて縫い始めます。



❹縫い終わりはテープだけを数 cm 縫ってからミシンを止めます。

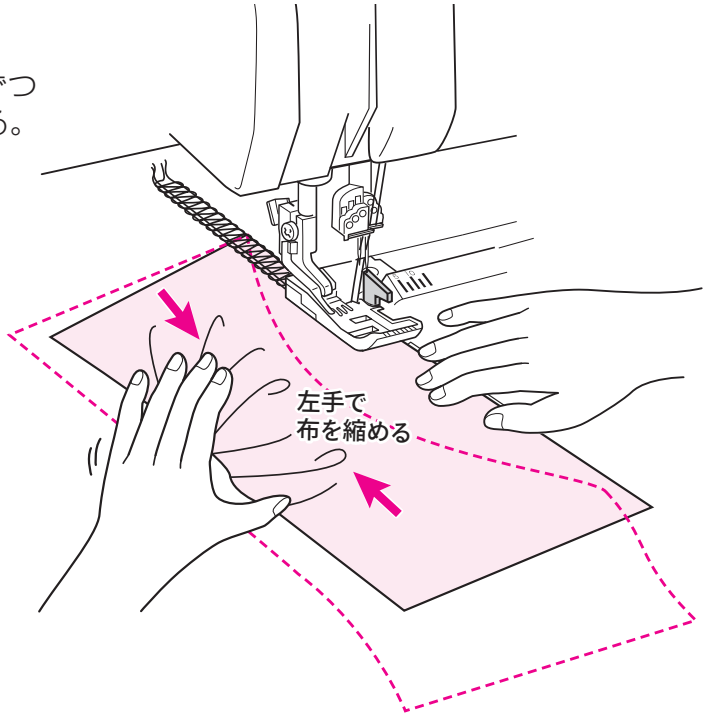


カーブを縫う時のポイント

フットコントローラーを弱く踏んで縫い目がはずれないようにゆっくり縫いましょう。

インカーブを縫う時

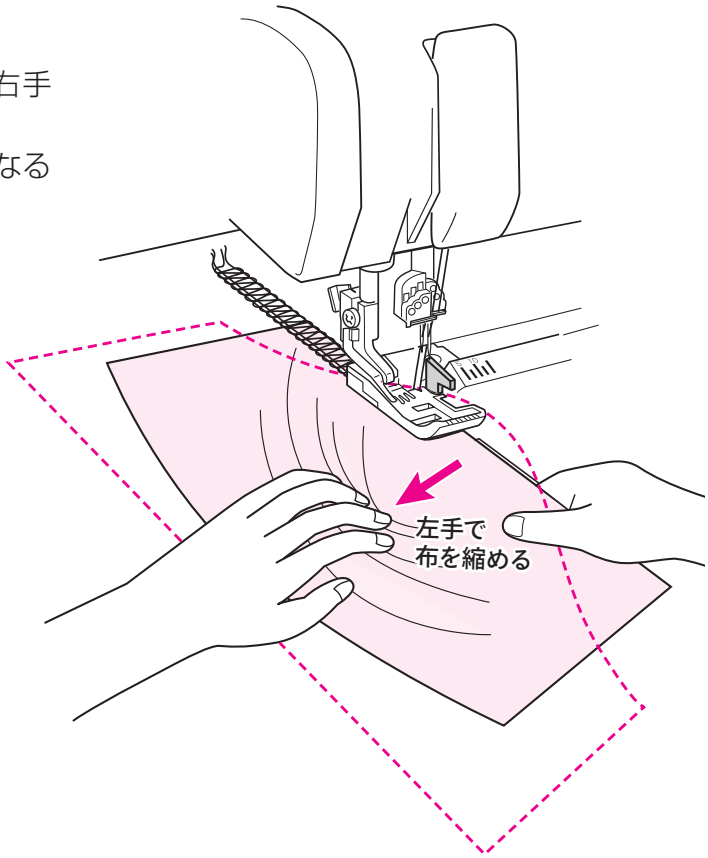
左手で生地を縮めるようにして、布を少しずつ直線状態をつくりながらゆっくり縫い進める。



アウトカーブを縫う時

カーブ（突き出た）部分を左手で縮めて、右手で手前の布を右方向に引き出しながら縫う。

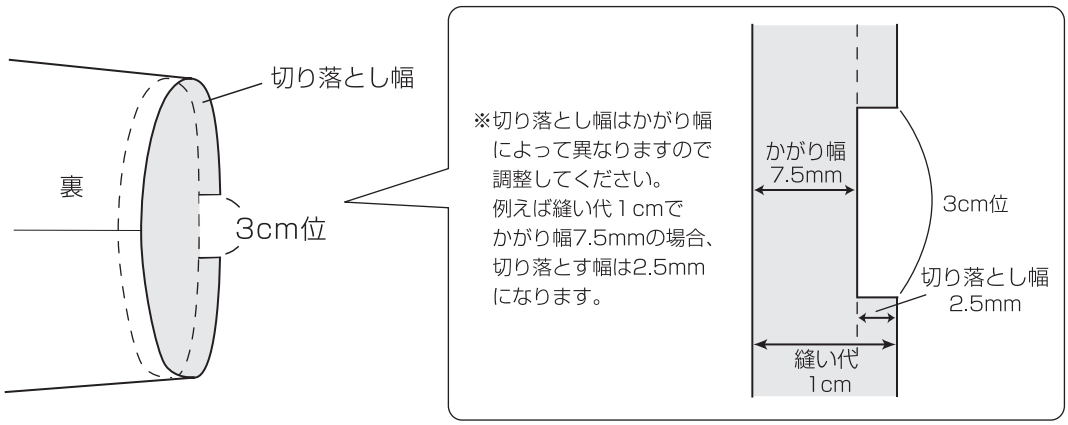
このときメスから針落ち位置までが直線になるようにする。



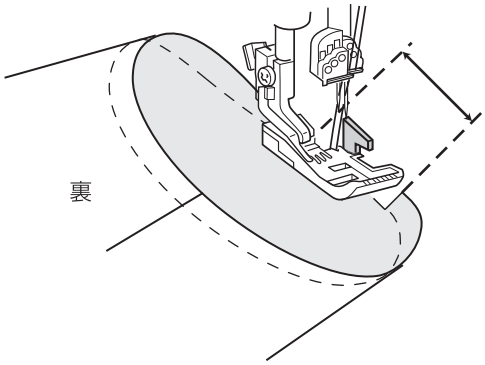
筒縫い

輪で縫う場合にキレイに仕上げる方法です。

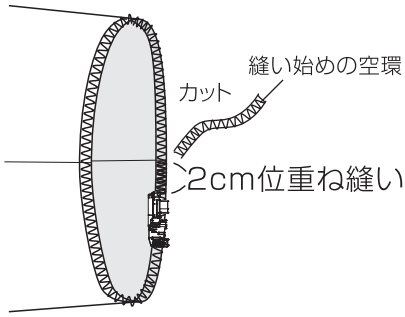
❶図のように縫い代の切り落とし幅分を 3cm くらいカットします。



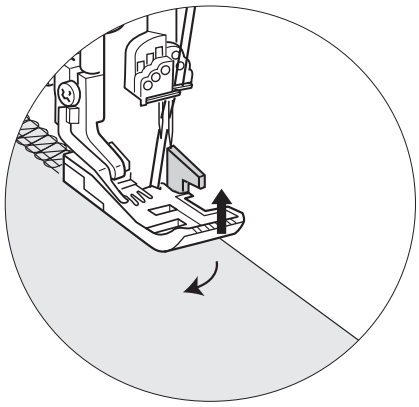
❷カットした部分を押え金の下に入れて、❶で決めた切り落とし幅でカットしながら一周縫っていきます。

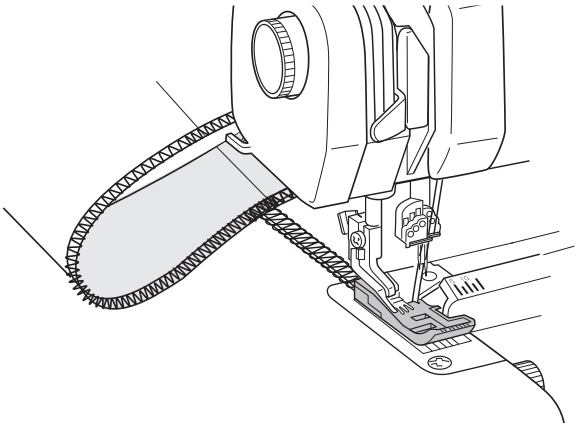


❸縫い始めの空環を切り落としてから、メスを固定（メスロック）し、2cm くらい重ねて縫います。



❹針と押え金を上げ、生地を 90 度左に回転させ、押え金を下ろします。はずみ車を 2、3 回まわし、縫い目を作った後コントローラーを踏み出し、空環を作ります。

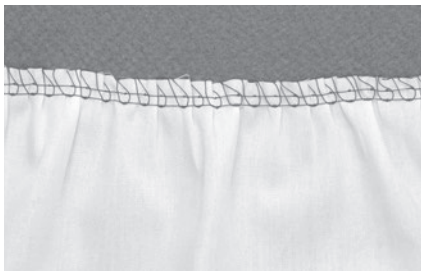




差動を使ったオーバーロックのテクニック

ギャザー寄せ

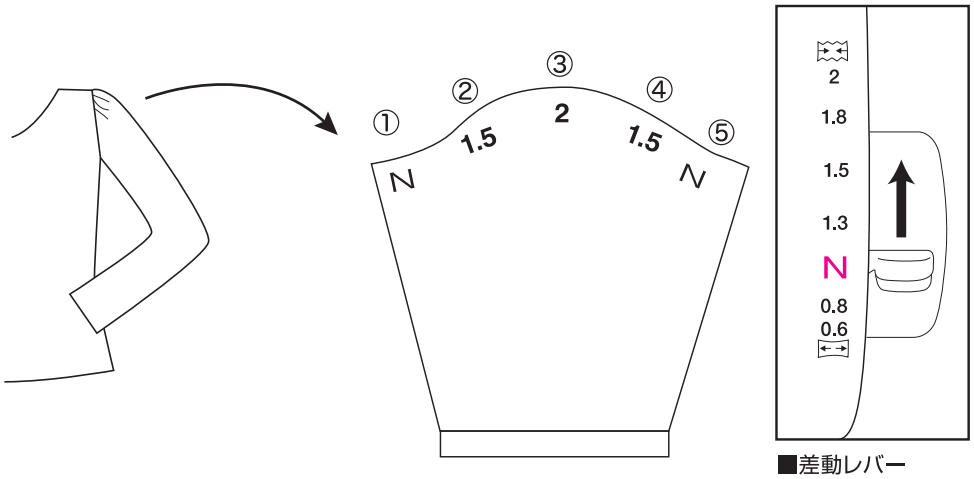
ギャザーを寄せながら縫うことができます。



❶差動レバーを［ 2］にします。
※必要に応じて 1.3 ～ 2 の間で調整してください。
❷送り目調節ダイヤルを［4］に合わせます。

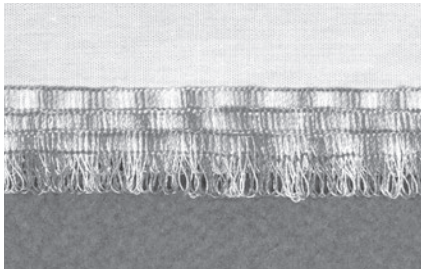
袖山のいせ込み

袖山のいせこみを、「差動」により仕上げます。
①は N 、②はレバー 1.5、袖山部分③はレバー 2（最大）にします。逆に、④は 1.5、⑤は N の順に戻します。この一連の作業を「差動レバー」で操作しながら縫ってください。

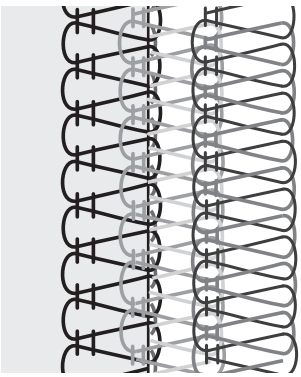


フリンジ縫い

華やかな飾り縫いをする事ができます。



❶飾りを付けたい部分に縁かがりをします。
❷❶の縫い目の上に重ねて（右針が縫い目の右端に落ちるくらいの位置で）縁かがりをします。
❸更に❷の縫い目の上に同じように重ねて縁かがりをします。（※差動レバー 0.6）



ワンポイント
「ニット用裾まつり押え」（別売・P81 参照）を使うときれいに均一に仕上げることができます。

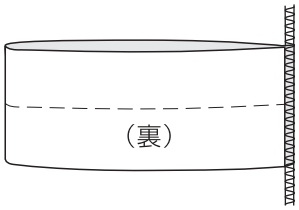
リブ付け〈袖口に付ける場合の例〉

4 本糸ロックを使ってトレーナーなどのリブを縫い付ける事ができます。リブを伸ばさず縫い上げるために、「差動」を使用します。

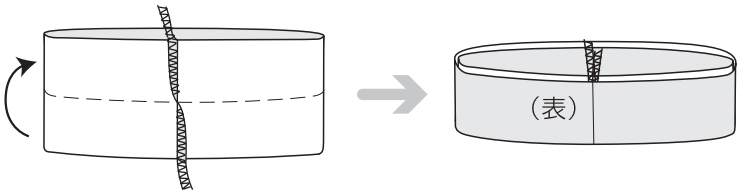
設定

針 …… 0-1・0-2	メス固定ツマミ…… 縫い終わりだけメスロック（固定）
送り目 …… 3.0	使用糸 …… スパン糸4本
かがり幅 …… 7.5	アタッチメント …… 標準押え
差動レバー…… 1.3〜2.0	※リブ生地はよく伸びるニットでもOKです。

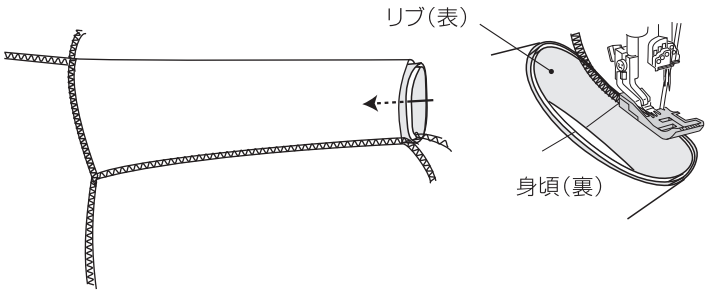
❶リブ生地を輪にします。



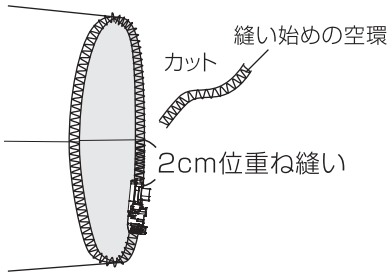
❷縫い目を互い違いに折り、2重にします。



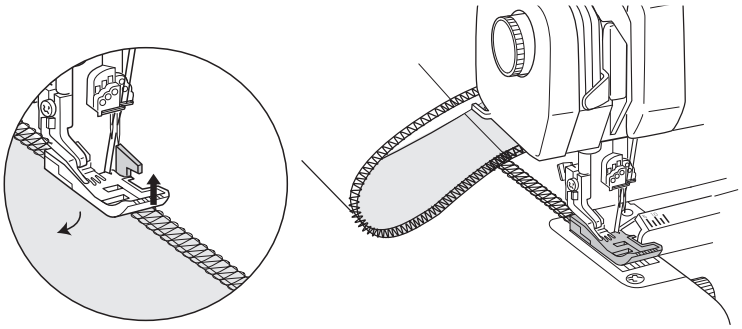
❸袖口の内側にスッポリとリブを入れ、図のようにリブを上にして差動レバーを 2.0 にして縫います。（衿部分は 1.3）



❹ 1 周縫い終わったら縫い始めの空環をカットした後、メスをロック（固定）して 2cm くらい重ねて縫います。

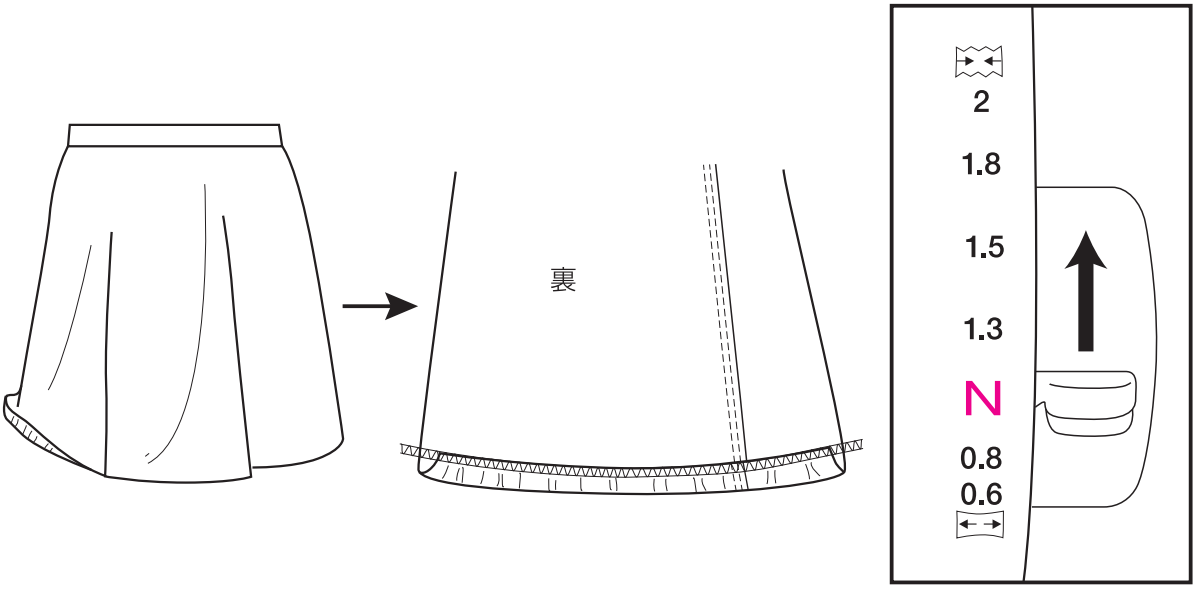


❺針と押え金を上げ、生地を 90 度左に回転させ、押え金を下ろします。はずみ車を 2,3 回まわし、縫い目を作った後、コントローラーを踏み出し、空環を作ります。



フレアスカートのヘム

縁かがりとぐし縫いが同時にできます。

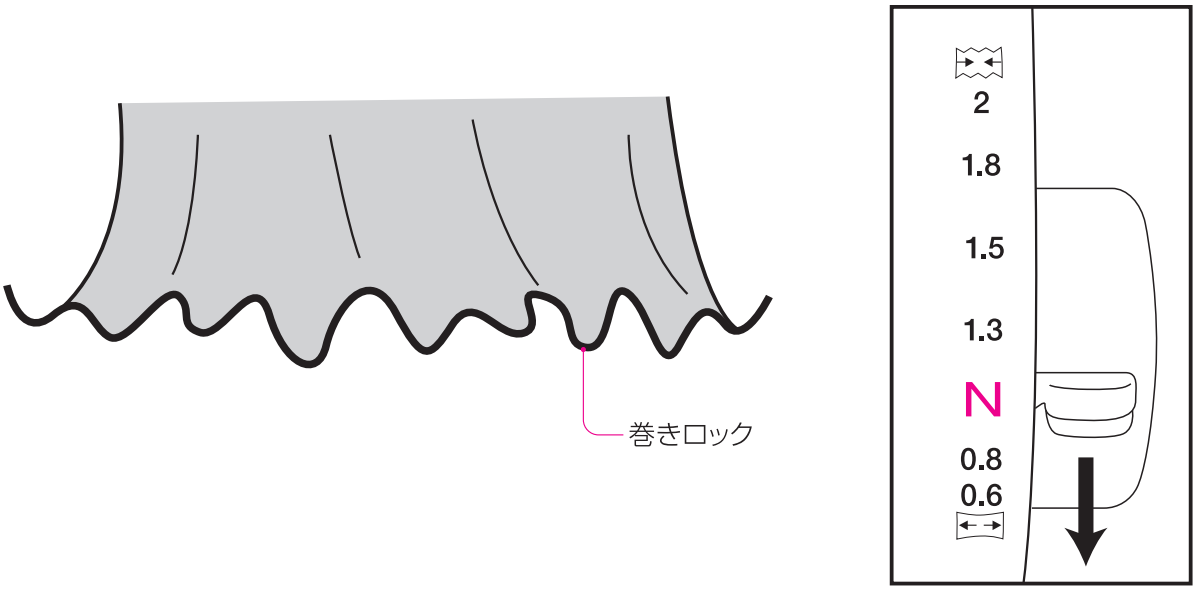


■差動レバー

レタス縫い

巻きロックで縫う際に、ニット地の生地端にレタスのようなフリルを作ることができます。

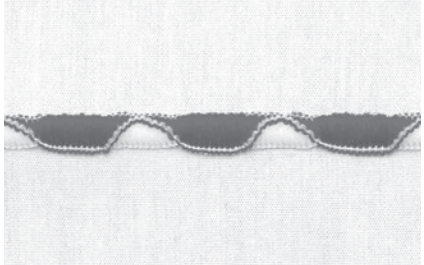
❶差動レバーを 0.8 ～ 0.6 の伸ばし縫いにします。
❷生地端に巻きロックをかけます。



■差動レバー

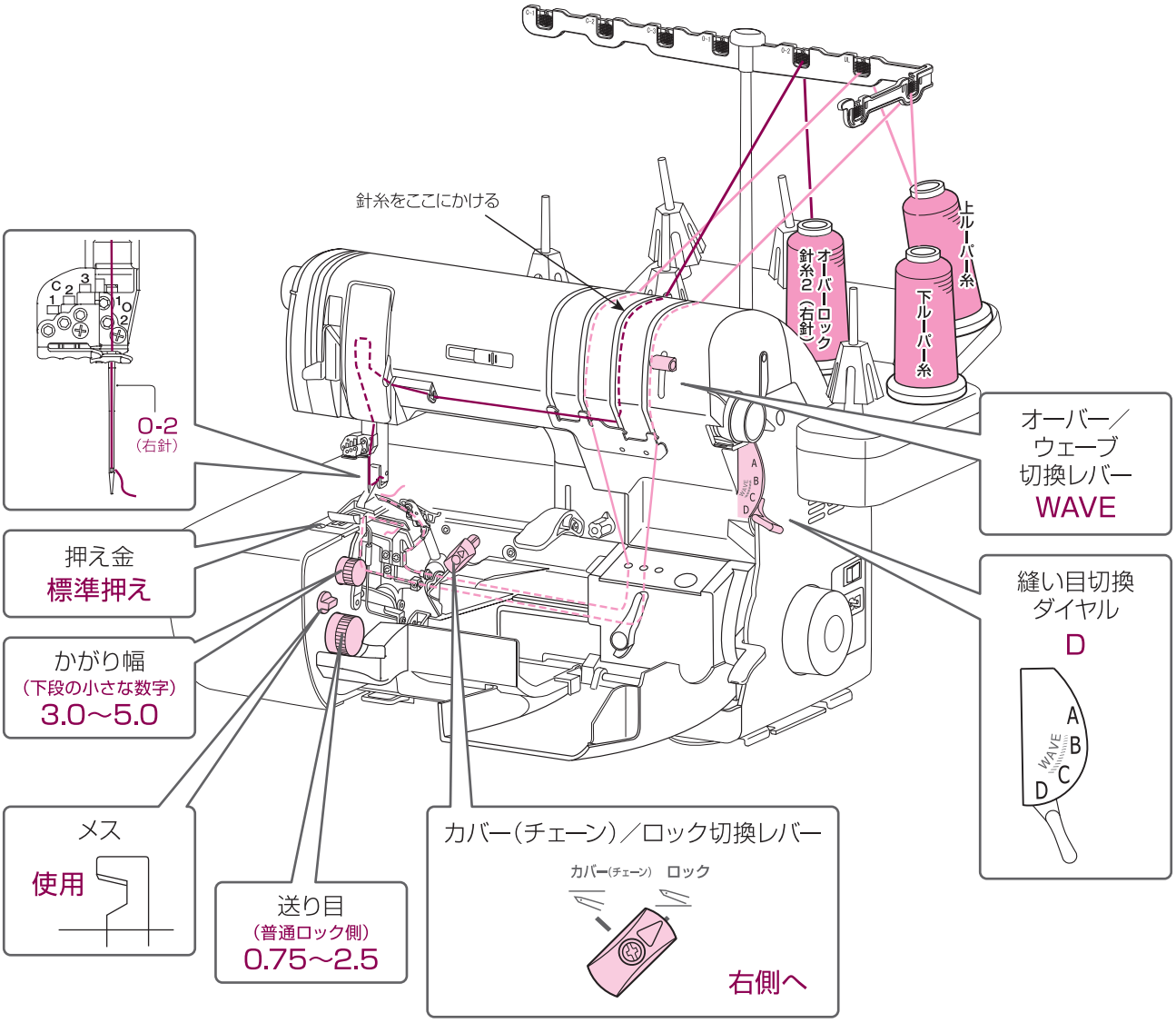
ウェーブの平縫い

パッチワーク感覚でいろんな生地をつなぎあわせたり、無地の生地の真ん中に飾り縫いをする事ができます。



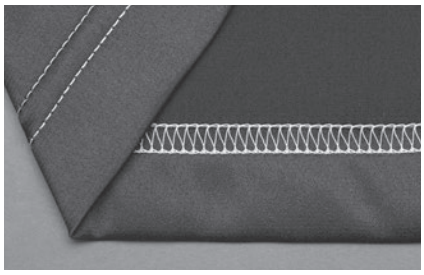
❶ウェーブロックの設定にします。（P47 参照）
❷針糸を下図の位置にかけます。
❸縫い目切換ダイヤルを「D」にします。

※カーブは上手く縫えない場合があります。



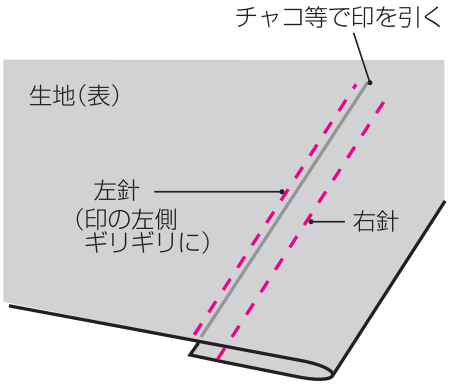
※かがり幅、送り目は使用する生地や糸、お好みに応じて変更ください。

裾縫い



❶縫い代分を折り上げ、アイロンをかけます。

❷折り上げた布端が布の表からわかるように、定規で測って布の表にチャコ等で印を引いておきます。



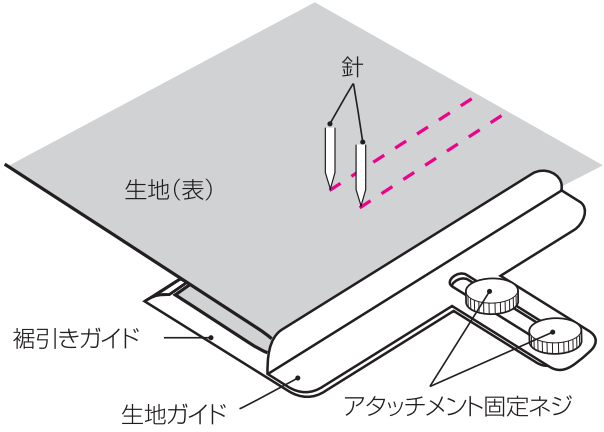
❸布の表を上にして押え金の下に置き、左針の右側ギリギリに、引いた印が来るようにします。

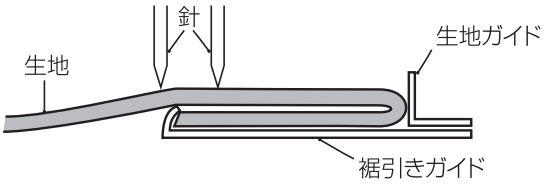
❹印からはずれないように縫います。

❺布の端まで縫い終わったら、押え金と針を上げ、注意しながら布を引き出し、糸を切ります。

❻表に出ている糸を抜き、裏側ですべての糸をまとめて結びます。

付属の生地ガイドと裾引きガイドを下記のようにして使うとより簡単に裾縫いができます。





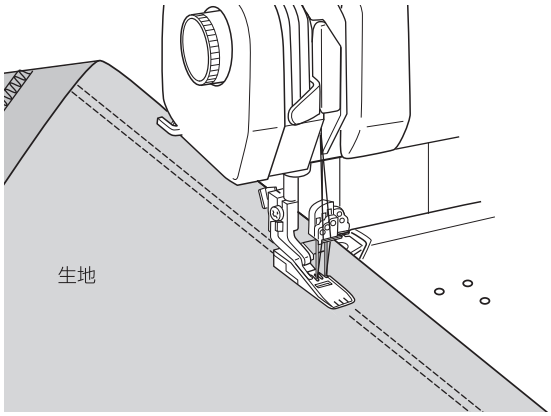
※但し、カーブを縫うときなどは裾引きガイドを使用せず、
生地ガイドのみの方が縫いやすいこともあります。

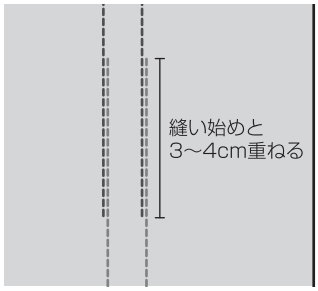
カバーステッチの輪の縫い方

裾や袖などでよく使うテクニックです。

❶縫い始め位置に針を刺してから縫い始めます。

❷1周縫ったら縫い始めの縫い目と3〜4ｃｍ重ねて縫います。

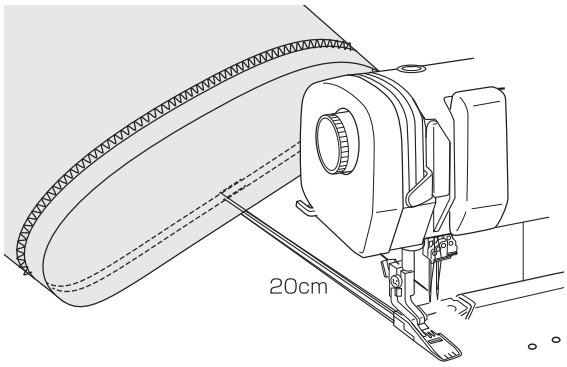




❸針と押え金を上げて縫い終わりの縫い目の近くを持って左斜め後ろに引っ張ります。

❹糸を２０ｃｍほど引き出してから糸を切ります。

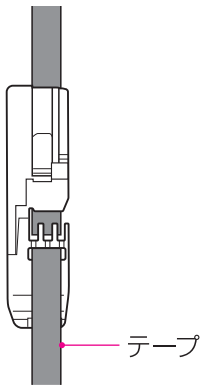
❺表に出ている糸を抜き、裏側ですべての糸をまとめて結びます。



ワンポイント
「カバーステッチ専用透明押え」（別売・P80 参照）を使うとさらに便利です。

カバーステッチのテープ入れ

カバーステッチの縫い目にテープを縫い込むことができます。飾り縫いなどにおすすめ。

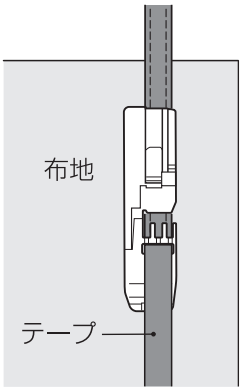


幅8mmまでのテープが入ります

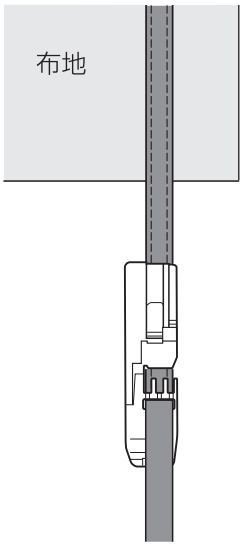
❶カバーステッチ専用押えにテープを通します。

❷針を一番上に上げ、カバーステッチ専用押えを取り付けます。

❸まずテープだけ数 cm 縫ってから、布地を入れて縫い始めます。



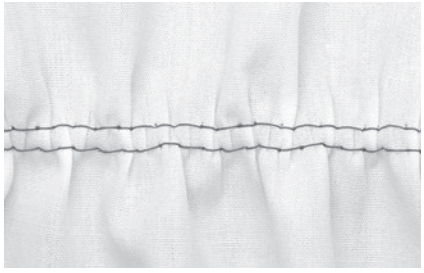
❹縫い終わりはテープだけを数 cm 縫ってからミシンを止めます。



差動を使ったカバーステッチのテクニック

ギャザー寄せ

このミシンはカバーステッチでもギャザーを寄せながら縫うことができます。カバーステッチでギャザー寄せをするとギャザーが戻りにくいのが特徴です。

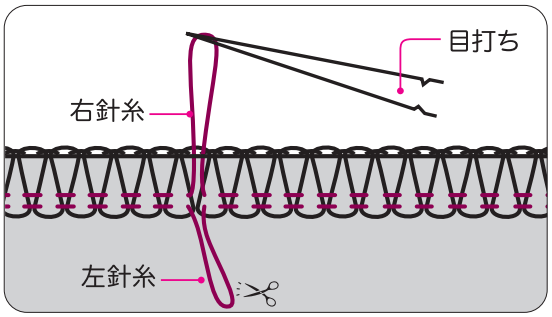


❶差動レバーを［ 2］にします。
※必要に応じて 1.3 ～ 2 の間で調整してください。
❷送り目調節ダイヤルを［4］に合わせます。

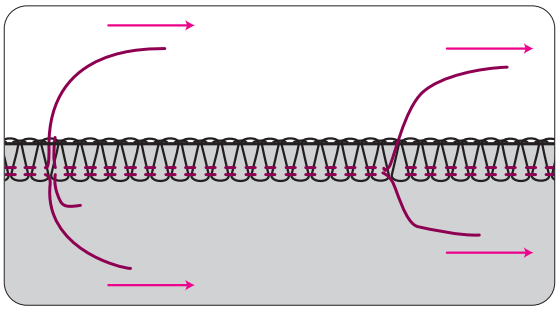
縫い目のほどき方

オーバーロックの縫い目のほどきかた

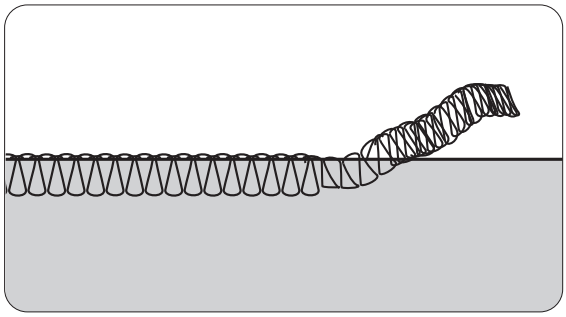
❶右針糸と左針糸を数カ所、目打ちなどを使って引き出し切ります。



❷右針糸と左針糸をそれぞれ引っ張って取り除きます。

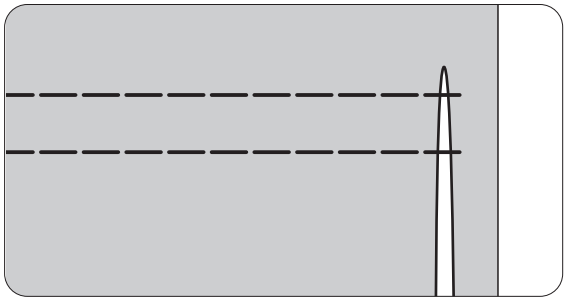


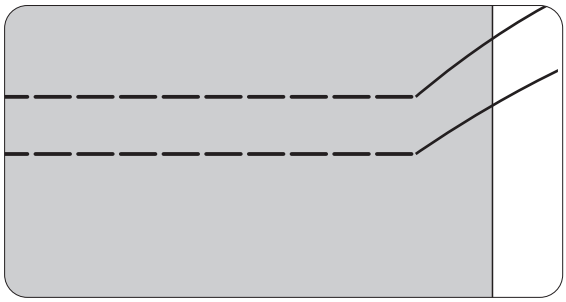
❸針糸が取れるとルーパー糸は簡単に生地からはずれます。



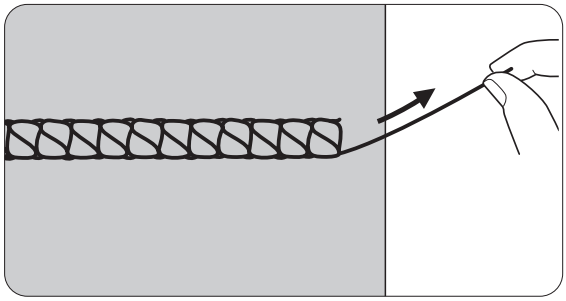
カバー（チェーン）ステッチの縫い目のほどきかた

❶縫い終わりの縫い目の針糸を目打ち等で1～2針表側に引き出します。
※カバーステッチやトリプルカバーステッチの場合は同じ位置の針糸を引き出します。





❷裏側に残ったルーパー糸を軽く引っ張るとほどけます。



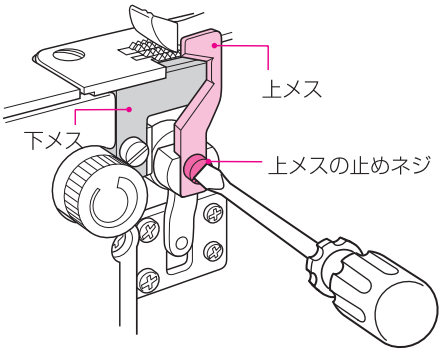
困ったとき／必要なとき

メンテナンス

メスの交換

メスは消耗品です。メスが切れなくなった場合は、通常「上メス」を交換してください。

❶電源を切り、フロントカバーとメスカバーを開く。
❷はずみ車を回して、上メスを最下点にする。
❸上メスの止めネジをゆるめて、上メスをはずす。



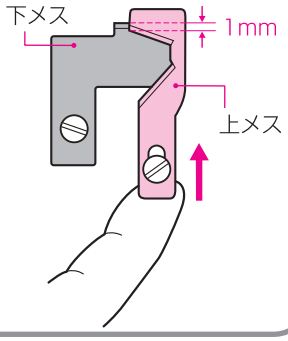
❹新しい上メスを取り付け、下メスに対して、上メスの刃先が1mm程度沈み込んだ位置で上メス止めネジをしめる。

※その他の部品をはずしたり、ネジを緩めたりしないでください。
※メスは安全上、強くしめています。ゆるめるときは、止めネジのサイズにあったにぎりの大きなドライバーを使用してください。
※安全上、止めネジは強くしめてください。

ワンポイント

上メスを最下点にして指先で上メスを下から押し上げ、図のように上メスの歯の部分が下メスの上端からだいたい1mm程度沈み込んだ位置にします。このとき、「かがり幅ダイヤル」の目盛りを最小位置にしておくと取り付け作業が容易に行えます。

※上メスを固定した時、上メスが針板上から出ないことを確認してください。



掃除と注油について

このミシンは特殊な材質を使用しているため油を注す必要はありませんが、切りながら縫うことが多いため、切りクズがたまります。掃除機を使ってホコリを吸い取るか、付属の掃除用ブラシを使って払ってください。

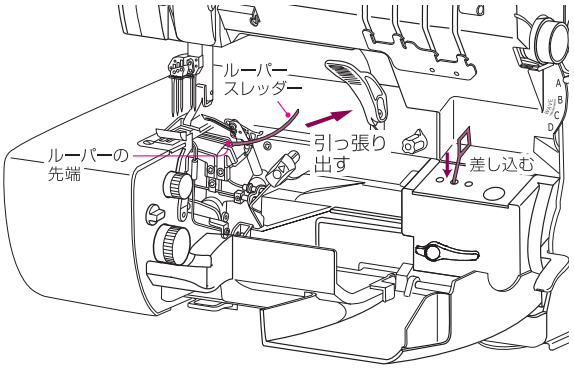
また、音が大きくなったりした場合は、駆動部（動いている部分）に1～2滴、ミシン油を注してみてください。

注）エアスルーシステムのパイプの穴部分には絶対に油を入れないでください。

パイプの掃除

付属の『ルーパースレッダー』は“ジェットエアスルーシステム”のパイプの掃除具として使用することもできます。

まず「はずみ車」の固定（P24 参照）をします。次に「糸通し穴」から『ルーパースレッダー』（P9 参照）を差し込み、ルーパーの先端から出てきたら引っ張り出します。この作業を数回繰り返すと、パイプにたまった糸クズが取れます。



トラブルシューティング

修理を依頼される前に

ミシンが動かない等の異常がありましたら、修理を依頼される前に下記のことをご確認ください。

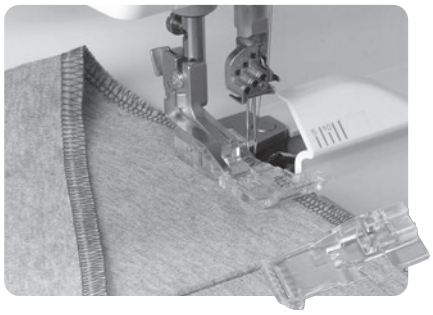
状　況	確認内容	参照ページ
ミシンが動かない！	□電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 □照明ライトスイッチが[I]になっていますか。 □はずみ車の「固定の解除」がされていますか。 □サイドカバーやフロントカバーがきちんと閉まっていますか。	10 10 24 8
4本･3本･2本糸ロックがうまく縫えない！	□押え金が下がっていますか。 □糸かけが間違っていませんか。 □オーバー／ウェーブ切換ツマミが[OVER LOCK]になっていますか。 □4本糸ロックでは縫い目切換ダイヤルが[A]になっていますか。 □3本糸･2本糸ロックでは縫い目切換ダイヤルが[B]になっていますか。 □送り目ダイヤルが[普通ロック]側の数字になっていますか。 □差動レバーの位置は適切ですか。	13 41･42･45 40 41 42･45 41･42･45 17
巻きロックがうまく縫えない！	□押え金が下がっていますか。 □糸かけが間違っていませんか。 □オーバー／ウェーブ切換ツマミが[OVER LOCK]になっていますか。 □縫い目切換ダイヤルが[C]または[D]になっていますか。 □送り目ダイヤルが[巻きロック]側の数字になっていますか。 □かがり幅ダイヤルが[M]になっていますか。 □差動レバーの位置は適切ですか。	13 43･44 40 43･44 43･44 43･44 17
ウェーブロックがうまく縫えない！	□押え金が下がっていますか。 □糸かけが間違っていませんか □1本針3本糸になっていますか □オーバー／ウェーブ切換ツマミが[WAVE]になっていますか。 □縫い目切換ダイヤルが[WB]ウェーブまたは[WC]ウェーブの巻きロックになっていますか。 □送り目ダイヤルが[WB]のときは普通ロック側の数字、[WC]のときは巻きロック側の数字になっていますか。	13 47 47 47 47 48･49
チェーン／カバーステッチがうまく縫えない！	□押え金が下がっていますか。 □糸かけが間違っていませんか。 □糸調子がバランス良くとれていますか。 □差動レバーの位置は適切ですか。 □布を針の下へ置いてから縫い始めていますか。	13 50 20、51～54 17 37･50
目とび、糸切れがする！	□針は指定の[ＥＬ×７０５#12または#14]がついていますか。 □針は針留の穴の一番奥まで入っていますか。 □曲がったり、針先が磨耗している針がついていませんか。 □糸かけが間違っていませんか。 □糸がどこかに引っ掛かっていませんか。 □古い糸を使用していませんか。 □コンビネーションステッチの場合送り目が小さすぎませんか。	12 12 12 25～29 、40～64 11、25～29 22 55～65
メスが布地を切らない！	□メス固定ツマミが[ＬＯＣＫ(固定)]になっていませんか。 □上メスが磨耗していませんか。	15 78
エアボタンを押しても糸が通らない！	□「はずみ車の固定」がされていますか。 □糸通し穴に糸が1～2ｃｍ挿入されていますか。 □糸通し穴の手前で糸を30～40ｃｍほどたるませていますか。 □糸がどこかに引っ掛かっていませんか。 □パイプの中にゴミがたまっていませんか。	24 25～27 25～27 11、25～29 78

アフターサービスについては、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

別売アタッチメント

※仕様、価格などを予告なく変更することがあります。

縫いのバリエーションがさらにひろがる、便利な別売りアタッチメントのご紹介。



オーバーロック用透明押え

メーカー希望価格 1,650 円（税込）

針落ち位置が見やすいので、ニットファブリック付けなどの輪の縫い合わせや、コンビネーションステッチで飾り縫いをするときに使うと便利。

カバーステッチ用透明押え

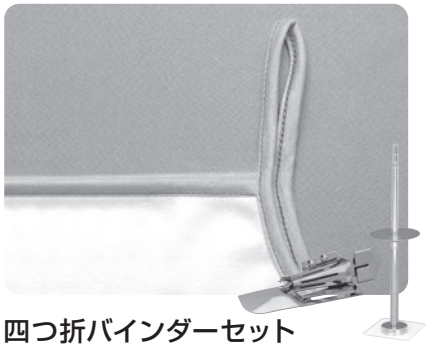
メーカー希望価格 1,320 円（税込）

カバーステッチで縫う際に使います。針落ち位置が分かりやすく、袖口や衿ぐりの輪の始末をするときに使うと作業がとてもスムーズに行なえます。

カーブ押え

メーカー希望価格 3,300 円（税込）

前後の長さが短く、底面が平らなため、曲線縫いや段縫い（縫い目が重なった部分の縫い）に適しています。

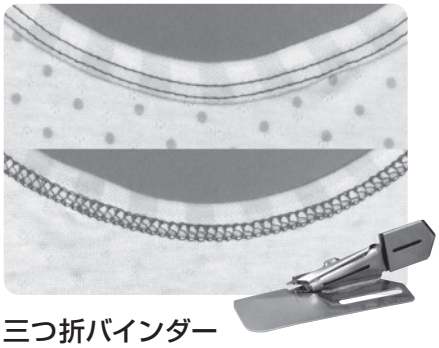


四つ折バインダーセット

メーカー希望価格 11,000 円（税込）

衿ぐりなどの生地端にカットしたテープを四つ折りにして挟み込みながら縫ったり、キャミソールの肩ひもなどの紐(ひも)を作ることができます。テープを置くスタンド付き。

（仕上がり幅 10mm）

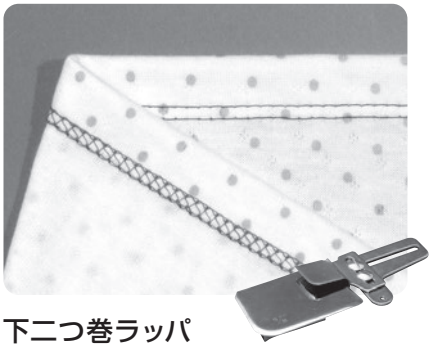


三つ折バインダー

メーカー希望価格 9,900 円（税込）

生地端にカットしたテープを三つ折りにして、布に挟み込みながら縫うことができます。四つ折バインダーでは厚みが出てしまう生地でも軽やかに仕上がります。

（仕上がり幅 12mm）

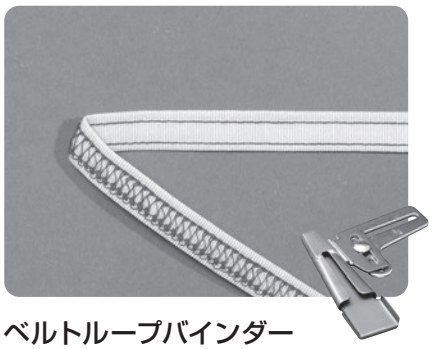


下二つ巻ラッパ

メーカー希望価格 各 3,850 円（税込）

アイロンをかけなくても生地端を同じ幅で二つに折ってくれるため、作業効率が上がります。長い距離をまっすぐ縫うときに、幅がぶれることなく縫えます。

（仕上がり幅 約 7・18・28mm）

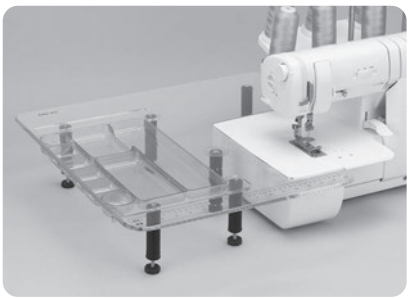


ベルトループバインダー

メーカー希望価格 3,850 円（税込）

しっかりと強度のある、既製服で使われているような 1cm 幅のベルトループが簡単に作れます。

（仕上がり幅 10mm）



専用クリアテーブル

メーカー希望価格 19,800 円（税込）

手前・左・後にスペースができ、生地が逃げにくくなります。収納に便利な引き出し付き。

（前側 44 ×奥行× 57 ×後側 57cm）

トリムビン

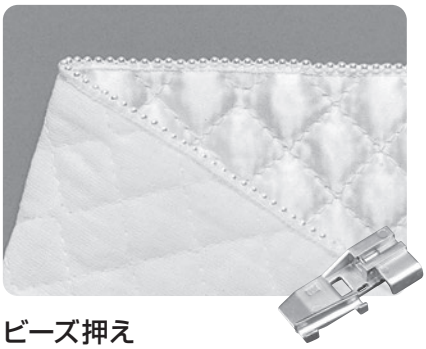
メーカー希望価格 2,200 円（税込）

ミシンの下にセットすることで、メスでカットした切りくずがビニールの中に入ります。切りくずを気にせず縫い進めることができます。

ニット用裾まつり押え

メーカー希望価格 3,300 円（税込）

縁かがりと同時に裾のまつり縫いができます。フリンジ縫いの際にも便利。



ビーズ押え

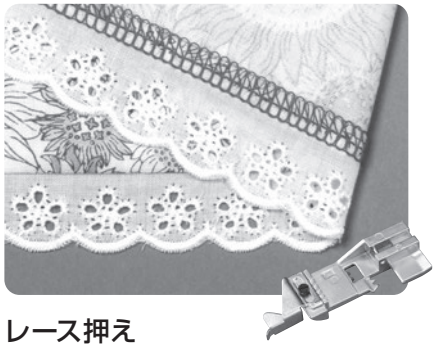
メーカー希望価格 3,300 円（税込）

連なったビーズやスパンコールを生地に縫いつけることができます。

セパレート押え

メーカー希望価格 3,850 円（税込）

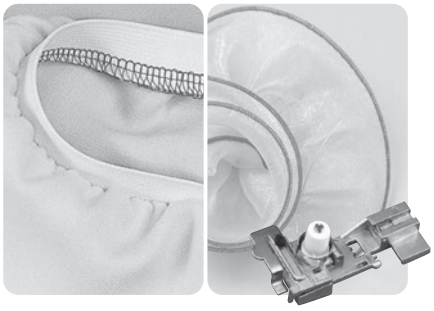
片方の生地だけにギャザーを寄せながら縫い合わせることができます。



レース押え

メーカー希望価格 3,850 円（税込）

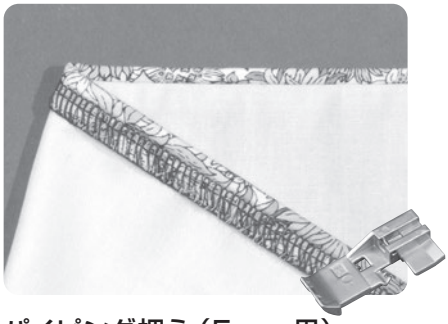
レースを切らず生地だけを切りながら縫い付けることができます。



ゴム押え（テグス入れ兼用）

メーカー希望価格 4,180 円（税込）

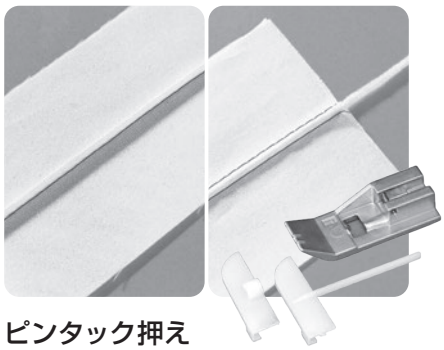
縁かがりと同時にゴムテープを簡単に縫い込むことができます。衿ぐりや袖口などに使えます。また、巻きロックに設定し、テグスを入れることもできます。



パイピング押え（5mm 用）

メーカー希望価格 3,300 円（税込）

縫い合わせや縁かがりのときに 5 mm のパイピングコードを縫いこむことができます。また、ファスナー付けにも便利。



ピンタック押え

メーカー希望価格 4,180 円（税込）

ピンタック縫いが簡単に出来ます。

- ピンタック押え
- レース押え
- パイピング押え5mm用
- ビーズ押え
- ゴム押え（テグス入れ兼用）
- セパレート押え

アタッチメントセット

メーカー希望価格 13,200 円（税込）

6 種類のアタッチメントをひとつにまとめたお得なセットです。

縫希星
Hōkiboshi

仕　様

●縫い型式：2本針4本糸オーバーロック
1本針3本糸オーバーロック
1本針2本糸オーバーロック
1本針3本糸ウェーブロック
1本針2本糸チェーンステッチ
3本針4本糸カバーステッチ
2本針3本糸カバーステッチ
2本針5本糸インターロック

●オーバー／ウェーブロックのかがり幅：
2本針4本糸ロック5.5～7.5mm
1本針3本糸ロック3.0～7.5mm
巻きロック1.5mm

●カバーステッチ幅：3mmと6mm
●送り目（縫い目長さ）：0.75～4mm
●差動比率（伸ばし・縮みの比率）：0.6～2.0
●メス上下量：6.5mm
●押え上がり量：6.0mm
●送り歯高さ：0.7mm
●縫い速度：毎分1,200針
●使用針：ＥＬ×705（＃12, ＃14）
●使用糸本数：8～2本
●消費電力：105W
●照明ライト：白色LED×6
●ミシンの大きさ：奥行318×幅489×高さ355mm
●ミシンの重さ：12.4kg

仕様の一部を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

製品ユーザー登録はこちらから

www.babylock.co.jp/user
ベビーロックをもっと活用していただくための
コンテンツや特典をご提供しています。

最新情報や作品づくりのアイディアは
ホームページとSNSをチェック！

株式会社ベビーロック　www.babylock.co.jp
本社：〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11　TEL03（3265）2851（代表）
支店：東京 03（6261）4151　大阪 06（6967）3300　福岡 0942（44）7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ
お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年　月　日
販売店名	
	TEL

修理やアフターサービス等でミシンを送付する必要が起る場合があります。そのため、梱包箱は捨てないで保管されることをお薦めします。

（BL86WJ）022024 ③

※baby lockは株式会社ベビーロックの登録商標です。